

始



317
474 - Girls' -
New Age Readers
Teachers' Handbook

Tokyo
Kaiseikan

NEW AGE READERS
TEACHERS' HANDBOOK



TOKYO KAISEIKAN



GIRLS' NEW AGE READERS

TEACHERS' HANDBOOK

BOOK ONE

LESSON 1-4

Page 2-7 第一課から四課までは **主格+CAN+動詞** の形式であります。さうしてこの形式と共に Verbs of Action 即ち動作を表はす動詞 (be のやうに状態を表はす動詞に対する語) の練習をします。can は助動詞で本動詞なくしては独立しない語です。生徒のうちにはよく can の用法に誤られて Can you play tennis? といふ様な問ひに對して屢々 Yes, I can tennis と答へるものがあります。Yes, I can (play tennis). と必ず本動詞を必要とすべきことを常に注意せられんことを望みます。

發音は I can sit に就いて言へば [ái káén sít] ですが、これは基本的の練習でありますから次第に [ái káén sít—ái kán sít] と變化して教へます。

Jane は [džeín] で [dže:n] ではありません。

hop は [hóp] で挿畫にある様に片足でチョンチョンと跳ぶことです。

walk [wɔ:k] は (a) に誤られて [wá:k] と發音する生徒がありますから注意を要します。work が [wɔ:k] で、walk が [wɔ:k] です。

can は Page 7 の最後の表にある様に主語の Gender, Number によつて變化することがありません。can には過去 (could [kud]) があるのみで他の Tense がありません。

76W10786



LESSON 5

Page 8-9 teacher [ti:tʃə] は先生即ち教へる人、教師といふ意味です。男女の區別がありません。但家庭教師には tutor (男), governess (女)の區別があります。米國では中等程度の學校迄は男子の學校でも女の先生の方がその数が多いのであります。

Teacher は The teacher として冠詞を用ふべきところを題目の一種故冠詞を省略したのであります。

up, down は共に Adverb (副詞)であります。動詞と一緒に一つのみとまつた意味を表はします。

この課では命令文を教へます。命令文は主語 You を省略して You に行はしむべき動作を表はす語で始まります。

Stand up, Kate [stænd əp, keit] ケイトさん起立しなさい。

Sit down [sit daun] 坐りなさい。歐米の sit down は日本の坐るのと異つて椅子などに腰かけることなのです。發音は sit の次に down が来て非常にむづかしいです。t の發音は大部分次に來る d の發音の中に同化されて了はなければなりません。決して t の發音を明瞭に出さないで只舌の先端を上齒の裏につけ息を含ませた勢で daun の發音に移るので sit と daun の二語を [sitdaun] の如く一語と見て發音します。[stændəp] も同様ですがこれは子音 [d] と母音 [ə] とが [də] となるので至極簡單です。

again [əgein, əgen] 再び、もう一度。これは副詞です。

この課の意味を教へた後、生徒二人宛を机の傍に立たせ又は教壇に呼び出して對話の練習をさせます。

Page 11 ä=[æ], ē=[e], ī=[i].

lap 膝、	mad 狂氣の、	peg 掛釘、
kid 仔羊、	lid 蓋、眼瞼、	dip 浸す、
lip 唇、	tin 錫、	win 勝つ。

此等の語は發音の練習だけで、譯は教へません。

LESSON 6

Page 12-13 この課では單語としては前置詞 to [tu:, tu, tə] と定冠詞 the [ði:, ðə, ði] を特に氣をつけて教へる必要があります。全部命令文のみを掲げてありますから一應生徒が覺えた後で前課に準じて教師對生徒の會話に移り更に動作を加へて任意の生徒二人の間にこの練習を行はしめます。

Walk to the door [wɔ:k tə ðə dɔ:] 扉の所まで歩いて行きなさい。

Open the window [əʊpn ðə wɪndəʊ] の如くその pause の置き所を明瞭に教へます。

to は方向と目的地點を指し、「……の所まで」「……の方へ」の意です。

the (<this) は既知の事物に附けるのが本體ですが本課の如きは已に教室内にあつて the door といへばどの door か明かに了解出來得るものでありますから斯様な場合は最初から the をつけて差支へないものであります。

Mary は [mɛəri] と發音します。活動寫眞などに出るメリーさん又はマリーさんのことです。

LESSON 7

Page 14-15 the bird とあるは圖中のその鳥を指します。故に定冠詞を以つて始まります。

本課では新しく **Can+主語+動詞**の形を教へます。Can を用ひた疑問文は前課迄の文を應用して容易に分る文です。

EXERCISE

1. Can the girl sing? 2. Can the girl hop?
3. Can the girl run? 4. Can the girl dance?

LESSON 8

Page 16-17 本課は Can.....? に対する肯定の答へと代名詞の第一人稱 I, 第二人稱 you, 第三人稱 he, she, Tom, Mary, etc. を教へます。特に注意すべきは Can.....? の主語とその答への主語とが第一人稱第二人稱の場合に限つて相互関係にあることです。即ち

a. { Can you.....?
Yes, I can.....

b. { Can I.....?
Yes, you can.....

而して第三人稱の場合にはその變化は生じません。

c. { Can Tom.....?
Yes, Tom (=he) can.....

d. { Can she.....?
Yes, she can.....

I 及 You には男女の區別がありませんが第三人稱にはその區別があります。即ち Tom は he でうけ Mary, Kate などは she でうけます。

LESSON 9

Page 18-19 本課では接續詞 and, 無性の名詞をうける代名詞 it, 及び純粹の副詞が新しく出ます。

Can Tom hop and run? は Can Tom hop? + Can Tom run? です。から and は [+] の意であると教へます。その答の Yes, he can の次には勿論 hop and run が略されてゐます。

quickly [kwikli] は「迅速に」といふ意です。同義語の fast は「ずんずんと速く」の意です。

very well [véri wél] 大層上手に。well は sing を modify する副詞

です。very は well を modify する副詞であつて決して單獨では動詞を modify しません。只 I am very tired or pleased の場合は例外です。

Look at the little bird! [lúk at ðə litl bə:d] その小鳥を御覽なさい。look at は see の意ですが次に Object が來ない時には單に Look! だけです。

EXERCISE

1. Can the little bird fly?
2. Yes, it can (fly).
3. Can Mary run?
4. Yes, she can (run).

LESSON 10

Page 20-21 本課では Can.....? に対する否定の答と初出の他動詞 ride [raid], sail [seil] の取扱が大切です。肯定の答と否定の答との主なる相違は Yes-No; can-cannot の二つであります。

cannot [kænət] は從來 can not と云ひましたが近來の傾向は一語と見る様になりました。會話體では cannot と綴つて [kɑ:nt] と發音をして can't [kɑ:nt] と一向區別しない傾向もあります。

ride [raid] は乗つて馬や自転車を前進させることで、只乗つてゐるだけではありません。

bicycle [báisikl]. bi=two, cycle [sáikl]=Gr. kuklos wheel.

sail [seil] 帆をかけて(舟を)走らせる。

Page 23 ā=[ɑ:], a=[ɔ:], ō=[ou].

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| bar 棒、門、酒場、 | cart 荷車、(一頭立二輪の)輕裝馬車、 |
| bard 流浪樂人、 | robe 外衣、同一布(ともぎれ)で作つ |
| た子供又は婦人服、 | mode 方法、様式、 code 法典、 |
| bode 蟲のしらせで.....の氣がする、 | rove うろつく。 |

LESSON 11

The Alphabet (字母)

Page 24-25 The Alphabet [ði ælfəbɪt] この課は The Alphabet (英語のいろは)中の類似した Letters (文字又は字母)を識別させる練習で、こゝに掲げた表を読み得るならば、Alphabet に関する誤をすることは殆んど無いでせう。この練習を終へて後、生徒をして寫字體の字母に就き類似したものを摘出させ、凡そ次の如きものを得ます。

a d	b f	h k	i j
c e	m n	g q	h p
r u	v w	y z	z y

Short Letters: a c e m n o r s u v w x

Letters Going above the Line: b d h i k l t

Letters Going below the Line: g q y z

Letters Going above and below the Line: f j p

以上の他 Capital Letters に就て觀察させます。

LESSON 12

Page 26-27 Do you see the baby? は Can you sail a boat?

の文を提示してその Can に Do を代入して教へて行きます。Can=(動作が)出来る——可能を表はす。Do=(動作を)なす——可能を表はさず。

Do you see [du: ju: si: → də ju: si: → dju: si:].....が見えますか。

Yes, I do=Yes, I see the baby はい、見えます。Yes, I do は Yes, I can と同様には取扱はれません。can は答に於ても依然 Auxiliary Verb ではありますが do は 如上の答に於ては英文法の性質上 Pro-verb (代動詞)であつて本動詞及それに附随した部分の代りをするのであります。即ち

- a. { Do you see the baby?
Yes, I do (=see the baby).
- b. { Can you sail a boat?
Yes, I can (sail a boat).

Where is the baby? [wɛər iz ðə beɪbi] 赤坊は何處にゐますか。Where は疑問副詞 (Interrogative Adverb) です。baby は Common Gender で男女の性別をつけません。従つて代名詞は it で受けます。

EXERCISE

- Where is the little bird?
- It is in the tree.
- Do you see the (little) girl?
- Yes, I do. She is under the tree.
- Is the baby in the cradle? この文は 26 頁の It is in the cradle を The baby is in the cradle と直しそれを應用させる様にすればよく了解し得るでせう。

LESSON 13

Page 28-29 One to read, one to act 一人が読み、一人が動作をする。

本課は命令文のみであります。先づ先生が読み一人の生徒に動作なさせ、次に生徒二人をして数回輪番に練習させます。

at the right side of.....の右側に。at は場所を表はす前置詞です。

your は英國では [jɔ:, jə, jə] と發音し、米國では [jəu, jə] と發音します。

to your seat あなたの席まで。 **to your desk** といつてもよろしい。

本課に出る **and** は何れも **and then** (それから、そして)の意であります。

Stand up, Sit down, Go back は何れも動詞+副詞の形で動作の十分な意味を表はしてあります。尙 **stand-sit, up-down, open-shut, right-left** などの反語を改めて注意させます。尙 **Walk to.....**の反對としては **Walk back to.....**といはずして **Go back to.....**といひます。

For Action 動作の爲めに。この所は各 **Sentence** を暗誦させて後にその **Sentence** を口誦させ乍ら動作をさせます。

LESSON 14

Page 30-31 **This is, That is, It is.....** の構文を明瞭に教へるのを主眼とします。次でそれ等の疑問文と **little, big, good, bad** 等の普通形容詞を教へます。

この課は普通文の基礎となるものですから重要な課であります。先づ已知の語を用ひて Oral で **This is a door. This is a desk. This is a window** 等を數回反覆して生徒の耳に入れます。生徒は **This is.....**の意味が先づ.....でありますといふ意をもつてゐると解します。そこで次にある生徒數人を教壇の上に立たせ順次に各生徒を指して **This is a girl. This is a girl. This is a girl** と全生徒の耳に入れます。生徒は直ぐ **a girl** を少女といふ意に解します。そこで再び如上の文を Oral で生徒に聞かせその邦譯を與へます。生徒は發音の上から **This is.....** 及 **a girl** の意が明瞭になります。そこで

これは 窓 です。

This is a window.

と板書して **This is** が邦語の何に當るか、而して如何に順序に變化あるかを教へます。

以上が明瞭に會得し得たならば次に音の高い **Miss Yoshida** と小さい **Miss Ōta** を立たせます。そして **Yoshida is a tall girl. Ōta is a little girl** と特に **tall** と **little** との區別を明瞭に會得し得る様に數回聞かせます。かくして本課を Oral で一通り済ませてから本を開かせ數回 Reading をなしたる後に説明に入ります。 **This** と **That** の相違は明かに分りますが **That** と **It** の區別をよく説明します。 **It** は已出の語ですが本課に於ては **It** は **That** 又は **This** を軽く受ける時に用ひるものと説明します。 **It is.....** は單に「.....であります」と教へます。

Oh yes, [óu jès] オー左様です。 **Oh** は感情を表はす語即ち感嘆詞で、**O** は **Oh** と同意義にも用ひますが、通常呼び掛けに用ひ、その次には [,] が來るのが普通です。 **yes** の次には必ず [,] が來ます。

LESSON 15

Page 32-33 **is** の打消しは **is not** です。 **Can** の打消しが **cannot** であると同じ様に説明します。

table は普通「卓」で **desk** は「机」です。 **table** は脚がついてゐて物をのせて置く臺です。 **desk** は本を讀んだり字を書いたりする臺で、多くは抽出があります。教室にある生徒の机も勿論 **desk** です。

stool [stu:l] 腰掛け(床几)。一人用のもので **chair [tʃeə]** の様に **back** (背をもたせかける部分)の附屬しないものです。

Page 33 の表に於て **is** の場所を明かにします。上の二行は **what** 及 **where** といふ疑問詞(これは文頭に出すものです)の次に來、第三行目は自ら文頭に來てゐます。本表では **this, that, this, it, it** が各文の主語です。

Page 35 **ōō=[u:], u, ōō=[u], ē, ēē=[i:].**

hoof 馬の蹄、 tool 道具(大工、左官等の用ひる)、
 noon 正午、 fool 馬鹿者、 bull 牡牛、 pull 引く、
 puss 小猫、 bush 叢、灌木林、 push 押す、
 hood 頭巾、 cook 料理人、料理をする、 shook 振つた
 (shake の過去)、 fee 料金、 free 自由な。

LESSON 16

Picture Vocabulary (繪單語)

Page 36-37 A school [ə sku:l] 學校。

A gate [ə géit] 門。gate には farm-gate; garden-gate; yard-gate などがあり、通例 hinges (蝶番)で開閉するやうになつてゐます。

A temple [ə témpl] 寺院。佛教の寺は a Buddhist temple です。神社は a Shintō temple (or shrine) といひます。

A church [ə tʃɜ:tʃ] 教會(堂)。church は Christian whorship (基督教の禮拜)の爲めに用ひられる建物です。

A station [ə stéifən] 停車場。station は、此場では a railway station のことです。

A bank [ə bɛŋk] 銀行。この語の原義は bench です。

A bed-room [ə bédrum] 寢室。bed-room は、米國では a sleeping-room といひます。bed-room は Hyphen を用ひずに bedroom と書くこともあります。家に唯一つの寢室がある場合には定冠詞を用ひ、The bed-room といひます。

A drawing-room [ə drɔ:ŋrum] 客間。drawing-room は dinner の後に guests が withdraw する室の意味で、米國では parlour と言ひます。同じ綴りでも [drɔ:ŋrum] と發音すれば「畫室」の意になります。

A dining-room [ə daɪnɪgrum] 食堂。一層大きな食堂を a dining-hall と言ひます。

A kitchen [ə kitʃin] 臺所。挿畫の中の乳母車様なものは調理した食物を食堂に運ぶ車附の臺で之を a dinner-waggon といひます。

LESSON 17

Page 38-39 write [rait] は w と e とが silent である點に注意します。

blackboard [blækbo:d], chalk [tʃɔ:k] は walk [wɔ:k], tall [tɔ:l] 等を比較して同じ母音を含むことに注意します。chalk, paper は物質名詞でありますから冠詞をつけてありません。

with chalk = with a piece of chalk.

Can you speak English? は突然他人に對して用ひては失禮に當る質問ですが、これは教授上の一方面として教へるです。Do you speak English? は、「平常英語をお話しなれますか」の意です。

I cannot read (even) a word of French 私はフランス語は一語も讀めません。even が省略してあると見て差支へありません。

a little [ə litl] 少々。little は Page 30 に形容詞として Jane is a little girl と出てゐます。こゝでは a little と二語で「少々」の意で副詞です。Page 30 の a は a girl と續くので a little と續くのでありません。この場合は little といふ形容詞を附けたので英文法の性質として冠詞の次に形容詞が来るのです。

Page 38 には Hyphen の用例が出てゐます。これは二綴(二音節)以上の語でなければ應用出来ないものですから今後生徒に注意が必要です。

LESSON 18

Page 40-41 a cup and saucer [ə kʌp ənd sə:sə] 茶碗とそれが乗つてゐる臺皿。これは a set of a cup and a saucer で一組になつてゐることを示します。a cup and a saucer とあれば cup が saucer

に乗つてゐないことも表はします。

a jug of jam [ə dʒʌg əv dʒæm] 一壺のジャム。これはジャムの一壺と譯すのは日本語も怪まれて立派な譯ではありません。これ等は日本語を考へて適當に譯すのです。a cup of milk (ミルク一杯)、a pound of tea (茶を一封度)、a piece of chalk (一本のチョーク)、a sheet of paper [一枚の紙、紙一枚(紙の一枚は不可)] 等。

a knife and a fork and a plate は set (組)になつてゐないもの即ち一本の小刀と一本の肉又と一枚の皿のことです。普通文ならば a knife, a fork, and a plate とすべきですがこゝではまだ and で結んだ句を教へておきます。

what else その他に何が(を)。else は副詞です。

chairs [tʃeəz] と初めて複数形が出ます。

here=in this picture の意です。

on the wall 壁にかゝつて。on は物の「表面に」といふ意です。

Put the jam=Put the jug of jam.

LESSON 19

Page 42-43 **bread and butter** [brɛd ənd bʌtə] バタ附のパン。

これは勿論単数の it で受けます。パンを薄く切つてバタをつけたものです。邦語のパンはホルトガル語の Pan から 轉じたものです。フランス語では Pain [pæ:n] といひます。bread はドイツ語と同じ語源に屬するものでドイツ語では das Brot [das bro:t] です。パンは小麦粉又は他の穀類の粉に水(牛乳)、鹽、yeast (或は baking-powder) を混ぜて焼いたもので、loaves; rolls などにしたものです。butter (牛酪)を家庭で製する場合には、牛乳を冬ならば少くとも 18 時間、夏ならば 12 時間放置するとき、牛乳の上部に脂肪分が浮びますからこれを血様のもので取つて他の容器に入れます、これが cream (乳精)です。残りの部分は skimmed milk (脱脂

乳)といふもので西洋では犬猫豚などに與へます。butter は cream から製するのですが、57° 乃至 61° F. の温度が必要ですから、通常 dairy (製酪室)内で製します。即ち cream を churn (攪和器)の中で長時間攪和すると、butter の塊が出来ますから、この時残りの部分即ち buttermilk を取り去ると butter ばかりとなるのです。

bread [brɛd], **butter** [bʌtə], **sugar** [ʃʊgə], **tea** [ti:], **milk** [milk], **jam** [dʒæm] などは皆物買名詞ですから、一般的に言ふときには冠詞をつけません。

Do you drink tea? あなたは茶を飲みますか。これは平常茶を飲むかの意味であります。英米人が普通に飲むのは紅茶 (black tea) の方で綠茶 (green tea) ではありません。

Yes, I do はい、(私は)飲みます。cp. **Yes, I drink it.**

Do you eat cakes? あなたは菓子を食べますか。

Yes, I do はい、(私は)食べます。cp. **Yes, I eat them.**

Do you like milk in your tea? あなたはあなたの茶に砂糖を入れたのが好きですか。この文は **Do you like your tea with milk in it?** の意味ですが、原文のやうに言ふのが普通です。

この課では前課の chairs と共に複数形に就て適當の教授をします。

Girls—A girl の複数。

Boys and girls—A boy and a girl の複数。

They—He, She, It の複数。

cakes—cake の複数。

too [tu:] その上。……も亦。

LESSON 20

Page 44-45 **Here is**……ここに……があります。

There is…………があります。There is の時にはその物體の存在す

る場所を後に言ふのが普通です。Here is.....の場合もその存在する所が目近い所であればその場所を言ふこともあります。例へば Here is a book on this desk.

on the top of the sugar その砂糖の上のせて。こゝでは物質名詞の sugar に定冠詞がついてゐるのは現在目の前にあるその砂糖を指すからです。

These are は This is の複数。

lumps of sugar 角砂糖。 lump 塊。 角砂糖は cube sugar 又は lump sugar といつて lumps of sugar は文字の上からは直ちに角砂糖と断定することは出来難いです。

a vase of flowers 花を活けてある花瓶。

in the centre of the table テーブルの中央に。

a small plate with a roll of butter on it バタを roll にしたもの(巻きバタ)がその上に乗つてゐる小さな皿。

a loaf of bread 一塊のパン。

EXERCISE

1. There is a knife on that plate.
2. There is a chair under that table.
3. Here is a small plate.
4. There are flowers in that vase.

Page 47 ôr=[ɔ:], â=[æ], é-â=[eə].

cork コルク、木栓、 ford 浅瀬、 lord 君主、貴族、
horn 角、 thorn 刺、 force 力、 pair 對(つい)、
dare 敢てする、 care 注意、 rare 稀な、 tear 裂く、
swear 誓ふ。

LESSON 21

Plural Number (複数形)

Page 48-50 An egg [ən ɛg], An apple [ən ɛpl], Boxes [bɒksɪz] こゝには次にある類例を挙げてあります。

- a. 子音で始まる語で s をつけて複数となる語
A girl—Girls
- b. 母音で始まる語で s をつけて複数となる語
An egg—Eggs
- c. es をつけて複数となる語
A box—Boxes
- d. 子音の綴りを變へて s をつけて複数となる語
A leaf—Leaves
- e. 母音に變化を生じて複数となるもの
A man—Men

LESSON 22

Page 51-52 本課は Present Progressive Form を教へるのを主眼とします。これは be+~ing の形であることを牢記せしめます。

Hold up 挙げる。

Put down 下げる、下ろす。

動詞の Present Participle (現在分詞)の作り方を已知の語と共に教へます。

- a. { hold—holding, do—doing
walk—walking, drink—drinking
- b. { write—writing, ride—riding
dance—dancing

- e. { put—putting, sit—sitting
run—running, hop—hopping
shut—shutting, swim—swimming.

LESSON 23

Page 53-54 この課も Present Progressive Form の教材を主とします。至つて容易な課ですから Reading をよく練習させます。

sponge [spʌndʒ] 海綿。[spɒndʒ] とならない様に発音に注意します。

There is water in the basin 水鉢に水が入つてゐます。

at the dressing-table 化粧臺に向つて。

rug [rʌg] は旅行用の膝掛け、毛氈などをいひます。Carpet と異り rug は一枚綴きのもので床の一部分に敷き且つ義(クマ)が長く多くは方形、長方形で圓にある様な形もあります。

She has on a new frock 彼女は新調の上衣を着てゐます。has on は着てゐるで put on は着るといふ動作を表はします。frock は (1) 子供の着物 (bodice と skirt と綴きのもの) 及び (2) woman's dress の意味で用ひます。

There are two windows in the room 部屋には二つの窓があります。in は勿論部屋の中への意ではなく常識で考へた通りに窓がついてゐることです。一應の教授の終つた後次のことを質問してみます。

- a. (1) の her は何から變化した語か— she から。
b. (2) の them は何を受けてゐるか— (1) の her hands.
c. (3) の water には何故冠詞がつかないか— 物質名詞だから。その他の例、milk, tea, sugar, butter.
d. (4) の There is を何か他の語に變へ得ないか—I see.
e. (8) の There are を何か他の語に變へ得ないか—I see. (4) と (8) との I see には相違なきこと。

f. (9) の文を何か他の文に意味を變へないで作り直し得ないか—

The blue curtains are long.

The curtains are long and blue.

has は have の第三人稱、單數、現在に限つて用ひられる形です。即ち主語が He, She, It, This, That, Which (但單數)、What (但單數)、Who (但單數)又はそれ等で代用せられる語の場合のみに用ひられます。

Page 54 の ~ing の例は凡て Accent のない語に -ing がついてゐます。この場合には皆 Root に Accent がつくのです。即ち hold'ing [hóuldɪŋ], do'ing [dú:ɪŋ] の様になります。

LESSON 24

Page 55-56 この課は has の教授が主眼です。それと同時に代名詞の變化を 56 頁の表によつて教へます。

Children [tʃɪldrən] 小供達。これは child [tʃaɪld] の複數形です。i の發音が [ai] から [i] に變化することに注意します。child も男女の性別なしに用ひます。それで代名詞は it, 従つて children は they となるわけです。

pavement [péivmənt] 鋪石(しきいし)を敷いた道。でこゝでは sidewalk [saɪdwɔ:k] (歩道)のことです。鋪石は一種の tile ですが經濟上 アスファルト、コンクリート 又は石などを敷いた所を pavement といひます。on the pavement には walking the streets (往來を歩いて) といふ熟語がありますが本課では文字通りに歩道の上に立つてゐることです。

an English setter 英國産セター種の犬。setter は一種の獵犬で以前は獲物を嗅ぎつけた時蹲まる様に訓練されましたが今は凝立して鼻先で指示する様に訓練される様になりました。従つて set の意味も本來の crouch から stand rigid に變りました。English setter は多く白毛で赤又は黒の斑があります。

It has a collar around its neck それ(犬)は(その頸の廻りに)頸輪をはめてゐます。邦語としては「その頸の廻りに」は譯さぬ方がよろしい。

in both hands 両手に。 **in his both hands** といふに及びません。

Page 56 の表は左欄が Nominative Case (主格)、中央欄が Possessive Case (所有格)、右欄が Objective Case (目的格)であります。その各1の語について短文を作らせて見ます。

I am a girl.

() 内は未知の練習で

This is my dog.

すが教授者の参考の爲に

(Run with me.)

挙げておきます。

You are tall.

Is this your book?

(I run with you.)

He is a good boy.

This is his book.

(I read a book to him.)

What is she doing?

She is reading her book.

(I read a book to her.)

It is an English setter.

It has a collar around its neck.

There is a plate with a loaf of bread on it.

LESSON 25

Page 57-58

本課は Present Progressive Form の短文を第三人稱の單數と複數の主語について掲げてあります。主語の單複に應じて **is** は **is** 又は **are** になつてゐます。

the sun はいつも定冠詞をつけます。 **the moon, the earth, the**

world なども同じです。

How bright the day is! 今日は何と(天候が)明るいことよ。今日は何と晴々した日和ではありませんか。 **the day = the weather.**

Page 60

ēr=Ir=[ə:] これは Murmur Sound といはれてゐる母音です。 **ūr=ōr=[ə:], ū=[A].**

herd 獣の群、牧人、 **shirt** シヤツ、 **germ** [dʒə:m] 萌芽、

term 學期、條件、 **fur** 毛皮、 **lurk** 潜む、

nurse 看護人、乳母、 **burn** 燃える、 **purse** 財布、

worm 地蟲、 **hurt** 害する、 **hut** 小屋、

bus 乗合馬車、omnibus の略、 **rush** 突進する。

LESSON 26

The Family (家族)

Page 61-62

The Family 一家族。

parents [péərənts] 兩親、**parent** は「親」ですが複數になれば「兩親」たることは疑問の餘地がありません。

I love them, and they love me で **them** と **they** が同一の人々(こゝでは **parents**) で **them** が目的格になり **they** が主格になつてゐる所など **Page 56** の表に **they, their, them** と附け加へて説明すれば直ちに會得が出来るでせう。 **I** と **me** は已知の語ですがこの文で **them, they** と丁度逆に用ひられてゐます。

Who is this (or that)? こゝでは實際男の子か又は女の子かを指して質問してゐるのではありませんが只漠然と何等性別なしに人間を指す時には **this, that, it** などを用ひます。

The boy loves his sister その男の子は彼の姉(又は妹)を愛します。**loves** は **love+s** で主語が第三人稱、單數である場合の現在時に用ひます。即ち動詞を三大別しますと、

(a) Be (b) Have (c) 一般動詞。

となります。

- a. Be の第三人稱、單數、現在は.....is, am.
 b. Have の第三人稱、單數、現在は.....has.
 c. (1) Root (動詞の原形)に s をつけるもの。
 loves, lives, rides, sails, etc.
 (2) Root に es をつけるもの。
 goes, does, washes, etc.
 (3) 語尾を變化させて es をつけるもの。
 fly—flies, cry—cries, etc.

LESSON 27

Our Home (我が家庭)

Page 63—64 In the picture we can see a white house は We can see a white house in the picture と同じ意味ですが、in the picture に重きを置きたいひ方です。

in front of.....の前に。Phrase Preposition です。

Those trees near the door.....入口の近くにあるそれ等の樹木は.....

house 家(イヘ)(人の住む建物)。

home 家庭(ウチ)、ホーム。(一家族の定住する所)。

Father, mother, brothers, sisters,—all live here. 父、母、兄弟、姉妹—みんなここに住みます。勿論ここは自分の父母兄弟姉妹なのですが會話體ではしばしば my を省略します。且つ自分が男の子であれば brothers のうちに含まれ、女の子であれば sisters のうちに含まれてみます。here=in this house で、in our house 又は in our home は誤りです。

like to live here ここに住むことが好きだ。like to.....することを好む。here=in this house.

LESSON 28

At Six O'clock (六時に)

Page 65—66 I hear 私は聞く→私には.....が聞へます。

the clock strike 時計が鳴るのが。strike は Infinitive の to がその前に省かれてゐます。the clock strikes の變化した文です。

It is six o'clock (今)六時です。It は漠然と time (時刻)を表はします。o'clock は of clock の略で時計についての時刻のみに用ひられます。What o'clock is it?—It is six o'clock. 但しこの疑問文の方には o'clock の代りに time をも用ひます。即ち time は一般の時刻を表はしますから。

It is time to get up (今)起きるべき時刻だ。この場合には time の代りに o'clock を用ひません。

get up は口語で rise は文章語です。

at six o'clock 六時に。時刻には at をつけます。

boots は英國では普通編上げ又は長深靴をいひます。

stockings は長い靴下です。履まであるのもありそれ以上長いのもあります。

clothing [klóudig] は物質名詞で「衣類」といふ意味です。普通名詞の clothes [klouðz] は「着物」と譯した方がよろしい。

I am dressed これは Passive の形です。I am pleased 「私は喜んだ」などと同じ構文です。「私は装ひが出来た」と譯します。

I am ready for breakfast 私は朝食の(を食べる)用意が出来た。fast は「斷食」といふ意で朝食とは即ち夜間の斷食を破る意をもつてゐます。ここは抽象的に朝食を取扱つてゐますから無冠詞で用ひてあります。

LESSON 29

Breakfast (朝食)

Page 67-68 Mother is getting the breakfast 母は朝食をこしらへてゐます——料理をこしらへてゐます。the breakfast とあるのは our breakfast といふのと意味は同じで朝食の料理のことです。

I say, 私は(次の様に)申します。

May I help you to get the breakfast, Mother? お母さん、(あなたが)料理をこしらへるのをお手傳ひしてもよろしいですか。help は aid, assist の意で助力することです。尙 save, rescue は人命を救助することです。

I set the table 私は食卓の用意をします。set=lay=prepare.

Brothers and sister とありますから兄弟が二人と姉妹が自分ともに二人即ち四人きょうだいであることが分ります。

I take my place at the table 私は食卓に對つて自分の席につきます。

good bread and butter おいしいバター附きのパン。

LESSON 30

Cleaning The Rooms (部屋掃除)

Page 69-70 Cleaning the Rooms 部屋々々を掃除すること。即ち部屋の掃除。

have to.....せねばならぬ。口語で、must の方が強意です。

a pail of hot water 熱い湯を一桶。

some soap いくらかの石鹸。これは量を表はします。但数を表はすには some cakes of soap といひます。

cloths [klo:ðz] 布(きれ)。cloth [klo:θ] の複數形で發音上 θ が ð に變化します。前々課の clothes [klaʊðz] と發音と意味の相異を注意します。

woodwork はこの場合浴場用の木製の小盥、腰かけなどを指します。

Page 72 oy=oi=[oi], ēar-ēre-ēer=[iə], th=[ð], th=[θ].

boil 煮る、 joint 關節、(食卓用の)大肉片、 toy 玩具、

toil 骨折り、 hoist 掲揚する、 soil 土壤、

point 點、 spoil あまやかす、臺なしにする、掠奪する、

moist 濕り、 rear 後衛、 tear 涙、 mere 單なる、

spear 槍、 peer 貴族、 fear 恐れ、 beard 鬚、

deer 鹿。

LESSON 31

Washing (洗濯)

Page 73-74 the clothes to be washed 洗濯されるべき着物——洗濯すべき着物。

turn on the water 水道栓をれちて水を出す。これに反して水を止めることを turn off the water といひます。この on 又は off は副詞です。

I hang them on the line 私はそれ等を綱に吊します。西洋では日本の様に張板等は用ひないで 73 頁の圖にある様にします。

hang them up それ等を全部すつかり吊します。

EXERCISE

1. Where do you wash your clothes?
2. I wash them in the kitchen.
3. Where do you hang your clothes?
4. I hang them (up) on the line in the back yard.

LESSON 32

Fruits and Colours (果物と色彩)

Page 75-76 Strawberries はオランダ莓といひます。berry[béri]

とは漿果のことです。raspberry (えぞいちご、きいちご)、gooseberry [gúzberi] (すぐり)、mulberry [málberi] (桑の實)や holly (柊)の實などは漿果に属する berry です。咖啡の實なども coffee berry といひます。

Pears, Oranges なども西洋産と日本産のものとは實際のものは外見、風味が異つてゐますが普通には梨、蜜柑と譯してよろしい。Pear は例の瓢箪形のもので、Orange は我國でネーブルと稱せられるものの一種です。

Cherries は櫻桃(おうとう)で食用のサクランボです。

LESSON 33

Picture Vocabulary (繪單語)

Page 77 この課には Locomotion (交通)に關するものゝみを擧げてあります。

motor car は motor-car とも motorcar とも綴ります。automobile (米)のことです。motor とは動力といふ意です。

electric car のうち市街を走るものを屢々 tram (or street) car といひます。

train とは長くつゞいたもの即ち列車といふ意です、我國の鐵道も次第に electric train が走る機運に向いて來ました。

steamer は汽船の總稱語で、特に an ocean steamer のやうに大型汽船をさします、steamship は大型の汽船で、通常外國通ひの汽船をいひます、小蒸汽船は steamboat です。

aeroplane は airplane ともいひます。

LESSON 34

The New Hatchet (新しい手斧)

Page 78-80 この課は Washington (1732-1799) の少年時代の正直さを傳へた有名な話です。Washington は Virginia 州 Westmore-

land の Bridge Creek に生れました。彼の家は英國から來た舊家でした。一節から七節までは Washington が Readers (讀者)に向つて言つてゐる言葉です。

in our garden の our とは Washington とその家族の共有する庭だからで「うちの庭に生へてゐる」と譯します。邦語でも「我が學校」を Our school といひます。My school は所有者又は校長の言ふ語。

I do not think it is a very good tree = I do not think that it is so good a tree 私はそれがそんなに良い樹だとは思ひません。

Shall I cut it down.....? 僕が伐り倒しませうか。Shall I? はこゝでは I を相手と見立てた獨り言で、自分の心に問ふた文です。例へば、Ah! what shall I do? (まあ、どうしませう)。

Chop, chip! 丁々(木を伐る音)。chip = to break off a small thin piece or pieces by a quick blow. cp. a chip-axe = a small axe used with one hand to chip a timber. chip は木つばの意もあります。

to chop = to cut by a blow or blows of a sharp tool; cut to pieces; as, to chop wood, to chop up vegetables, to chop down a tree.

How the chips fly! = See how fast the chips are flying. 伐つた木片が盛に飛びますこと。

Oh, here comes father おゝ、お父さんが來られた。father といふ主語の位置を指摘し、here を文首に置いた爲め、それに修飾せられる動詞をその次に置いてあることを説明します。

What will he say? 彼(父)は何といふだらう。

Oh, dear! おやまあ! これはこれは!

What is this I see? = What's all this about? この有様はどうしたのか。

Who cut down my cherry-tree? 俺の櫻の樹を伐つたのは誰だ。cut

はこゝは過去形、この語は現在も cut であることを注意します。

Who did it? = Who cut it down?

What do you think of this boy? あなたはこの少年のことをどう思ひますか、とは著者が讀者に問ふた言葉で、正直なよい少年と思ふでせうの心を含めたものです。

LESSON 35

Twinkle, Twinkle, Little Star

(キラキラ輝け、小さき星よ)

Page 81-82 Twinkle は命令法の動詞です。

in the day = in the daytime. 日中は、晝間は。

Are you far away? あなたは遠方にあるのか。

What are you, little star? 小さき星よ、おまへは一體どんな物か。

How I wonder what you are! = How deeply I wonder what you are! = I am full of (or am filled with) wonder as to what you are. おまへは何であるのか私は非常に疑はしく思ふ。How = how deeply; how much. 韻文の各行が頭文字で始まることを注意します。

Up above the world so high [ʌp əbʌv ðə wɔ:ld sou haɪ] = You are so high up above the world おまへは世界の上にあんな高い所に居ます。

Like a diamond in the sky [laɪk ə daɪəmənd ɪn ðə skaɪ] 空に金剛石の様に(輝いて)。

以上は詩の一節で、毎行は頭文字を以て始めてあり、第一第二行と、第三第四行とは韻をなしてあります。尙此詩は次の節へ續きます。

Whén the glórious sún is sèt,

Whén the gráss with dèw is wét,

Thén you shów your little light,

Twinkle, twinkle, all the night.

the big bright sun あの大きな輝いた太陽。big とあつても別に the small bright sun がある筈のものではありません。只 little star に對して big といつたのです。

at night 夜間は。

are asleep 睡つてゐます。asleep は形容詞です。

I will go to sleep, too 私も亦寝ます。go to sleep = go to bed.

Page 84 i=[ai], ou=ow=[au].

hide かくれる、 tide 潮、時間、 dike 防波堤

(特にオランダ海岸の)、 pike 梭魚(かます)、 rice 米、

hive (蜜蜂の)巢、 dive 潜る、 bind 縛る、装釘する、

blind 盲目の、 grind 搗く、磨く、 gout 痛風、

bow 叩頭する、 drown 溺れる、 stout 丈夫な。

LESSON 36

London and England (ロンドンと英國)

Page 85-86 Page 85 の挿畫は The London Bridge, 遠景の建物(は The House of Parliament [pɑ:ləmənt] (議會)です。Page 86 の圖は King George V. of England です。現英國皇帝の正式の稱號は His Most Excellent Majesty George the Fifth, by the Grace of God King of the United Kingdom of Great Britain and Ireland and of the British Dominions beyond the Seas, Defender of the Faith, Emperor (神の恵によりて大不例顯愛蘭聯合王國の國王、海外の英國領土の國王、信仰の保護者、印度皇帝に在しますいと尊きジョージ第五世陛下)で、その御名は George Frederick Ernest Albert Guelph と申し、Guelph は Family name です。

London [lʌndən] 發音に注意します。事實上世界文明、經濟の中心地で

す。人口約七百萬あります。

It is on the Thames [temz] それ(ロンドン)はテムズ河に跨つてゐます。on は町が河に沿つてゐることを示します。cf. Stratford-on-Avon エイヴオン河畔のストラットフォード市、沙翁の出生地です。

England は英帝國全體をいふ時と大ブリテンの一部である英蘭地方の名の時とあります。こゝでは前者の意です。

George V. [dʒɔ:dʒ ɔə fifθ] ジョージ五世。

The English people 英國民。people は人々といふ意と國民全體を表はす時とあります。例へば **The Japanese are a brave people.**

尙 London について詳しい解説は四巻第六・七課に述べてあります。

EXERCISE

1. Our country is a part of Asia.
2. Tokyo is the capital of Japan.
3. Paris is the capital of France.
4. It is the largest city in France.

LESSON 37

New York (ニウ・ヨーク)

Page 87-89 **New York** [njú: jɔ:k] は合衆國大西洋岸の大都會、今や世界の文化の中心地として London を凌駕する勢です。建築物は高層のものが多く所謂 Skyscrapers (摩天樓)は有名です。中心になる Street が南北に走りそして横の街路が東西に走つてゐます。第一街から北に向つて二百何十街まであります。Hudson 河を隔て、西岸に Jersey City があり南東に Brooklyn があります。この三都を合して Great New York City が出来てゐます。人口約六百萬といひます。詳しいことは四巻第十課に述べてあります。

the United States of America アメリカ合衆國。獨立以來次第に states の數を増して來ました。今では 48 州あります。その states を unite した國といふ意味です。

the second largest city 第二番目に大きな都會、第二の大都會。

I live on the east side of the city 私は市の東側に住んでゐます。東側とは New York 市の中心をなしてゐる南北の大通りの東側のことです。

East Seventy-third Street 東第七十三街。New York の Manhattan 區にあつて the East River といふ海峡に面し Central Part の東方に續いてゐる地域です。

Page 87 の圖の近景は the Statue of Liberty で New York Upper Bay にある Bedloe's Island (一名 Liberty Island) に建つてゐます。

There the streets are wider and cleaner そこ (uptown) では街路の幅が (downtown よりも) 廣くて清潔です。

The East River は New York の商業地區なる Manhattan と Brooklyn のある Long Island との間にある海峡です。河だと思はれた爲にこの名がつけられたのです。

block は四方街路に圍まれた一つの區劃で、邦語の「丁目」に當ります。

I often go to the park 私はしばしばその公園 (Central Park) に行きます。go とあるのは日常の習慣を表す爲に不定時になつてゐるのです。Central Park, Hyde Park などの様に公園名は無冠詞なのが普通です。**Page 88** の圖は Central Park の正門です。

EXERCISE

1. ans. You live in New York.
2. ans. You live on the east side of the city.
3. ans. You live on Seventy-third Street.
4. ans. You live near the East River.
5. ans. They like to see the flowers.

Page 90 To be Memorized 暗誦のために。

Boat Sail on the Rivers (船は河を帆走る)

この詩は元來が The Bridge in the Sky (虹を比喩的に云つたもの)といふ詩の第一節を抜萃したものであります。

boats (小舟)も ships (大船)もこゝでは一般に船といふ意で同じです。

Are prettier far than these = Are far prettier than these これ等よりも遙かに美しい。these = boats and ships.

これの第二節は

There are bridges on the rivers,
As pretty as you please;
But the bow that bridges heaven,
And overtops the trees,
And builds a road from earth to sky,
Is prettier far than these.

Christina Georgina Rossetti [1830 1894] Dante Gabriel Rossetti の妹に當る女流詩人で、上に掲げた詩はその著書 "Sing-Song, a Nursery Rhyme-Book" (1872) に出てゐます。次に同詩人の詩を掲げます。

The Swallow (燕)

Fly away, fly away, over the sea,
Sun-loving swallow, for summer is done;
Come again, come again, come back to me,
Bringing the summer, and bringing the sun.
When you come hurrying home o'er the sea,
Then we are certain that winter is past;
Cloudy and cold though your pathway may be,
Summer and sunshine will follow you fast.

LESSON 38

Page 91-92 手紙の型式は下圖の様です。

	(1) 發信地
	(2) 日附
(3) 緒語	
(4) 本文	

(5) 結尾句	
	(6) 結尾敬語
	(7) 發信人署名
(8) 宛名, 住所.]	

(1) (2) は往々 Heading といひます。

發信地 Location, 日附 Date, 緒語 Greeting or Salutation or Introduction, 本文 Body, 結尾句 Closing Form, 結尾敬語 Final Salutation, 署名 Signature, 宛名と住所 Address or Direction.

Page 91 の本文以下の譯——貴女は明日午後三時にテニスの仕合にお越し願へませんか。Edith さんは友人數人と一緒に來ることになつてゐます。そ

れで私はあなたがそれ等の方に会はんことを望みます。Edithさん達は皆上手ださうです。では是非いらつしやいませ。さようなら。E. Brownより。

come round わざわざやつて来る。

for a set of tennis テニスの一勝負をする爲に。勿論實際は数回の仕合をするのです。a set は数回の勝負一組のこと。

is coming 来る豫定になつてゐます。英語ではかういふ場合に Present Progressive Form を用ひます。cf. I am going to Tokyo this winter vacation 私はこの冬東京に参ります。

some of her friends 彼女の友人のうちの数人。one of her friends の不定数複数。some friends of hers ともいひます。

They are good players = They are good at tennis = They play tennis very well あの方達はお上手です。

I hear = I am told = they say..... ださうです。私は.....聞き及びます。世人が.....云つてゐます。

Hoping to see you あなたに會ふのを望みつゝ。

Yours ever 勿々、敬具、さよなら。

Page 92 本文以下の譯——私は今日午後三時に参上いたしまして皆さんにお會ひするのが非常に嬉しいのです。私は前々永い間 Edithさんやその友人の方々と仕合をして見たく思つてゐました。上手な方々と遊ぶのはそれこそ愉快でせう。ではいづれ午後に。さよなら。M. Jones.

I shall be は I am の未來形。

to come 参上するのが。to go といはないのが英語の本質です。

and (I) will be with you = and I will see you お目にかゝる。will は自分の意志を表はします。

I have long wanted = I have wanted for a long time = I have long been wanting 私は永い間.....を欲して來ました。

to play a set 一勝負をする。

LESSON 39

New Year's Day (元旦)

Page 93-94 **New Year's Day** 元旦。因に元旦の前夜即ち大晦日を New Year's Eve といひます。

A happy New Year, girls! = I wish you a happy New Year, girls! (少女たちに向つて)皆さん、新年お目出度う御座います。西洋では新年は happy な prosperous なもので Christmas は merry なものとしてゐます。

to you all 皆さんに對して。

I am the little New Year 私は小さな新年といふものです。little とは New Year を擬人してその New Year が自分を謙遜して言つたのです。

I came last night when you were all sound asleep 私は昨夜皆さんが熟睡してゐる時に参りました。sound は「しつかり、ぐつすり」の意です。本來の意は「丈夫な」といふ語で、丈夫な者はぐつすり睡ることが出来るのです。尙 fast asleep ともいひます。

Listen and hear my merry bells 氣をつけてそして私のこの楽しい(除夜の鐘)をお聴きなさい。listen は自ら耳を傾けて聴くこと。hear は自然に他から聞えてくること。こゝでは Listen and hear で「氣をつけて聴け」位に譯します。

let me come in 私を(家の中に)入らして下さい。let は「許可する」意。即ち自分が come in することを許可するのです。come in とは家を主體に考へて人が入つてくることで、日本人はとかく go in と云ひたがる所です。

Do you know what I am bringing? あなた方は私が何をもつて來てゐるか御存じですか。what 以下は Indirect Question です。

A whole long year of days その日その日から成つてゐる長い丸一年なんですよ(——それを私は皆さん方に持つて來てゐるんですよ)。I am

bringing a whole long year of days to you を略したものです。

They are coming after me one by one それ等(その日その日)は私の次に續いてやつて來ます。one by one 一つ々々。

Perhaps you can tell how many there are=Perhaps you know how many days there are in the year. **tell** は人に知つてゐることを告げることであつて **know** の意です。

Each day will bring something new その日その日は何か新しいものを持つて來るでせう。something, nothing, anything などは形容詞が後に來ます。

May it be a very happy day! それ(誕生日)は(皆さんに)大さう幸福な日であることを祈ります。May it be.....!.....であれかし。

LESSON 40

Simple Conversation Forms (簡単な會話文)

Page 95-96 **madam** は已婚婦人に對して用ひる敬稱語です。これは「奥さん」などへ譯す場合もありますが先生に對してならば「先生」とでもいへばよろしい。又全體の文を敬意をこめていへばよろしい。

How are you, girls? 皆さん、お元気ですか。因に **How do you do?** は「今日は」位の意です。

Good night! これは「お休みなさい」といふ時に用ひます。即ち夜分に別れる時などには **Good night!** といつて別れます。

I am very glad to see you お目にかゝつて嬉しいですよ。「よくいらつしやいました」といふ意に用ひることもあります。

Come to see me again soon またすぐいらつしやいませ。

You are welcome よくいらつしやいました。御遠慮には及びません。**welcome** は歓迎する意ですからつまり **you** が歓迎された様な意を含む時に用ひます。**welcome** の本來の意は **to come to please another** の意です。

I am very sorry 残念です(自分に對して)、お氣の毒です(他人に對して)。

I beg your pardon 御免遊ばせ。これは人に對して詫をいふ言ひ方です。この文句を早口に **Rising Inflection** で言つて、相手の言葉が分り兼ねた時、「もう一度願ひます」の意で用ひることもあります。

I thank you for your kindness あなたの御親切に對してあなたに感謝します——どうも御親切に有難う御座います。

LESSON 41

Little Birdie (小鳥)

Page 99-100 **birdie** [bɔ:di] = a little bird: a pet name. 本篇の作者 Alfred Tennyson (1809-1892) は有名な英國の詩人で Cambridge の Trinity College に業を受け、1850年に Wordsworth に繼いで欽定詩人となり、1884年に貴族に列して男爵を授けられました。The Princess (1847), In Memoriam (1850), Enoch Arden (1864), The Idylls of the King 其他短篇の詩で有名なるものが多く、Westminster Abbey の The Poets' Corner に Chaucer の近くに葬られました。本課に載せたものは A lullaby [lɒləbaɪ] (子守唄)です。

says [sez] 發音に注意します。say [sei], says [sez], said [sed].

Rest a little longer も少し休みなさい。a little は longer = for a longer time を修飾する副詞句です。

flies away 飛び去ります。flies [flaɪz] の綴りに注意します。さうしてこゝでは單數の動詞ですが、名詞 fly (蠅)の複數も flies であります。

at peep of day = at dawn; at the first sign of daybreak 夜明に、黎明に。peep は一覗きの意です。

Till the little wings are stronger = until your small wings become stronger お前の翼がもつと強くなるまで。

What' | does lit'- | tle bird'- | ie say,'
 In' | her nest' | at peep' | of day ?
 "Let' | me fly'," | says lit'- | tle bird'- | ie,
 "Moth'- | er, let' | me fly' | a-way'."
 "Bird'- | ie, rest' | a lit'- | tle long'- | er,
 Till' | the lit'- | tle wings' | are strong'- | er."
 So' | she rests' | a lit'- | tle long'- | er,
 Then' | she flies' | a-way.'

以上の詩脚の Accent 及び Rhyme に就て生徒の注意を促します。
 この詩の第三第四節は次の通りですから板書して譯して見せます。

What does little baby say,
 In her bed at peep of day ?
 Baby says, like little birdie,
 "Let me rise and fly away."

Baby, sleep a little longer,
 Till the little limbs are stronger.
 If she sleeps a little longer,
 Baby, too, shall fly away.

LESSON 42

The Wind and the Sun (風と太陽)

Page 101-102 Just then=Just at that time 丁度その時に。

a man with a cloak 外套を着た一人の男。cloak はマント外套 (a mantle) のこと、普通の袖の分れてある外套は an overcoat 又は a coat です。

came in sight 見えて来た。He came in sight of the house その家

から見て見える所まで来た。

held the cloak closer 尙更からだにしつかりと外套を御へた。

EXERCISE

1. The Wind said, "I am stronger than you."
2. Just then a man with a cloak came.
3. Did he take off his cloak ?
4. Is the Wind stronger than the Sun ?

LESSON 43

Wise Sayings (金言)

Page 103-104 Time is money 時は金。即ち時は金銭のやうに大切であるの意。Time's money と書きます。

Time flies like an arrow 光陰矢の如し。

Look before you leap 轉ばぬ先の杖。跳ぶ前に注意せよ。Look は四邊に障碍物の有るか無いかをよく見ること。

Speak little, do much 不言実行。少なく喋り多く行へ。little は副詞用法で「殆んど……ない」の意です。

The early bird catches the worm 早起き三文の徳。朝風く起きる鳥は蟲を食べることが出来る。Early bird, early worm とはいひます。

Make hay while the sun shines 好機を捕へよ。即ち hay は雨天では出来ぬものであるから日の照る間に草を刈つて秣(まぐさ)をこしらへよといふ意です。hay とは草を刈つて干して牛馬の飼料としたものです。

Strike the iron while it is hot その機を逸すること勿れ。Strike while the iron is hot とはいひます。iron は物質名詞で無冠詞ですが、こゝは the iron とあつて anvil の上に置いて今勝に打たんとするその鐵のことです。鐵のみならず一般に金屬は赤熱してゐる間は軟かくなつてゐます。

Where there is a will, there is a way (なさんとする)意志のある所には(自から通ずる)道がある。精神一到何事か成らざらん。Where=The place where です。本文は There is a way where (=to the place where) there is a will の意を強めた倒置文です。

It is never too late to learn 學ぶに遅すぎるといふことはない、八十の手習ひ。本文は It is never too old to learn の意です。too late 遅すぎて間に合はぬ。too は「過ぎて役に立たぬ」意です。The grapes are too high for the fox to jump 飛び上つても高すぎて駄目だ。

A good servant makes a good master=A servant who is faithful to his duty would make a good master if he could be in a position to be master よき奴隷(しもべ)はよき主人となる。make=become。これに類したものに A good servant but a bad master といふのがあります。これは「下僕としては良いが主人としては悪い」の意です。

A little leak will sink a great ship 小隙大船を沈む。油断大敵。千丈の堤も蟻の穴より崩る。leak には隙間の意と、それを洩れて入る水との兩意があります。

When the cat's away, the mice will play 鬼の居ぬ間に洗濯。猫は鼠に對しては鬼です。play は遊ぶこと、自由勝手にはね廻ることです。mice は mouse の複数形です。

LESSON 44

The Dog and his Shadow (犬とその影)

Page 105-106 shadow は人影、物の影の如く射した影です、日蔭は shade です。例へば Let us rest in the shade. the dog の the は「お伽噺に出る例の」の意です。

What a good piece of meat (that is)! 何と大きな旨さうな肉の片(キレ)だこと。good は big and nice; big and of good taste の意を

含んでゐます。meat は食用肉のこと、beef, pork (豚肉)、mutton (羊肉)などを總稱して meat といひます。a piece は「一片、一切れ」。cp. I write with a piece of chalk.

I will take it home 僕は(それを)家へ持つて行かう。I will は I intend to (何々する積り)で、意志を表はします。take は carry (持つてゆく)の意味で、home はこゝでは副詞で「家へ」の意です。

I will eat it all myself 僕は(それを)皆僕一人で食べてやろう。all は形容詞で it を修飾します。myself は by myself; alone の意味です。cp. I will do it myself. eat it all は eat it up と同意義です。will はこゝでは意志を表はします。

Here is the bridge. the は名詞に冠してその一定のものたることを示す語です、即ちこゝには「いつも通る」といふ程度の意です。

I must cross it 私はそれを渡らなければならない。cross は一方の側から向ふの側に行くことです。

I will look into the water 水の中を覗いてやろう。look into は物の内部を見る意味です。

There is another dog もう一匹の犬がある(犬がもう一匹ある)。another は one more の意です。

He has some meat, too 彼もまた肉を少し持つてゐる。some は「若干、いくらか」の意で、こゝでは分量を表はします。too は「僕と同様彼もまた」の意です。

I will take his meat 僕は彼の肉を取つてやろう。take は take it away from him; snatch it away で、take by force (強奪する)の意を含みます。

Bow-wow! ワンワン。犬の擬聲語で、猫には meow-meow (or mew-mew) といひます。cp. Dogs bark; cats mew. 尙御参考のために擬聲語を用いた文を下に掲げます。

EXERCISE FOR NATURAL EXPRESSION

- "Bow, wow!" says the dog.
 "Mew, mew!" says the cat.
 "Cluck, cluck!" says the hen.
 "Peep, peep!" says the chick.
 "Quack, quack!" says the duck.
 "Caw, caw!" says the crow.
 "Moo, moo!" says the cow.
 "Baa, baa!" says the lamb.
 "Tweet, tweet!" says the bird.
 "Coo, coo!" says the dove.
 "Buzz, buzz!" says the bee.
 "Eep, eep!" says the mouse.

I have lost my meat, too 僕は僕の肉もなくしてしまつた。have lost は「失つた、なくした」の意味で、lost [lɔ:st] は lose [lu:z] の過去分詞、have は助動詞といふもので日本語の「た」に當るとあつさり説明して置きます。

A bird in the hand is worth two in the bush 明日の百より今日の十。手中に捉へてある一羽の鳥はまた藪の中にある二羽の価値がある。worth [wɜ:θ] は形容詞で of the value of の意です、「……だけの価値がある」と譯します。

LESSON 45

The Picnic (遊山)

Page 107-109 picnic とは辨當持ちで野山に遊びに行くことです。元來は各自が食物を持参した a fashionable social entertainment でありま

した。こゝは an outing (行樂)といふ意味です。因に excursion は團體でやる行樂です。これは picnic-picnicking-picnicked と變化します。

One day 或る日。過去の場合にいひます。未來の「ある日、いつか」は some day といひます。

Daddy は小供がその父を呼ぶ言葉です、(父ちゃん)。

may we have a picnic? 野遊びに行つてもよろしいですか。may は許可を乞ふ助動詞用法です。we とは John 一人でなく John とその家族のものを含んでゐます。have a picnic=go on a picnic.

It is so hot today 今日は大さう暑いんです。so は very の意、子供が母親の口調を真似たもの。

Mother will like a picnic お母様は遊山がお好きでせう。will は母の心持ちを想像して用ひたのです。

We can go (to the picnic) in the car 自動車に乗つて(遊山に)行きませう。can とあるのは今自動車が空いてゐるから乗つて行ける意も含まれてゐます。且つかゝる場合の can の用法は英語では至つて common のものです。**Can I do anything for you?** 何か御用事が御座いましたらいたませうか。

Ruth and May must go, too ルースやメイも亦連れて行かなければなりません。ルースやメイも勿論行くんです。**We must take Ruth and May, too** と同じです。どちらも少女の名です。

John had his ball and bat サヨンは彼のバットとボールを持つて行きました。had=took=carried.

So, they all had fun at the picnic さうして彼等は皆遊山をして愉快でした。had fun=had a good time 愉快に時間を過しました。

before dark 日暮れ前に。dark は形容詞を名詞として用ひたものです。その前に前置詞が来て名詞の様な働きをなすものに on high (天上に)、from far (遠方から)、from behind (後方から)、after dark (日没後)

などがあります。

EXERCISE

1. 或日 John と Betty は大きな木の下で野遊びゴッコをして遊びました。
2. Kitty (猫の名)は木に登りました。 Rover (犬の名)は木の下にいました。
3. Rover は “木に Kitty が登つてゐます、彼女を捕へることが出来ます”と言ひました。
4. Kitty はドンドン走りました、Rover も亦ドンドン走りました。
5. 併し Rover は Kitty を捕へませんでした。

APPENDIX

Different Types of the Alphabet

(字母の様々な形の活字體)

Page 111 一番上は Cheltenham [tʃɛltnəm] Bold Type の 18 point の Capital Letters.

二番目は同上 Small Letters.

三番目は Century Bold Face の 18 point の Capital Letters.

四番目は同上 Small Letters.

五番目及六番目は同上 Italics の Capital 及 Small Letters です。

Betty at the Shop (ベティの買物)

Page 112 a lot of playthings=many playthings 澤山のおもちゃ。playthings とは play する things 即ち things with which to play の意です。toys といつてもよろしい。

a funny little frog that could jump, jump, jump ビョンビョンビョンビョン跳べる所の可笑しな小蛙。that はこゝでは關係代名詞で jump の主語です。

I will not take the funny little frog 私はその可笑しな小蛙は欲しくない——買ひたくない。take は澤山の玩具の中から選擇する意です。

Page 113 She went on さきの方へ行つた。on は前進を表はします。

Page 115 I like it best of all (playthings) 皆のうちでそれが一番好きです。best of all=most of all.

Betty, tell me all the things (that) you found at the shop ベティさん、店屋で見たことについて残らず話して下さい。tell は「話をする、教へる」です。all は形容詞ですが冠詞の前に來ます。found は find の過去で「目についた、耳に入つた、氣がついた」等の意です。

Page 117 Then Betty's mother went to the shop with her to see the pretty doll そこで Betty のお母さんは彼女をつれてその可愛らしい人形を見に店屋に行きました。with は携帯、連行の意を表はします。to the shop の to は目的地を、to see の to は動作の目的を表はします。

What did she say? 彼女(=お母さん)は何と言つたでせう。

you may have the doll=I will let you have the doll=I will buy the doll for you その人形を買つて上げませう。

So Betty was glad to take the doll home with her そこで Betty はその人形を持つて家に歸るのが嬉しう御座いました。

BOOK TWO

LESSON 1

The Seasons (四季)

Page 1-3 the first season of the year その年の最初の季節。序数には定冠詞 the をつけます。

In spring=in the spring=in spring-time=when spring comes round 春には。春になると。

come out=open=bloom 咲く。

It is very hot in summer=The weather is very hot in summer 夏は非常に暑い。It は漠然と天候を表はします。尚 time を表はすことは一巻にありました。It is three o'clock.

After summer comes autumn, the third season 夏の後には第三の季節秋が来ます。Autumn, the third season, comes after summer といふ所を原文のやうにしたのは、前の文で夏を主にして話してゐたから、その意味で summer を前に出したのです。autumn と the third season とは所謂同格で、後者が前者を説明してゐます。

It is cool and pleasant 時候は涼しくて心地がよい。pleasant は快感を興へることです。

the fruits are ripe 果實が熟する。fruits は通常単数に用ひる語ですが、こゝでは各種の果物を指した故複数形を用ひたのです。ripe [raip] は形容詞で、「熟して」の意、こゝは ripen [raipn] (熟する)といふ語よりは原文のやうな言ひ方がよいのです。

The seasons are each three months long 四季は各三箇月の長さで

す。each [i:tʃ] は Distributive Adjective (配分形容詞)で、seasons を修飾し、long は形容詞で [for] three months は之を修飾する副詞句です。

EXERCISE

1. 澤山の花が夏(になると)咲きます。
2. 秋は第三番目の季節です。
3. 冬は最後の季節です。
4. 一年には四季あります。

LESSON 2

The Dolls' House (人形の家)—I

Page 4 has come to play 遊びに来ました。has come は現在完了時であることに注意します。

What can we do? 何をして(遊んだら)いゝでせうか。

You can make a dolls' house 人形の家をこしらへなさい。can は may の強い意で許可と命令の両意を含みます。a dolls' house の a は house にかゝります。a house for dolls の意です。cp. a servants' room.

Page 5 Make it just like daddy's house 丁度お父様の家(即ち我々の家ですが戸主が daddy ですから)の様なのを作りなさい。

Betty can be your little girl ベティはお前の娘になれるでせう。

It will be fun to play fathers and mothers 家庭ゴッコをするのは面白いでせう。will be は is の未来形ですがこゝでは現在の想像を表はします。to play fathers and mothers はお父様になつたりお母様になつたりして遊ぶこと。to play soldiers (兵隊ゴッコをする)などの如く play は「真似をして遊ぶ」意です。

I will be the mother 私がお母様になりませう。will は自分の意志を表はします。

Page 6 They can have playthings in it 彼等はそれ(その人形の家)の中に玩具を入れておくことが出来ます。have は保存する意です。

Page 7 EXERCISE

1. Mother, Miss Hana has come to play.
2. Can you find the old clock?
3. I will make a doll for you.
4. Here is the house she (has) made.

LESSON 3

The Dolls' House (人形の家)―II

Page 8 down by the pond 丁度池の傍に。down は今自分の居る所より低い所を指したのですが、往々自分の居る所を中心に考へてそれから離れた所を指し、別に「下り」の意のないことがあります。

It will be good to have a cup at the pump ポンプの所に茶碗を置いておくのはいい。good=a good thing.

Page 9 here comes daddy 父ちゃんがやってくる。Daddy comes here の倒置法で語気が強くなります。

Page 10 Just see what the boys and girls have made 小供等のこしらへたものを一寸御覧なさい。Just は「一寸」といふ意。what は that which の意です。

Page 11 But the day is over=But it is evening 而し日が暮れました。

They must come with me=I must make them come with me もう自分と一緒に歸らさねばならぬ(日が暮れたから)。

We will go into the big house=Let us go into the big house 大きな家(即ち彼等の家)に入りませう。We will=Let us で will は誘引を

表はします。

I will tell them how I made a little playhouse once 私は昔(少年時代に)どんな風にして小さな人形の家を作つたかを小供等に話してやりませう。how=in what way. playhouse は普通 theatre の意ですが、米國人は「人形の家」の意にも用ひます。once=once in my boyhood.

LESSON 4

The Flower Shop (花卉店)

Page 12 florist [flɔrist] は Latin 語 [floris flower+-ist] で -ist は何々専門家の意です。即ち花づくり専門家の意です。

all the year round=all through (or throughout) the year 年中。round は年始から年末にかけて一年が一週りする意で副詞です。

to put in their window boxes=彼等の窓の上に乗ける花箱に入れる爲に。window box 或は window-box とは窓の上に乗ける一種の温室箱でその中に小さい花卉類を入れておくのです。

Page 13 Red, white, and pink roses=Red roses, white roses, and pink roses.バラは英國の國花です。

also many kinds of ferns and palms 及び多くの種類の羊歯や棕櫚。

At Christmas time=When Christmas comes round クリスマスが近づくと。Christmas time とは十二月初旬からクリスマスの終る頃までです。Christmas 基督降誕祭。この語は Christ と mas (=mass, festival) の合した語で、耶蘇牧の開祖 Christ の誕生を祝ふお祭です。Christ 即ち "Jesus of Nazareth" は Palestine の一村 Bethlehem (Jerusalem の南 5 哩の所にあります) で 12 月 25 日の朝生まれました。

green holly with its red berries 赤い實をつけた葉の青々した柊(ヒラギ)。柊は威勢のよいものでクリスマスには無くてはならぬ植物です。日本で新年に松竹梅を求める様なものです。

Page 14 red roses and red carnations 赤のバラに赤のカーネーション。これもクリスマスに必要です、西洋では芽出度い時には一體に赤色のものを賞びます。

Easter は基督復活祭で、此日は猶太の國祭日たる Passover (贖越節、すぎこしのまつりび) に相當し耶蘇降誕祭に亞ぐ一般的祭典です。復活祭は三月二十一日後の第一日曜日で、之を Easter-day 又は Easter-Sunday ともいひます。

Rain (雨)

Page 15 Robert Louis Balfour Stevenson (1850-1894) は Scotland の小説家且詩作家です。1850年11月13日 Edinburgh [éidinbərə] に生れ長じて Edinburgh University で法律を學び卒業後自己に文筆の才あるを知つてその道に進みました。元來健康勝れず南太平洋中の Samoa に至り (1889) 五年間病を養ひましたが、1894年12月3日に腦溢血で長逝しました。著書には Virginibus Puerisque (1881), The New Arabian Nights (1882), Treasure Island (1883), A Child's Garden of Verse (1885), Ballads (1891), The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde (1886) 等があります。本課は A Child's Garden of Verse より抜萃したものです。

The rain is raining = It is raining 今雨が降つてゐます。

all around = all around us あたり一がい。

It falls on field and tree = It is raining on fields and trees 野にも木にも降りかゝつてゐます。tree のうちには hills や mountains なども含まれてゐると見て差支へありません。

on the umbrellas here = on our umbrellas (山や野は勿論) 我々の傘の上にも降りかゝる。

on the ships at sea = on the ships which are sailing on the sea 航海中の船にも降りかゝつてゐる(—いやひどく降つてゐることだわい)。

LESSON 5

Twelve Months (十二ヶ月)

Page 16 months [manθs] と mouths [mauðz] とを比較します。

We have snow in January = It snows in January 正月には雪が降ります。January [dʒænjuəri] (L. *Januarius* < Janus) は The month of Janus, the door-keeper of heaven, who presided over the entrance into the year の意味です。

There is ice in February 二月には氷が張ります。February [fébruəri] (L. *febra*, a Roman festival held on February 15th.)

The wind blows in March 三月には風が吹きます。英國に於ては三月には北海から東北の風が吹いて非常に寒いが、子供等は紙風が揚げられるので大喜びです。因に英國に於ては西風は暖い風です。故に Tennyson 卿の詩 Sweet and Low の第一節にも “Sweet and low, sweet and low, / Wind of the western sea, / Low, low, breathe and blow, / Wind of the western sea!” とあります。又諺にも “A windy March and a rainy April make a beautiful May.” とあります。

The rain comes to April = It rains in April 四月には雨が降ります。英國に於ては四月になると先づ春の季節で、雨が度々降ります。故に諺にも “April showers bring forth May flowers.” (四月の驟雨は五月の草花を咲かせる) とあります。

Page 17 Buds open in May 蕾は五月に開きます。buds は樹木草花の若芽です、而して兩者を區別する場合には leaf-buds (木の芽)、flower-buds (蕾)、mixed-buds (葉と蕾とを含むもの) といひます。

Roses bloom in June 薔薇は六月に咲きます。The rose は英國の國花と稱せられ、又 “the queen of flowers” (花の女王) といはれます。

June [dʒu:n] (L. Junius) は The month of Roman family Junius の意味です。

It is good to play in July=It is a great fun to play in July
七月に遊ぶのは面白い。good は amusing, nice, pleasant, enjoyable (面白い、愉快だ)の意。文法上 to play は Noun Infinitive (名詞的不定詞)でこの文の Real Subject で、it は to play を代表する Formal Subject ですが、生徒に教へるに當つては It is good は「面白い」、to play は「遊ぶのは」と譯して置けば十分です。July [dʒulái] (L. Julius) は The month of Julius Caesar の意です。

The days are warm in August=It is warm in August 八月には(日)が暖い。英國では夏の最中でも日本の夏のやうな日は数日しかありません。August [ɔ:gəst] (L. Augustus) は Augustus Caesar が自分の名を附けた月です。

We go back to school in September 我々は九月に學校へ歸つて行きます。英國に於ては The Elementary Schools は公立の小學校で通常貧民の子弟を教育する所、中等以上の家庭の子弟は九歳頃まで家庭教師の教育を受け、その後は The Boarding Schools (寄宿舎のある學校)へ行きます。即ち The Long Vacation (夏休暇)が終ると九月の中旬頃學校へ歸ります。September [səptembə] (L. septem, seven) は March を以て始まつた羅馬曆の第七月でした。

Apples are ripe in October 林檎は十月に熟します。October [ɔktəubə] (<L. octo, eight) は羅馬曆の第八月でした。

Page 18 **Cold days begin in November**=It begins to be cold in November=It becomes cold in November=Cold days come in November 寒い日は十一月に始まります、十一月には寒くなります。以上の例によつて月には前置詞 in を用ひて「に」の意味を表はすことを注意します。November [nouvembə] (L. november, the ninth month of the

Roman year, <novem, nine).

And Christmas comes in December さうしてクリスマスは十二月に來ます。

December [disembə] 十二月。December (L. decem, ten) は羅馬の第十月でした。

本課の短文は次の韻文から編者が敷衍したものです。

Snow in January.

Ice in February.

Wind in March.

Rain in April.

Buds in May.

Roses in June.

Play in July.

Warm days in August.

School in September.

Apples in October.

Cold days in November.

Christmas in December.

尙参考の爲に次の詩を掲げて置ませう。

The Months (十二ヶ月)

In January falls the snow,

In February cold winds blow,

In March peep out the early flowers,

In April fall the sunny showers,

In May the tulips bloom so gay,

In June the farmer mows his hay,

In July harvest is begun,

In August hotly shines the sun,
 September turns the green leaves brown,
 October winds then shake them down,
 November fields are brown and sere, (sere=dry)
 December comes and ends the year.

From "Brooks's Readers."

EXERCISE

1. 一月は寒い月です。
2. 三月には樹木は緑の葉を出します。
3. 五月には澤山の花が咲きます。
4. 八月は毎日大層暑う御座います。

LESSON 6

The Kindergarten (幼稚園)

Page 20 Kindergarten=children's garden=infant-school 幼稚園。獨逸語がそのまま英語となつたものです。

I send my little girl to kindergarten every morning 私は毎朝私の娘を幼稚園に送り届けます。every は each and all で毎朝献かすの意です。every の前には前置詞を要しません。every day, every boy, etc.

I give her a good breakfast before she goes 私は彼女が行く前においしい朝飯を與へます—食べさせます。

She must be in kindergarten at nine o'clock 彼女は九時には幼稚園に着いてゐなければなりません。

I tell every one (whom) I know how good the kindergarten is for children 私は自分の知つてゐる人には誰にでも幼稚園が小供にとつてどれ程良いものであるかをお話します。

They learn to play the right games in the right way 小供等は正しい遊戯を正しい方法で(することを)覚えます。邦語では to play は殊更に譯さないでもよろしいでせう。

Children need to play 小供達は遊ぶ必要があります。小供は遊ばせなければなりません。因に need-not となる時及疑問の文では助動詞の取扱をうけて第三人稱單數でも s 又は es をつけず又その次に来る Infinitive を略します。そして need not (.....するに及ばぬ)は need の反語でなくて must (.....ればならぬ)の否定となります。

We need to go there.

We need not go there.

He needs not work now.

Page 21 brings home the things (which) she made in kindergarten 幼稚園で作つたものを家(ウチ)へ持つて歸ります。brings は他動詞ですから the things といふ Object が來ます。the things は which でうけ which は made の Object になりますが which はこゝに省略されてゐます。go home の go は自動詞ですから Object を要しません。goes home with the things she made.....ともいへます。

Then she shows her little sister how to make the same things それから彼女は妹に同じものゝ作り方を教へます。how to make 作り方、cp. how to swim 泳ぎ方。

The kindergarten teacher 幼稚園の先生、保姆。

Page 22 They like to play in the park better than in the dirty, noisy street 小供等は汚い、喧しい街路(で遊ぶ)よりも公園で遊ぶ方が好きです。better than=more than.

The kindergarten children are almost sure to learn better than those who do not go to kindergarten 幼稚園に通ふ兒童は大抵通園しない者たちよりもよく物を覚えることは確かです。almost=very nearly.

almost は副詞で sure は形容詞です。sure [ʃʊə] は「……することが確か」なのです。those=those children.

wakes them up 彼等(即ち園児)の目を醒させる。とは彼等の智能を開発させることです。

EXERCISE

1. ans. You send your little girl to kindergarten.
2. ans. She eats oatmeal and toast for breakfast.
3. ans. She brings home the things she made in kindergarten.
4. ans. The kindergarten teacher takes the children to the park.
5. ans. Yes, I like to play in the park very much.

Picture Vocabulary (繪單語)

Page 23 A fountain-pen [ə fáuntinpén] 万年筆。fountain は源泉、噴水の意があります。

A drawing-pin [ə drɔ:ɪnpin] 畫用留針。婦人が髪に用ひるものは hairpin です。

An india-rubber [ən indjə'ɹʌbə] 護謨。この an india-rubber は a piece of india-rubber for erasing pencil-marks (字消護謨) のことです。護謨即ち india-rubber 又は rubber は rubber-trees の液汁から製したものです。因に黒板拭きを an eraser といひます。India-rubber を英語で gum といふこともあります。gum は元來樹脂(ヤニ)といふ意味です。cp. Please lend me your india-rubber. 又時に Have you a piece of india-rubber? といひます。

A pair of compasses [ə pɛər əv kámpəsiz] コンパス一挺。a pair は一對のことで二本脚があるからかく言ふのであることを説明します。cp. a pair of trousers; a pair of tongs. 羅針盤は a mariners' compass であります。

A pair of scissors [ə pɛər əv sizəz] 鋏一挺。

Blotting-paper [blɔ:tɪnpéipə] 吸取紙。a blot はインクの汚點です。

A penknife [ə pɛnnaɪf] 鉛筆削用のナイフ。

A blotting-pad [ə blɔ:tɪŋ pæd] 吸取紙帳(數枚の吸取紙を重ね机の上に擴げてインキを吸取るに用ひるもの)。blotting-paper は物質名詞で blotting-pad は普通名詞です。

A portfolio [ə pɔ:tfóuljəu] 紙夾(厚紙の表紙で作り畫用紙などを挟むもの)。

A satchel [ə sætʃəl] 生徒鞆(通常肩から紐で掛けるもの)。

A school-bag [ə skú:l bæŋ] 生徒用の手提。

LESSON 7

The Days of the Week (曜日)

Page 24 The days of the week は Sunday から Saturday までの七日を云ひます。week-days (週日)とは Monday から Saturday までの六日で sabbath-day (安息日)を含みません、即ち Sunday を含まないのです。圖解は 1928 年(昭和三年)の五月の calendar です。Sun, Mon,等は勿論 Abbreviations ですから Sun., Mon.,等とすべきですがこれは米國で發行されたものを直ちに利用したものですからそのつもりで生徒に Period を打つ方が文法上正確であることを教へます。

[注意] week はまた一週間の期間をも指します。火曜の正午から來週火曜の正午迄は a week です。Can you come to us for a week? A day of the week は week のうちの任意の或る日。a week-day は Sunday 以外の任意の或る日です。

The first day of the week 週の第一日。The first month of the year; the first day of the month など比較させます。

holiday は holy-day から轉じた語です。holy-day は religious

festival (宗教上の祭日)の意です、今では休日の意に用ひます。

Page 25 Next we have Wednesday = Next comes Wednesday
次には水曜が来ます。

to play outdoor games = to play games outdoors = to play games
in the open air 戶外遊戯をして遊ぶ。

we have school only in the morning 午前中だけ授業があります。

We are free in the afternoon 午後は暇です。free は外部から束縛を
うけないこと、即ち義務上すべき仕事のないことです。暇、自由といつても
勝手なすることではありません。

この課を終つてから已知の at six o'clock, on Sunday, on Wednesday
afternoon, in the afternoon, in May などについて時に關する前置詞の
整理をします。即ち

時刻には at,

月、年には in,

日には on, 但し午前、午後、夕方等の熟語には in,

in the morning, in the afternoon, in the evening. (the の代り
に他の形容語の来る時は in の代りに on を用ひます。on Wednesday
afternoon, on that morning, on the morning of next Monday).

Page 26

EXERCISE

1. The third day of the week is Tuesday.
2. We go to school on that day.
3. (a) What do we (or you) call the fourth day of the week?
(b) What is the fourth day of the week called?
4. Saturday is the last day of the week.
5. On Saturday we have no school in the afternoon.
6. We have no school on Sunday.

LESSON 8

Primary Tenses (基本時)

Page 27-29 Primary Tenses とは現在、過去、未來をいひます、
そのうちこの課では Be に就いての表示と何等異つた點もありませんから別
に餘分の説明をしない方がいゝかと思ひます。改めて表示しますと

1. 單數の場合

	現在	過去	未來
一人稱	am	was	shall be
二人稱	are	were	will be
三人稱	is	was	will be

2. 複數の場合

	現在	過去	未來
一人稱	are	were	shall be
二人稱	are	were	will be
三人稱	are	were	will be

Berlin [bə:lin] は獨逸語では [berlin] と發音します。獨逸の首都で人
口約二百萬、the Elbe River の中流に跨つてゐます。圖は有名な Unter
den Linden [únter den linden] (= Under the Linden-trees) 街です。
素朴なうちにも實に心地よき街です。

Paris [páris] は佛蘭西語では [pari:] と發音します。佛蘭西の首都で
人口三百萬弱、the Seine River に跨り市街の優美なのを以つて聞えてゐま
す。圖は同河畔 Notre Dame [nó:tr dám] Church の遠望です。

Next summer 来るべき夏には。これは現在が夏以前ならば今年の夏とい
ふ意にとれ、夏以後ならば來年の夏といふ意にとれます。

Brighton [bráitn] は英國南岸 Sussex 州にあつて London から 50 哩、
the English Channel に面する海水浴地。圖は Brighton 近傍の海岸、

the Chalk District と云はれる程白堊質の露出してゐる所を示してゐます。

LESSON 9

Public Signs (掲示)—I

Page 30 One morning 或る朝。one day と比較させます。

were walking downtown 下町を歩いてゐました。

a black and white sign 黒地に白で書いた看板。詳しく言へば、a sign in white letters on a black ground です。白地に黒字も a black and white sign といひます。

It said, "Stop—Look—Listen" それには——止れ——見よ——聽けよ——と書いてありました。said とはその看板が人間の代りに丁度我々に言つてゐる様であるから用ひたので It read (それには.....書いてあるのが讀めた)といつてもいいのです。

Page 31 A little way down the street 街路を少々やつて行くと。down は farther on といふ意です。

Not far away on the same street 同じ通りをあまり遠く行かないうちに——少し行つた所に。

I saw in big letters, "House for Sale"=I saw "House on Sale" written in big letters 大きな字で“賣家”と書いてあるのを見ました。for sale=to be sold.

on the door, と over the door の區別をします。on は扉そのものに書いてあるので、over は扉に書いてあるのではありません。

LESSON 10

Public Signs (掲示)—II

Page 33 walked on and on フンドン歩いて行つた。on and on

は on の意を強めたもの(一巻 73 頁 turn on, 同 113 頁 went on 参照)。

a street full of shops=a street which was full of shops 店屋で一杯な街。

Boy Wanted=A shop boy is (or Shop boys are) wanted.

in the middle of は「.....の真中、中間に」の意で、in the centre of は「.....の中心に」の意で一層精確な言ひ方です。

Look Up the Street and Down the Street before Crossing=Look up and down the street before crossing it 街路を横ぎる前に上手と下手とを(左右を)注意しなさい。

Page 34 called him to stop 止れと呼んだ、呼び止めました。

Page 35 Brother=my brother.

LESSON 11

Colours and Shapes (色と形)

Page 38 The blackboard や、The chalk や、The ceiling はその教室内のものを指すので定冠詞をつけてあります。The chalk などは只 Chalk としても意味は明かです。

Black and white make a grey colour 黒と白は(混合すると)灰色を作ります。grey は英國では gray と綴ります。

purple と violet はどちらも紫と譯します。どちらも目出度い色、瑞光を表はす色としてあります。漢語にも紫雲欄びく紫宸殿.....などの語があります。cp. These little towns look down on inlets of purple water.

Page 39 A globe これは地球儀のことです。地球の時には The globe といひます。

Page 40 EXERCISE

1. Yes, it is square.
2. a. Yes, it is long.

- b. No, it is not long. It is short.
 3. My inkstand is square.
 4. A triangle has three corners.
 5. My knife is very sharp.

LESSON 12

Going on a Picnic (行楽)

Page 41 Every pleasant Sunday in summer we go on a picnic = We always go on a picnic on Sundays in summer when it is fine 夏の日曜には天気の良い時にいつでも野遊びに出かけます。

early in the morning 朝早く。early は副詞、in the morning は副詞句、early in the morning も副詞句です。in the early morning は「早朝に」で early は morning を modify する形容詞、in the early morning で副詞句となりますが、early in the morning と文法上の解釋が異つてゐます。

stay all day 終日(行つた所に)ゐます。晩になる迄家に歸りません。

Page 42 ask a girl friend to go with us = ask a girl friend if she will go with us = invite a girl friend to go with us 我々と一緒に行かないかと尋ねて見る、一緒に行く様に誘ひます。

seashore 海岸、seaside 海邊、coast 海岸線、beach 渚、磯、strand (文語)濱、磯。

build a fire on the beach 渚で火を焚きます。

make coffee, make tea などはコーヒー、茶などを煎じてその飲料をこしらへることです。

go out into the country = go out of the city and go into the country 市を出て田舎に行きます。田舎の意味の時はいつも country に定冠詞をつけます。

After our lunch = After we have had our lunch お弁当がすんでから。cp. After breakfast, after dinner, after supper.

Page 43 the games (which) the children like 小供達が好く所の遊戯。

At night when we get home = after we get home at night 夜(になつて)家へかへつてから。

we are very sleepy because we have had so much fresh air and exercise 我々は大變澤山新鮮な空氣を吸ひ運動をしましたから睡くなります。are sleepy = become sleepy. because 「何となれば……だから」、理由を表はす接續詞です。so much は fresh air と exercise の兩方にかゝります。fresh には新鮮な、生の、鹽氣のない等の意があります。

The next morning その翌朝。

we feel rested and ready for work 我々は身體が休まつて何時でも仕事が出来ゐる感じがします。rested は身體が休まされたことで、原文は we feel ourselves (being) rested and feel ourselves (being) ready for work の意です。

EXERCISE

1. We went to (or into) the country yesterday.
2. We started early in the morning.
3. It is fun to go to the seashore.
4. Do you sometimes go to (or into) the country?
5. Did you pick many wild flowers?

LESSON 13

Comparison (比較)

Page 44 Comparison [kəmpə'ri:ʒn] は本課では形容詞の比較を取

へます。それは原級、比較級、最上級の三つです。この語の同一派生語には compare [kəmpeɪə] (名・動)、comparative [kəmpeɪətɪv] (形・名)、comparatively [kəmpeɪətɪvli] (副)、comparator [kəmpeɪətə] (名)、comparable [kəmpeərəbl] (形)、comparability [kəmpeərəbɪlɪti] (名) があります。

She is four feet two inches (tall) 彼女は四呎二吋の(春の)高さがあります。feet と foot とを比較させます。

Then you are five inches taller than May = Then you are taller than May by five inches では貴女は May より五吋春が高いです。by は「……だけ」といふ意で前置詞です。

Page 45 **Which of us two is the taller, Jane?** Jane さん、我々二人のうちでどちらの方が春が高いですか。the taller = the taller one の意で taller はこゝでは名詞です。the taller of the two; taller than the other となるのです。

You are the taller (of us two) = You are the taller of the two = You are taller than I.

old—older—oldest は年齢の比較に、**old—elder—eldest** は兄、姉の時の用ひます。

LESSON 14

The Prettiest Children (一番綺麗な小供)

Page 46 これは(たとひ醜くとも)自分の兒を一番綺麗だと思ふ親心を語る寓話です。Prettiest は Pretty の最上級で y を i にかへて -est を加へたのです。

Once = Once upon a time 昔て、ある時。

woods は「森」といふ意の時は通常は複数形を用ひます。

to shoot = in order to shoot 銃撃をする爲に。

met [met] 出會ひました。meet [mi:t] の過去です。

mother-quail 親鶉。鶉は食膳用として賞用されます。地中海沿岸では大群をなして移住するので往々一網で数百羽を捕へます。英國の鶉は日本のよりは小さい鳥です。quail の複数形は quail, quails どちらも用ひます。

Page 47 **O Hunter** おゝ獵師さん。O は oh と同意に用ひることもありますが、通常呼び掛けの語の前に用ひます。

I will not shoot = I promise you that I will not shoot 打たぬことにしませう。

answered [ɑ:nsəd] 規則動詞の過去が始めて出ます。-ed の形を説明します。

how shall I know them? = by what means can I tell which are your children? どうして區別することが出来ませうか。

All right = That is all right, I'll do as you say よろしい、承知しました。

held = held in his hand; was holding 手に持つてゐました。

a string of little quails = a bunch of quails on a string 小さい鶉を数羽紐にさげて。

dead 「死にたる」といふ形容詞で、その名詞は death, 動詞は die—died—died です。

my little ones = my little children 私の子供等。ones は代名詞です。

Page 48 **ugly** [ʌgli] = unsightly; ill-looking 醜い。この語は beautiful の反対です。

yours = your children; your little ones お前さんの子供たちは。yours [juəz, jɔ:z] は代名詞で「お前のもの、君のもの」と譯します。こゝでは複数です。

the prettiest = the prettiest (ones or children) 一番綺麗なと。

Then = On hearing this 之を聞いて、そこで。

Did you not know that every mother thinks (that) her own children are the prettiest? 貴君は母親は誰も彼も自分の子供が一番綺麗だと思つてゐるといふことを御存知ではありませんか。

News (消息)

The wind is in the east = The wind is in the direction of the east = The wind blows from the east 風は東から吹きます。東風です。

The Swing (ブランコ)

Page 49 How do you like.....?.....することがどの位好きですか。How = to what extent どの程度迄。

to go up in a swing ブランコに乗つて上に昇ることが。How do you like to go up in a swing? と Do you like to go up in a swing? とを比較させます。

Do you like to go up in a swing?

Yes, I like it.

How do you like it? (it = to go up in a swing).

I like it very much. (it = to go up in a swing).

Up in the air so blue そんなに青々とした空に上つて行くのが。

I do think it the pleasantest thing / Ever a child can do = I think it to be the pleasantest thing that a child can ever do = I think that it is the pleasantest thing for a child. I do think (I think) の Emphatic use です。it = to go in a swing up in the air so blue で think の目的句です。Ever は always の意ではなく at any time (いつでも)の意です。

swing は動詞としても用ひます。swing—swung—swung と変化します。

LESSON 15

Safety First (安全第一)

Page 50 Safety First = Safety is the first thing 安全が何より大切。Safety の熟語としては safety-match 安全マッチ、safety-lamp 安全ランプ、safety-razor 安全カミソリ、safety-valve 安全弁などがあります。Safety の形容詞は safe です。safe は又名詞として「金庫」の意があります。save は動詞として「救助する、節約する」の意があり、前置詞として「.....を除きて、.....以外に」の意があります。

on her way to school = when she was going to school 彼女が登校の途上で。

has to = must の會話體の (colloquial) 言ひ方。

all kinds of すべての種類の。

all the time = at all times = continually = always 始終。引つきりなしに。

Page 51 The first day.....new home. Ruth が新しい家に移轉してから學校に行つた最初の日に。

She tried to run all the way (to school) (學校まで)ずっと走つて行かうと試みました。all the way は全部の道といふ意で「ずっと、始終」と譯します。

she was running as fast as she could (run) = She was running as fast as possible 彼女は出来るだけ早く走つてゐました。she could と過去にしてゐるのは前に was running とあるからです。as possible とすれば Tense, Subject に関係なくいつでも用ひられます。

had almost run over her 殆んど彼女を轢く所でありました。然し實際は轢かなかつたのです。almost がなければ已に轢いてゐたのでした。

The man in the motor car 自動車に乗つてゐた人。西洋では日本の様

に特に運転手なくして誰でも自ら市中を運転することが出来ます。特に運転手を表はす時には chauffeur [ʃoufœ:] とか motorman (電車の運転手) とか云ひます。然しこゝではどちらにでもとれますが上の様に譯しておきます。

called to Ruth. Ruth に向つて呼びかけました。called Ruth であれば Ruth を呼んだので、called on Ruth であれば Ruth を訪問したのです。

My girl 呼びかけの語で「お嬢さん、貴女」位にあたる親しみを含んだ言ひ方です。

Page 52. led Ruth back across the street. Ruth を連れて再び街路を横きつて元の側に連れ戻りました。

Look Both Ways before Crossing this Street=Look up and down the street before crossing it 路を横切る前に左右を注意しなさい。

ever ran across the street again without looking その後一度でも Ruth が注意せず街を走り越したこと。

LESSON 16

The Fox and the Crow (狐と烏)

Page 53 この寓話は AEsop's Fables から採つたものです。Aesop [i:so:p] の傳記は不詳ですが、一般に信ぜられる所によれば、彼は Phrygia に生れ、the "seven sages" (希臘七賢人) と同時の人で、奴隸として数人の主人に仕へ、Jadmon of Samos と云ふ人のために開放されて自由の身となり、後 Lydia 國王の Croesus の爲に Delphi に使して彼地で暗殺されました。而して彼の寓話中 The Lion and the Mouse; The Dispute Between the Stomach and the Members は埃及の古文書に發見されたものと同一だと云ふことです。彼が書いた希臘語の原文は後世に傳はらなかつたのですが、希臘羅馬の著者によつて傳へられました。

saw a crow fly off with a piece of meat 一羽の烏が一片の肉をくはへて飛び去るのを見た。fly off は Infinitive の to を略したものです。a piece of 一片の。

meat 食用獸肉。特に牛肉を beef, 豚肉を pork, 鹿肉を venison, 羊肉を mutton, 馬肉を horse-flesh, 鶏肉を chicken [tʃikin] と云ひます。a piece of meat は「肉の一片」と譯すよりは「一片の肉」といふ方がよいでせう。all kinds of motor cars などと比較させます。

That's for me=That is for me あれば俺のものだ。自分に持つて來て呉れたのだ。

I must have it for my dinner=I must eat it for my dinner 自分はどうしてもそれを御馳走に食べなくちやならん。

said Mr. Fox to himself フォックス氏は獨言を言つた。

Mrs. Crow クロー夫人さん。寓話では大抵獸を男性に、鳥を女性に扱つてゐます。

How well you are looking today!=You are looking very well today 今日はお顔色が大きうございますこと。well=healthy.

How beautiful your feathers are!=Your feathers are very beautiful 貴女の羽毛は大きう美しくございますこと。a feather は一本の羽毛で、a wing は片方の翼です。beautiful は pretty, nice, fine などよりは意味の強い語です。

How bright your eyes are!=Your eyes are very bright お目が美しく光りますこと。bright は dull の反對語で、ばつちりとして美しいことです。

Page 55 **Your voice must be sweet, I am sure** して見るとお聲も屹度よいに相違ありません。I am sure=I am certain that 僕は確信しますの意。

Just let me hear one song from you=At this moment let me

hear one song from you 一寸今一歌聞かせて下さい。

After that=After I have heard you sing そのあとで。

foolish 馬鹿な。この語は wanting in judgment, lacking intelligence (道理の解らぬ、智慧のない)の意です。

was much pleased=was very glad 大さう喜びました。文法上 was pleased は受動態です。

lifted up her head 頭を上げました。lift は物を垂直に挙げる運動を表はす語で屢々副詞 up を伴ひます。

began to caw カカと鳴き始めました。文法上 to caw は名詞的不定詞で他動詞 began の目的語です。

as soon as she opened her mouth to sing 歌ふ積りで彼女の口を開くや否や。as soon as は接續詞の成句です。

That was all he wanted=He wanted nothing but that それは彼が欲した全部でありました。彼はそれ以外何も欲しなかつたのです。That はその肉を鳥から奪ふこと。

fell out=fell out of his mouth 口から外へ落ちました。

as he ran away=when he was running away 逃げ去りながら。as は Relative Adverb です。

Page 56 for your meat あなたから貰つた肉の代償として。for=in exchange against=as price of.

'Do not trust flatterers.' 汝に媚るもの(お世辭者)を信用してはなりません。この句が Double Quotation Marks 中に Single Quotation Marks を以て圍んでありますのは引用句中の引用句だからであります。

Lay out the money その金を使ひます。これは浪費するのではなく家計のために費すのです。the money とあるのは父が儲けたその金を指すのです。

the honey も the money と同じく蜜蜂のためたその蜜を指します。

LESSON 17

The Farmer (農夫)

Page 57 I shall sell..... の shall は單な未來の自分の行動を表はしてゐます。

Page 58 sold [sould] 及び bought [bo:t] は各前頁にある sell, buy の過去形です。bought の發音は特に boat [bout] とよく區別しておきます。

Page 60 Then what do you think happened? それから何事が起つたとあなた方は思ひますか。Question Mark は do you think にかゝるので what につくものではありません。Do you know what happened then? と同じです。

EXERCISE

1. The farmer sold his horse and bought a cow.
2. He sold the goose and bought a duck.
3. (a) The teacher said, "Who gives us milk?"
(b) "Who gives us milk?" asked (or said) the teacher.
4. "The cow gives us milk," answered the girl.

LESSON 18

The Dressmaker Making a Dress

(女裁縫師衣服を作る)

Page 61 dressmaker は婦人服を作る女子の裁縫師です。dress はこゝでは lady's gown or frock のことです。男子の裁縫師は tailor と云ひます。

cloth はその發音に二通りあります [klɔθ] 又は [klɔ:θ] です。その復數

形 cloths は [kloʊs] 又は [klo:ðz] となります。その動詞 clothe は [kloʊð] で、clothes [kloʊðz] は「衣服」と云ふ意の名詞です。これ等の発音は仲々面倒です。又 cloths を [klo:θs] と発音した場合は kinds of cloth の意で pieces of cloth の意ではありません。

Page 62 a needle and thread 糸を通した針。pen and ink, bread and butter などと比較します。

Page 63 sew the pieces of cloth together by hand or by machine 手又は機械によつて布を縫ひ合せる。

by hand and by machine 手でも(縫ひ合せるし)、又機械でも(縫ひ合せず)。手と機械と両方同時に用ひるといふ意味ならば by hand and machine と云ひます。machine は sewing-machine で邦語では単に「ミシン」と云つてゐます。

Page 64

EXERCISE

1. pins 2. cuts 3. sews 4. sews 5. sews 6. pulls

Good-Night (小夜の平和)

Far flies the light=the light flies far 光は遠くへ飛びます。即ち太陽が西に没することです。

But still God's love/Will shine above=But God's love will still shine above 併しそれでも神の愛は天上に輝いてゐます。

Making all bright 凡て萬物(の心)を明るく休ませながら。

Victor Hugo [viktə hju:gou] (1802-1885) は佛國の小説家且詩人で 1862 年に出版された *Les Misérables* は彼の傑作であります。

LESSON 19

The Lighthouse (燈臺)

Page 65 alone は exclusively と云ふ意で他の者を交へないことを

云ひます。こゝでは父娘(オヤコ)兩人だけの意です。

Boatmen saw the light shining out from the lighthouse on the rocks (沖を航海してゐる)水夫たちは岩の上にある燈臺から明りが輝き出てゐるのを見ました。

had to go away in a boat to get food ボートに乗つて食物を求めに出て行かなければなりません。had to は has to の過去ですが、must には過去形が無いためその過去として had to を用ひます。food は provision の意です。即ち食料です。

and a great wind kept him from getting home それから強い風が吹いて歸宅が出来ませんでした。keep+人+from+~ing=prevent+人+from+~ing でその人がその動作を妨げられて出来ないことを表はします。

at night 夜(分に)。副詞句です。

run on the rocks 岩に乗り上げる。坐礁する。

Page 67 Up, up she climbed to the top of the dark old lighthouse=She climbed up, up, to the top of the dark old lighthouse 彼女はドンドンと燈の消えた暗い古い燈臺の頂に上つて行きました。Up を前に出したのは強勢法です。climbed とは燈臺の内側にある階梯をよち登つて行つたからです。dark は燈火がついてゐないからです。

worked at the great lamp=tried to light the great lamp 點燈しようとしてその燈臺の大きなランプをいろいろいぢつて見ました。

until=and at last.....する迄、そして遂に.....しました。

boatss ailed by safely 船は無事に燈臺を横に見て航海しました。by は「側を」の意です。cp. He passed by me.

How glad her father was.....! 彼女の父はどんなにか嬉しかつたでせう。

when he saw..... とは父が食料を買ひに行つて、強風のために燈臺に歸り得ないで、心配して燈臺を見てゐた際、その娘が燈をつけてくれたのを見た時にと云ふ意で、父の責任も果せたからです。

EXERCISE

1. *ans.* They lived in an old lighthouse on an island.
2. *ans.* She was just six years old.
3. *ans.* The big lamp was at the top of the lighthouse.
4. *ans.* Boatmen saw the light shining out from the lighthouse.

LESSON 20

The Kind Old Oak (親切な櫨の古木)

Page 68 Oak は櫨(カシハ)と稱せられる木で日本ではその葉は五月節句の「かしは餅」を包むために用ひられてゐるものです。一概に oak と云つても數種類あつて葉の型、材質に相異があります。

sweet blue violets 紫の匂ひ堇。blue とあるのは勿論こゝでは violet (紫色)の意ですが次に violets がある爲に特に blue と言つたのです。尙 blue には憂鬱な (melancholy) と云ふ意があります、こゝでは秋の終り頃元氣の失せた意を含むものと見ても面白いでせう。

Page 69 will soon be here = will come soon 間もなくやつて來ます。

We are afraid of the cold = We fear the cold of winter 我々は冬の寒さが恐ろしい。

Go to sleep = go to bed = sleep 眠りなさい。

a red leaf とは「紅葉した葉」です。

Then leaf after leaf dropped down = Then leaves dropped down one after another それから次から次へと葉が落ちました。

were all covered over 全部掩はれました。all over = completely = entirely.

were fast asleep 熟睡してゐました。fast = sound で副詞です。

LESSON 21

The Pet Shop (愛玩動物店)—I

Page 72 I am going for a walk 私は散歩に行くつもりです。この文は I am going to go for a walk と云ふべき文ですが going と go と重複する時は go の方を省略することになつてゐます。I am going = I am about で「將に……せんとする」の意をもつてゐます。I am going for a walk は「私は散歩に出かけてゐます」と云ふ單純な説明から「私は散歩に出かけようとしてゐます——出かけるつもりでゐます」と説明してゆきます。

Who wants to go with me? = Any one of you wants to go for a walk with me? = Does any one of you want to go for a walk with me? 誰か一緒に行きたい人はありませんか。

I do = I want to go with you こゝでは do は want to go の代動詞 (Pro-verb) です。

So do I = I also want to go with you 私もさう (= 行きたい) です。

Page 73 And I do, too = And so do I = And also I want to go with you 私も (亦) 行きたいです。too は「も亦、その上に」で Billy も行きたいと言つたからその上に Milly も亦行きたいと言つたのです。

Where are you going? どこへ行きますか——どこへ行くつもりですか。

Wait and see, children, you must wait and see さあ皆さん、待つてゐてごらんよ、一寸待たなくちや…… (お父さんは今一寸準備して來ますから)。see はちつと黙つて見てゐなさいよと云ふ位の意。

We went down the steps and out into the street 我々は戸口の階段を下りて通りに出ました。out の前に went が略されてゐます。

Very soon = Very soon after they went out into the street すぐ、直ちに。

Page 74 entered the shop = went into the shop 店に入った。
enter = go into で他動詞です。

Did you ever see so many (birds)? = Have you ever seen so many? あなた方は今迄にそんなに澤山(の鳥を)見たことがありますか。現在完了形で経験を問ふ文の代りに ever を加へた過去の疑問文 (Did you ever + Root.....?) を用ひます。本文はその一例です。

jumped up and down あちらこちら飛び廻つた。up and down が本来の字義通りに「上下に」と譯されることもしばしばありますが、こゝでは here and there に近い意です。

shouted with joy 喜びの餘り嬉いだ。shout は大聲でキヤッキヤッとしゃべること。

Do see them! まああれ等を御覽なさい。do は本動詞の意を強めるに用ひます。Do come here.

said the children, all talking at the same time 小供等は皆同時に口を揃へて申しました。talking とありますから小供等が各々その兄妹たちに向つて目でも丸くして言つたことが伺はれます。獨言の様にいつたのではないのです。

Page 75 Some birds sang, some (birds) talked ある鳥は歌ひ、或る鳥は話しました。sang とは鶯、カナリア等の様に得意に囀るもの。talked とは鸚鵡、九官鳥の様に人語を出すものや、小鳥がお互に宛も話をするが如くに啼くのを含んであります。

LESSON 22

The Pet Shop (愛玩動物店) — II

Page 76 Mr. Wilson, the shopkeeper said 店主ウィルソン氏は申しました。Mr. Wilson と the shopkeeper は同格 (Apposition) です。

Would you like to see the dogs? = Will you like to see the dogs? 皆さん犬を御覽になりませんか。would は will よりも丁寧な質問です。

answered all at the same time 總べて同時に答へました。異口同音に答へました。

Page 77 took us all into a back room 我々をみんな奥の部屋に連れ込みました。took = led. back は店の入口から見て奥の方にあると云ふ意です。back room はまた back-room と書きます。

was full of dogs = was filled with dogs = was packed with dogs 犬で一杯でありました。犬が一杯あまりました。

what a noise they made! = what a big noise they made! = how noisy they were! 何と彼等は騒しかつたことぞう。

All of them barked at once = They all barked at the same time 彼等は皆同時に吠えました。at once = immediately = without delay = at the same time で「直ちに、同時に」となります。

big bow-wow-wows 大犬のワンワン吠える聲。big 大きな聲の。

little bow-wow-wows 小犬のワンワン吠える聲。

Page 78 Shake hands with me 私と握手しなさい。お手々! お手々! shake は「振る」であつて「握る」ではありません。握るは grasp です。西洋人は決して grasp のみをしません、shake するのですが shake するには grasp する必要があります。hands と複数にあるのは二本の hands を意味することは明かです。

paw は犬、猫、虎、獅子、熊などの前肢を云ひます。人間、猿などは hand です。前に Shake hands とあつても差支へありません。犬に hand がありませんから paw を出したのです。

played other tricks 他の藝當をしました。

Page 79 lay down 横臥しました。lay は自動詞 lie の過去で lie, lay, lain と變化します。他動詞 lay は lay, laid, laid で「横へる」です。

Wake up は目を覚まして起きることです。get up や rise には目を覚ます意は語字の上には表はれませんが事実上は含まれてゐます。

It is time to go home 帰宅すべき時刻です。もう帰宅の時刻が参りました。It は漠然と時刻 (time) を表はします。to go home の先行語 (Antecedent) ではありません。

My watch says four o'clock=It is four o'clock by my watch. says [sez], say [sei], said [sed] をよく區別します。

each one of us 我々はめいめいに。

said good-bye 別れを告げました。

LESSON 23

At the Meat Market (肉市場で)

Page 80 **I must have some meat today=I need some meat today** 今日は少し肉を求めればなりません。

We will go=Let us go (to buy some meat) の弱い意。

to Colt, the butcher's 肉屋の Colt さんの所へ。

for supper 夕食に。西洋では肉は主食物です。

What have you? どんな(種類の)肉がありますか。

Page 81 **Here is a good piece to roast at fifteen cents a pound** こゝに一封度十五仙でロース肉が御座います。a good piece (of beef)一片、一塊。牛肉のロースと云ふのはつまり roast にする肉で roast beef と云ひます。場所は sirloin (牛の腰肉の上部)であります。a pound=*per pound* で a は「.....につき」の意で前置詞です。

That is not what I want=I do not want such beef それは私の欲しいものではありません。

I want a piece to boil 私は赤肉の方が欲しいのです。赤肉はロースの次で脂肪がロースの様に多く無く boil するに適してゐます。

Give me four pounds of this at nine cents 私に(肉を指さしながら)九仙のこれを四封度下さい。this に Stress をおいて讀みます。

any 疑問、否定、条件、肯定にそれぞれ異なる意味で用ひられます。従つてそれに對する答も異つて來ます。

1. 疑問(有無を問ふ)。

何か Have you *any* book?

誰か Is (or Are) there *any* foreigner(s) living in your

幾らか Have you *any* good mutton? (本文の例) [town?

2. 否定。

何も I have *not any* (=no) book(s).

少しも I have *not any* (=no) money with me.

誰も There are *not any* (=no) foreigners living in our

3. 条件。

何か If you have *any* book here, please show it to me.

誰か If *any* one calls,.....

幾らか If you have *any* money,.....

4. 肯定。

どんな *Any* book will do.

誰でも *Any* schoolboy would know that.

幾らでも I will lend you *any* amount of money.

here is a piece (of mutton) at ten cents (a pound) こゝに(一封度)十仙の(羊肉)片があります。

a leg of mutton 羊肉の片脚分。

That is very good, and it is cheap at fourteen cents (a pound) それ(羊肉の片脚分)は大變良いもので、(一封度)十四仙では安いです。

Page 82 **That is too much** それは高過ぎます。too much=too dear. これは自分の求め様とする價よりは高過ぎることです。too much

は amount of money (金高)が多い過ぎることです。

Let me see that piece at ten cents 私にあの(一封度)十仙の方の(肉)片を見せて下さい。

That is too much for that, too=That is too dear for fourteen cents, too=And then, that is too dear for that それからあちらの方は(一封度)十四仙では高過ぎますよ。too much の too は much を修飾する副詞ですが、終りの too は文全体を修飾する副詞用法です。

if you take it all=if you buy it all=if you buy all of it それ(ここにあるだけ)を全部お買ひになるならば。

I think I will take it=I intend to take it それを買ふ(貰ふ)ことにしませう。

How much does it weigh?=What is the weight of it?=How heavy is it? 目方はどの位ありますか。weigh [wei] は自動詞で「.....の重さがある」で、その名詞は weight [weit] です。

That will be fifty-four cents それは五十四仙になります。

Will you take it? お持ちになりますか、お買ひになりますか。

Page 83 Here is a dollar ここに一弗あります。ハイ一弗。dollar は英國では [dɔlə] と発音しますが、米國では [dálə] と発音します。

Here is your change, ten cents ハイ、ここにお釣りが十仙あります。your change は「あなたが受取るべき釣銭」と云ふ意。

The Wind (風)

Page 84 Who has seen the wind? 誰が風を見ましたか。

Neither I (have seen it) nor you (have seen it) 私もあなたもどちらも見たことがありません。neither=not either で「どちらも.....でない」と両方を打消す語です。nor=and not.

hang trembling=are trembling 葉柄が枝について丁度葉が枝から垂れ

懸つてゐる様で而もそれがユラユラと動いてゐるのを言つたのです。

The wind is passing through (the leaves) 風が(葉の間を)吹き通つてゐるのです。

when the trees bow down their heads 樹木が彼等の梢を曲げておちぎをする時には。bow [bau] おちぎをする。bow [bou] 弓。

The wind is passing by (them) 風はその側を吹き通つてゐるのです。

LESSON 24

A Letter (或る手紙)

Page 85 21 Fleet Street フリート街二十一番地。

I suppose 私は.....だと思ひます。suppose は.....だと假想することです。

are now looking forward to=are now expecting.....を期待してゐる。.....を待ち遠しがつてゐる。

you would like to come to town (田舎から)都會へ来て見たいと。

for a week or so=for about a week 一週間かそこら。ここでは or so=or a little longer than that です。

Mother says I may invite you 母は私にあなたを招いてもよいと申します。may は子供の願ひに對する母の許可を表はします。

to spend part of your holidays with me あなたの休みの一部分を私と暮す様に。

I should be delighted to see you=I should be glad or pleased to see you あなたに會ふのがこの上なく嬉しいです。should は丁寧な言ひ方です。be delighted は be glad, be pleased より意味が強いのです。

can spare you for a little while しばらくの間都合をつけてあなたに暇が出るならば。spare=do without 居なくてもよい。

Page 86 Write soon = Write a letter soon 折返しお手紙を下さ
い。

and let me know そしてお知らせ下さい。

will be able to come (未来に)來得る。will be は are の未来形、
able は「可能で」と云ふ意の形容詞。can には未来形がありませんから
can の未来としてこの形を用ひます。

whether.....or not.....かどうか。neither.....nor, either.....or, both
.....and などと比較させます。

As you have not yet seen まだ見たことが無いから。not yet まだ
.....ない。

I am sure = I believe 私はきつと.....だと思ひます。

you would have a good time きつとあなたが愉快に暮すだらうと。
have a good time = to spend time pleasantly.

Your loving friend あなたが愛してゐる友。

Page 86 の挿畫は別に本文に關係ありません。これは New York の商
業の中心地で圖中の大きな建物は The Municipal Building です。The
Municipal Building は高さ 580 呎、34 階建ての建築であつて工費 1,300
萬弗を投じたものであります。橋は右から The East River に架した
The Brooklyn Bridge, The Manhattan Bridge, The Williamsburg
Bridge です。只大都市を表はした畫です。尙五卷第十課を御参照ありまし。

LESSON 25

Christmas (クリスマス)

Page 87 Santa Claus = Saint Nicholas (died 326), patron
saint of Russia. この聖者は商人旅人特に年少者、學校生徒の守護神です。
故に昔は英國の各學校で此聖者の記念祭を行ひましたが、此風は Christmas
として現今に残つてゐるのであります。

a jolly old man with a red face and long white beard 赤ら顔を
して長い白い髯を生やした愉快な老人。

He drives on the snow on a sleigh (which is) drawn by reindeer
彼は馴鹿(オウシロク) (通常六頭)に引かれた橇に乗つて雪の上を走ります。
reindeer は單複同形です。こゝでは複數です。

Page 88 last Christmas 去年のクリスマスに。

On Christmas Eve = The night before Christmas クリスマスの前夜
に。

hung up my stocking 私の長靴下を吊り下げました。一人で stocking
一本を吊るのでありますが數本を吊つても差支へはありません。hang, hung,
hung と變化する時は「吊るす、懸ける」ですが hang, hanged, hanged
と變化する時は「縊る」意です。She hanged herself for shame.

I was not at all sleepy = I was not sleepy in the least 私は全然
眠くありませんでした。

I sat up in bed a long time 永い間寢床の中で睡らずにゐました。
sat up とは睡らないで目を覺してゐたことです。a long time = for a
long time.

Page 90 took just a little nap = took a nap only for a short
time ほんの一寸の間假睡をしました。こゝでは little は short の意です。
I took a rather long nap と言ふことが出来ます。

It was morning = Day had already dawned もう朝になつてゐました。
was gone = was not there もう去つてゐなかつた。

found many toys in it それの中に澤山の玩具が入れてありました。
found は find の過去で自分の眼に止つた位の意ですが邦語では強いて譯す
には及びません。

Besides = into the bargain その上、おまけに。因に beside は「.....
の側に」です。前者は Adverb で後者は Preposition です。混同しない

様に注意を要します。

a pair of rubber boots 一足のゴム靴。

I enjoy walking in the snow with them 私はそれ等を履いて雪の中を歩くのが楽しみです。enjoy=take delight in で「……を楽しむ」の意です。walking は動的名詞 (Gerund) で「歩くこと」です。

Picture Vocabulary (繪單語)

Page 91 **pincushion** 針差し、針山。pin は止め針で needle は縫針です。松の葉を needle (=pine-needle) ともいひます。cushion は蒲團です。

A skein of wool 一匁(カセ)の毛糸。

LESSON 26

The Dairy Store (牛乳屋)

Page 92 **Third Avenue** 第三街。Avenue は米國では broad street の意です。

is painted white 白くペンキを塗つてあります。

both on the outside and the inside 外部も内部も兩方とも。

the man who helps him=his assistant=his shopman 彼の(雇つてゐる)店員。

Page 93 **People call**=They call 人々は(クラーク氏の店を「白い店」と呼びます。

sells butter by the pound and eggs by the dozen バタを封度幾らで賣り卵を打幾らで賣ります。

It costs more to buy milk in bottles 瓶に入つた牛乳を買ふ方が値段が高くかゝります。

Page 94 **It is best to buy**……買ふのが一番よろしい。

It is not safe to drink milk that is not perfectly clean 完全に清潔でないミルクを飲むことは安全ではありません——安心が出来ません。

EXERCISE

1. Where is the dairy store?
2. That store is painted blue on the outside.
3. This is good milk and costs eight *sen a go*.
4. He always wears a white apron in the store.
5. In summer, we keep milk in bottles in the ice box.

LESSON 27

The Two Sisters (二人の姉妹)—I

Page 95 **On her way** (to her grandmother's) she passed a plum-tree (祖母の家へ行く)途中で彼女は一本の梅の木の側を過ぎました。pass は前後又は側を通り過ぎること。

Page 96 **It was covered with plums**=It was full of plums 梅の實が一杯なつてゐました。

I can't hold all these plums 私はこれ等の實を全部支へることが出来ません。

Yes, I will=Yes, with pleasure 承知しました。

propped up the branches 枝をつつぱり支へました。

see what I have on this branch for you 私があなたに上げる爲にこの枝の上にもつてゐるものを御覽なさい。

Page 97 **After a time**=after a while 暫くして後。

dug away the sand その砂を掘つてとり除けました。

took out the leaves その葉を取り去りました。

Page 98 It is for you = I have brought it for you それをあなたに差上げるのです。

Nanny's gifts ナニーの貰ひ物。gifts は「贈物」ですが、こゝでは「貰ひ物」とします。Nanny = Ann = Anne = Nancy.

I shall go to grandmother's 私はおばあさんの所へ行かなくちやなりません。Fanny = Fannie = Frances.

Then I shall have gifts, too すれば私も贈物が貰へるでせう。

LESSON 28

The Two Sisters (二人の姉妹) — II

Page 99 On her way home (from her grandmother's) 彼女の歸宅の途上で。home は「家に」で副詞です。

why should I help you? どうして私はあなたを助けねばならぬのでせうか。should は must (必要) とちがつて義務を表はします。

Page 100 Yes, if you can take it 左様ですとも、(指輪を差上げますよ)、若しあなたがそれ(指輪)を取ることが出来るなら。これは自分を助けて呉れた禮として指輪を得ることが出来るならといふ意を婉曲に言つてゐます。

Page 101 Just then = Just at that time = Just at the moment 丁度その時に。

slipped away 滑つて(手につかまらずに)行つて了りました。

Page 102 She stretched (herself) so far that she fell into the water = She stretched very far, so that she fell into the river 彼女は大變身體をつき出しましたので水の中に陥りました。so = to such a degree = to such an extent. far は河の岸から離れることです。

dripping wet ずぶ濡れに濡れて。drip は水が滴れること。

Nanny helped Fanny to change her wet clothes to warm and dry

ones ナニーはファニーが彼女の濡れた衣服を暖い乾いたものに着かへるのを手傳ひました。change の主格は Fanny です。change.....to は「交換する」で change.....into は「變形する、變質する」です。

She tried to make her happy 彼女(ナニー)は彼女(ファニー)を幸福にしようと努めました。

I shall try to be as kind as you (are kind) 私はあなたの様に親切にならふと努めませう。

Compare She stretched so far that.....の that は Conjunction で副詞句を誘導してゐます。

It is not safe to drink milk that is.....の that は Relative Pronoun で milk を受け、is の主語になつてゐます。

What have you? の what は Interrogative Pronoun で、have の目的語です。

See what I have.....の what は that which の意で、Relative Pronoun です。that は see の目的語に、which は have の目的語になつてゐます。which の方が Relative の働きをします。

LESSON 29

The Hare and the Tortoise (野兎と龜)

Page 103 The Hare 野兎。これに對して家兎は rabbit です。又耳の長短からいひますと、短い方が hare で、長い方が rabbit です。

Brother Tortoise オ、龜兄さんよ。

you can't run very fast, can you? 君は極く速く走ることは出来まいね。この文の讀み方は can't と can に Stress を入れ、fast と you は下げて讀みます。

What! Run a race with me! 何だつて、私と競走するんだつて。
What do you say? Do you say you run a race with me? の略で

す。疑問文を縮めて感歎文で表はしてあります。

Page 104 That will be sport! = That will be fun! それは面白い。慰みになるでせう。

We will ask the fox to look on and to say who beats 狐に見物して貰つて誰が勝つか言つて貰ふ様に頼んで見ませう。

Will you, Brother Fox? (側にゐた狐に向つて) やつて呉れるでせうね、狐兄さん?

Now, go! サア、行け!

ran as fast as he could run 彼が走ることが出来る丈速く走りました。(2巻 51頁上から 5行目参照)。

There is that tortoise away behind あの龜さん、ずつと後ろにゐるわい。

Page 105 lay down 横臥しました。lie down の過去です。
kept going on 前進を続けました。going を keep on したのです。
got to the tree = reached the tree = arrived at the tree その木に着きました。

Here I am 私はここにゐますよ。サアいらつしやい。

Come on! やつて来なさい。

Page 106 has beaten you あなたを負かして了ひました。現在完了形です。

How did he do it? = How did he beat me? How has he beaten me? どうして彼は勝つたのでせうか。it は beating を表はしてゐます。

Proverbs Slow and steady wins the race じちじり主義が勝つ。slow であつても steady であれば勝つことを言ひます。

Make haste slowly 急がば遅れ。ゆつくり氣をおちつけて急ぎなさいといふ意です。

Lost time is never found again 一日再び長なり難し。失はれた時間

は再び得られるものではありません。

There is no rose without a thorn 樂あれば苦あり。A rose without a thorn は「完全な幸福」即ち「不可能な幸福」といふ意です。Roses have thorns は「花には嵐」に相當します。

There are no gains without pains 勞せずして得ることなし。gains 収益、儲け。pains = trouble 勞苦、骨折。

A friend in need is a friend indeed まさかの時の友は眞の友。A friend in need は「地獄で佛」に相當します。

Diligence is the mother of good luck 勤勉は幸運の母。

Diligence is the mother of happiness 勤勉は幸福の母。happy と happiness とを比較させます。

LESSON 30

A Nursery Rhyme (童謡)

Page 107 Ten little boys standing in a line は Ten little boys were standing in a line の略です。in a line 一列になつて。
and then それから。

Page 108 up to heaven = up to the sky 空を目がけて。
and left only seven そして只七羽を残した。left は他動詞です。

Page 109 One came out は One came out of the group で仲間から離れることです。

Page 110 as hungry as can be 出来得る限り食に飢ゑて。
One found corn 一羽が穀物を見つけて(そして他所へ行きました)。

and that そしてそのことが。

on the water blue = on the blue water (of the sea or the river)
青々とした水の上に。

LESSON 31

Michael Angelo (マイケランヂェロ)

Page 114 Michael Angelo は又 Michaelangelo とも綴ります。1475 年 Florence 出身の貧乏紳士の家に生れ 1563 年に死にました。本課は彼が十三四才頃の逸話です。

Page 115 Long ago = A long time ago 昔。

in a country over the sea = in a country abroad 海外のある國に。この話は英國から見た Rome のことですから over the sea とあるのです。a Grand Duke 太公。名を Lorenzo de' Medici (メディチのロレンゾ公)といひます。

A boy artist (who was) named Michael Angelo マイケランヂェロと名づけられた少年藝術家。

a laughing faun = a faun which is laughing で laughing は Participle の Adjective Use です。

The mouth was open so that the teeth could be seen 口は齒が見える様に開いておりました。

Page 116 He stopped to look at.....を見様と立ち止りました。stop to.....は stop in order to.....で、あることを爲すために今爲しつゝあることを止めるのです。

He stopped walking. 歩くことを止めた。

He stopped to walk. あることを止めて歩き出した。

He should not have all his teeth 彼には(老いたる半身半羊の神であるから)齒が全部揃つてゐてはならぬ筈だがね。all に Stress を入れて讀みます。

That is so ご尤もでございます。

APPENDIX

This is the House (これはその家)

Page 117 That the boys built = Which was built by the boys. That は Relative Pronoun で built の目的語です。

Page 118 That made the board 板を作つた所の。which was made into board の意です。

Page 119 This is the farmer, strong and good これは強き且つ善良な農夫です。

That cut the tree = Who cut the tree 樹を伐つたところの。

Page 120 that crows in the morn = which crows in the morning. morn は詩的用語です。雄雞の時を告げる聲は Cock-a-doodle-doo [kókədu:dldú:] です。

That wakes the farmer その農夫の眼を覺させるところの。

This is the Way (かくの如くに——物の仕方)

Page 121 This is the way we wash our clothes これは我々が我々の衣物を洗濯する方法です——かうして我々は自分の衣物を洗濯します。

BOOK THREE

LESSON 1

My Home (我が家庭)

Page 1 To have a.....=In order to have a.....

healthful=health-giving 健康上有益なる。 **healthy**=having good health=conducive to health (1) 健康な (2) 健康を得せしむる。

cannot be.....である筈がない.....たり得ない。

home は fixed residence of family or household で、 **house** は building for human habitation or occupation で、つまり home=house+family となります。

第一頁の挿畫は廣々した庭に面した veranda で父と娘がゆつくり話をしている圖です。遠くに森が見えたりなどしていかにも healthful な感じがします。

Page 2 To help to keep my house clean 自分の家を清潔にしておく一助として。

pavement はこゝでは玄関口や家のまばりの石敷やコンクリートを敷いた所を指します。

keep them free from dust and mud それ等にかゝつた埃や塵をいつも掃除しておきます。 **free from** は元來埃や塵のかゝらぬ様にする意ですが、實際上そんな譯にも行きませんから常に掃除をして清潔にしておくことです。

before going into the house=when I go into the house 家に入る前に。

第二頁の挿畫は中流以上の家庭の sitting-room を表はしてゐます。

Page 3 **should be aired**=**must be ventilated** 風通しなせればなりません。

at all times=**at any time** いつでも。

a little at the top (of them) 上部を少し。

to let the fresh air into the house 新鮮な空気が室内に入る様に。

let は入らうとするものを拒まないで放任する意の語です。

Proverbs **East or West, home is best**=No matter where it is situated, our own home is the best 東西南北家庭程よきはなし。

There is no place like home 家庭程よき所なし。 **like**=so good as.

An Englishman's house is his castle=An Englishman is the absolute master in his own house 英人の家は(彼にとつては)彼の城である。——他人の侵入を許さず。 *cp.* To every bird its own nest is charming.

Home is home, be it never so homely たとひ如何程質素であるとも家は家——賤が伏屋も吾が宿。 **There is no place like home** と同じです。 **never** は前例のない程のといふ意で今は **ever** を用ひます。 **be it** は命令文で、 **although it be ever so homely** の意。 楽しき家庭のことを **sweet home** といひます。

A small family is soon provided for=A family consisting of a few members can easily be maintained 小人数の家族は養ひ易し(大家族は養ひ難し)。

Charity begins at home, but should not end there=Our first duty lies to our own people, but it must not finish there, it must be extended 慈善は他人にも及ぼせ。 家族だけになさけをかけずに他人をも慈しめ。といふ意です。 **should not**.....べきではない。

LESSON 2

Spring (春)

Page 4 Even before the snow has all gone 雪が皆消え去つて了ふ以前に於てさへも——未だ消え去らないうちにでも。

snowdrop 五頁の挿畫にある様な脊の高さ五六寸位の水仙に似た百合科植物です。白い花です。

may be seen lifting its head その頭即ち花を擡げてあるのが見られます。

Page 5 the white coat which covers the earth=the snow, the earth=the ground 土地。

we may be sure that winter is past, and that spring is here 我々は冬が去つて了つたといふこと、又春が来たといふことを確信します。

As soon as the frost has gone 霜が全く降りなくなるや否や。

Spring is a time of hard work with him 春は彼には十分働くべき時期です。

Page 6 one of the last (trees) to give in to winter 冬(の寒さ)に參つて了ふ最後の樹の一つである所の。——冬の寒さに最も長く耐え得る樹の一つである所の。

to have their first feed of the new fresh grass=to feed on the new fresh grass for the first time of the year 初めて新しい新鮮な草を食べる爲に。

neither too hot nor too cold=just mild and gentle 暑すぎもしないし寒すぎもしない。

EXERCISE

1. ans. In England the snowdrop is the first flower of the

year.

2. ans. (a) The farmer does hard work in spring.

(b) The farmer ploughs his fields and sows the seeds.

3. ans. Yes, it is a time of hard work with him.

4. ans. Because in this season, the sun is bright, the air is neither too hot nor too cold, and in the fields many flowers come out.

LESSON 3

Radio (ラヂオ)

Page 7 radio は無線電話及無線電信の兩義に用ひられます。これは radio-telephone と radio-telegraphy とに對する colloquial な用法です。現時無線電話が非常な勢で流行して來たので radio といへば無線電話の事と思ふ様になりました。尙無線電信のことを wireless ともいひます。

has been fashionable.....for the last few years 最後數年間流行してゐます。has been+Complement はある状態の現在までの繼續を表はします。last は「最近」の意味です。

has become となつた。これも現在完了形で或る動作の結果が現在まで残つてゐることを表はす形です。

Page 8 Bureau [bjúərou] 局。役所。station は場所をいひます。東京中央放送局の符號は J O A K で、大阪中央放送局は J O B K, 名古屋中央放送局は J O C K です。

Atago Hill=愛宕山、山及丘の名には定冠詞を附しません。

was completed 完成された。

a radio set ラヂオ機械(一組)。

“listen in” 聴取する。ラヂオを聴く。これは radio のために出來た語句です。

lie down at home. 家で寝転んでゐる。lie, lay, lain; lay, laid, laid.

to make one. 一つの機械をつくる。one は a radio set の代名詞。

for yourself. 一人で(人に依頼せずに)。

Page 9 **put in=install.** 家の中に取付ける意です。

last night. 昨夜。昨朝は yesterday morning で last morning とは申しません。

LESSON 4

The Farm (農園)

Page 10 **How many of you have ever lived.....?** 皆さんのうち幾人が今迄に.....に住んだことがありますか。How many of you have ever been.....? 皆さんのうち幾人が今迄に.....にゐたことがありますか。

Page 11 **that are grown on farms in America** アメリカの農園で作られる所の——栽培される所の。

ready for market 収穫して市場に出して差支へのない。

In the fall=In the autumn 米國では秋のことを fall と云ひます。

to be ground into flour 挽いて粉に作られる。

to make feed for the horses 馬の飼料とする爲に。

Page 12 **They must be kept free from weeds and from insects which would kill them** それ等(の農作物)は雑草が一緒に生へたり、又それ等を(食べて)枯らす所の虫がついたりしない様にせられねばなりません。

Late summer 晩夏、夏の終り頃。

Page 13 **are sent abroad=are exported** 海外へ送られる。輸出される。

to be sold in countries where apples cannot be raised 林檎が作れ

ない所の國々で賣られるために。

raise only enough for themselves to eat 彼等が食べるのに十分なだけしか作りません。

raise fruit for market 市場へ出す爲めに果物を作ります。

Page 14

EXERCISE

1. In spring the farmer ploughs his farm.
2. The farmer must take care of his crops all summer.
3. Autumn (or Fall) is the time for the grain to be cut and the fruit to be gathered.
4. Wheat is ground into flour and made into bread.

LESSON 5

A First Visit to the City (初めての都市見學)—I

Page 15 **She was born in the country** 彼女は田舎で生まれました。to be born の形に注意させます。因に「彼女は子供を生んだ」は She bore a baby でなく She gave a birth to a baby 又は A baby was born to her といひます。この邊の構文は邦語と大分相異してゐます。

did not know much about the town 都會に就いては多く知りませんでした。much は名詞で know の目的語です。

Page 16 **took her on a trip to the city** 彼女を都市へ旅行に連れて行きました。cp. go on a trip.

was to be Anne's birthday treat アン誕生日の御馳走としてありました。treat は「御馳走をすること、おごること」です。

the best treat she had ever got 彼女が今迄に受けたうちで一番いゝ御馳走。

by the train = by train 汽車で。cp. on foot, by ship, by car.

down beneath the train 列車の下の方に、とは線路が町の屋根より高い所を通じてゐたからです。

Page 17 Street after street was passed (by them) = They passed street after street = They passed streets one after another 次から次へと街を過ぎました。多分踏切を次から次へと過ぎたことです。

had never seen before それ以前には見たことがありませんでした。
thought of 想ひ出しました。

Anne thought the country was ever so much better to play in than the town = Anne thought that it was by far better to play in the country than to play in the town アンは遊ぶのには都市よりも田舎の方が遙かによいと思ひました。

LESSON 6

A First Visit to the City (初めての都市見學)—II

Page 18 Crowds of people were going to and from the trains 大勢の人々は列車の方へ行つたり又そこから來たりしてゐました。
Crowds of = Many = A large number of. cp. Hundreds of people.

Page 19 luggage [lʌgɪdʒ] 旅客の手荷物。これは荷物の種類を表はさないで量を表はす時には常に單數を用ひます。米國では baggage [bæɡɪdʒ] といひます。

Page 20 was still more surprised atに尙更驚きました。
still は more を modify する副詞です。

wanted to sell them papers 彼等に新聞を賣りつけやうと欲しました。

offered to shine their boots 彼等の靴を磨かせて欲しいと申しました。

* buses は Omnibuses の略です。

Page 21 Every one seemed to be in a hurry 誰も彼も急いでゐる様に思はれました。seemed は自動詞で對手(の人又は物)が自分の目にその様に映することです。尙 look といふ語は對手の様子又は顔附きが自分にその様に見えることです。

were almost as good (as gold) 殆んど金のやうに立派で御座いました。
—Anne には殆んど金同様に思はれたのです。as good as は「實際、同様に」の意です。

LESSON 7

A First Visit to the City (初めての都市見學)—III

Page 23 had a long ride round the town 市中を長い間乗り廻しました。a long ride は「遠乗り」のことですが邦語では long は for a long time の意に譯す方が適當です。round は「あちらこちら」の意です。

which were quite new to her = which she had never seen before 彼女の眼には初めて々目新しくありました。

such crowds of people as were walking along (the streets) 市中を歩いてゐた所の(そんなに多勢の)人々の群。such.....as = of the same kind or degree as.

where kings had lived 歴代の王様が曾て住まはれた所の。

Lots of soldiers in fine red coats = Many soldiers who were dressed in fine red coats 立派な赤の洋服を着た澤山の軍人。Lots of (Colloquial) = A considerable number of = A great many.

seaport = town with a harbour 港をもつてゐる町即ち港市のことです。harbour は市街を含んでゐません。

Page 24 many ships of all kinds = all kinds of ships ですが many がついてゐるだけ船數の多くある意が観られます。

Men were busy putting in (their cargoes) or taking out their cargoes (from the ships) = 人々は(船に)彼等の船荷を船に積んだり又(船から)それ等を積み出したたりすることで忙しくしてゐました。

Page 25 After the day was over = After dark 日が暮れてから。

they miss the fresh air and green fields and other things of the country 彼等は田舎の新鮮な空気も吸へず緑の野を見ることも出来ずその他田舎のものを味ふことが出来ない。miss はこゝでは cannot enjoy の意です。

Page 26 you have many other things in the country which they would give a good deal to get = you have many other things in the country which they would pay much money if they could get 田舎のお前達は彼等(都會の子供達)が得られるならば澤山の金を拂つてよいと思つてゐる所のもの以外に澤山田舎にもつてゐます。

EXERCISE

1. We had a long drive round the city in a motor car.
2. In the harbour many ships of all kinds were lying at anchor. at anchor 投錨して。
3. Motor trucks, loaded with goods, were running towards (or toward) the quay.
4. Those who live (or People) in the country can enjoy fresh air every day.

LESSON 8

Milk and Butter (ミルクとバター)

Page 27 They found her in the dairy house, busy at work = When they met her, she was in the dairy house, working busily =

When they met her, she was working busily in the dairy house こゝの found も邦語に強いて字義通りに譯すには及びません。dairy house はバター等を造る(農家の)一棟建ての製酪室で、dairy shop はバター、牛乳等賣る店をなす。

churn 名詞ではバターを作る爲にミルクを掻き混ぜる器械で、動詞ではミルクを泡立つ様に掻き混ぜることです。

churning butter = churning milk to make butter.

Don't you ever play? いつも遊びませんか。ever = at any time.

Page 23 I have a good deal of time to play = I have much time to play 私には遊ぶ時間は澤山あります。a good (or great) deal = a considerable (or large) amount.

we have as much milk as we can take care of (it) 私たちは(それが酸腐したりして役にたゝなくなりますから)世話が出来る位の乳を搾ります。私共の手で始末の出来る限りの牛乳を搾ります。

What do you do with so much milk? = How do you dispose of so much milk? そんなに澤山のミルクをどう處分なさいますか。

Page 29 That's what my mother says さうは私の母も申すことなのです。what = that which で which は says の Object です。

We make butter with some of it それ(残り)のある部分でバターを造ります。with は from の意です。cp. We make wine from grapes.

Drop of Milk, Magnified, Showing Balls of Fat 脂肪の玉を示す所の拡大された一滴のミルク。

Page 30 As soon as the cows are milked 牝牛どもが乳を搾られるや否や。

The best cream makes the best butter = From the best cream, we can make the best butter 最上のクリームが最上のバターになります。makes = becomes = turns out to be. cp. She will make a good wife.

Page 31 Father says that we owe a great deal to the cows

=Father says that we owe very much to the cows = Father says that we are much obliged to the cows = Father says that we are very grateful to the cows 我々は牛に大層お蔭を蒙つてゐるのだと申します。この great deal は very much の意で owe の Object です。

This evening you must see them as they come home to be milked 今日夕方に牛が乳を搾られる爲に家に歸つて来る所を見なければなりません。→今日夕方に牛が歸つて来て乳を搾られる所を見なければなりません。是非それを見せて上げませう。 as = when.

Page 32

EXERCISE

1. *ans.* Lucy was in the dairy house.
2. *ans.* She was churning butter.
3. *ans.* Yes, she takes care of the milk.
4. *ans.* They had ten cows on the farm.
5. *ans.* Butter is made from cream.
6. *ans.* Yes, it is good for boys and girls (beyond anything else).

LESSON 9

The Blacksmith (鍛冶屋)

Page 33 Blacksmith は所謂鍛冶屋です。smith の種類に鐵を鍛冶する人を blacksmith. 金を扱ふ人を goldsmith (金細工屋)、銀を扱ふ人を silversmith (銀細工屋)、その他 tinsmith (ブリキ屋)、whitesmith (ブリキ屋、銀細工屋)などがあります。鍛冶場又は店を smithy といひます。

Page 34 We can hear it far down the street 我々はそれ(カンカンと鳴る音)を街の遠くに行つてからも聞くことが出来ます。down の中

にはそこから遠くへ行つてからの意を含んでゐます。

bellows 鞴(フイゴ)は交互に空氣を送り出す様にしてあるのが普通で、複數形を用ひます。

and it flames up bright and high それで火は赤々と高く焰を上げて燃えます。

Page 35 He makes them of iron 彼はそれ等を鐵で作ります。

of は材料を表はしてゐます。

The smith is putting shoes on him 鍛冶屋さんは彼(馬)に蹄鐵をうつてゐます。shoes はこゝでは蹄鐵です。

Page 36 They grow strong because he uses them それ等(腕)

は彼がそれ等を使ひますから強くなります。grow は成長すると共に變化して行く意です。become は只變化することのみを意味します。

The Blacksmith's Song (鍛冶屋を歌へる歌)

Page 37 hammers = uses his hammer.

Strike while the iron is red hot! その鐵の熱い間に打て——時機を失ふな。(一巻 43 課参照)

LESSON 10

Birthday Rhymes (誕生日の詩)

Page 38 Is lovely and fair of face = (its) Face is lovely and fair 顔が可愛く美しい。is fair of face = has a pretty face.

Is gentle and full of grace = Is gentle and graceful おとなしく優しい。

Page 39 Should never be idle or bad なまけてゐたり悪くてはならぬ。should は義務を表はしてゐます。

loving = affectionate = full of love to others 愛情に富んだ。

Page 40 her own dear mother's child = her mother's favourite child お母さんの気に入りの子(又似てゐるの意をも含む)。

Sabbath [Hebrew *shabbath*, to rest] 安息日。

gay = lively = sportive 快活な。

LESSON 11

A Girl's Clothes (少女服)

Page 44 At night = At nightfall = When night comes 夜になると。

undress = remove your clothes 着物を脱ぎます。cp. unbutton.

night-dress = a night-gown 寝巻。これは通常 linen 製であるが時には silk 製のものもあります。肩から踝(クルブシ)に達する長い寛かな着物です。

dress = put on your clothes 着物を着ます。これは衣類全般に關して言つたものです。

chemise = a girl's (or woman's) plain, sleeveless undershirt 肌衣(ハダギ)。襦袢。

Page 45 drawers ツロース。猿股。股引。これは通常 linen 製で、冬期用のものは flannel 製です。drawers は男子の場合にはズボン下のこと。chemise の下部は drawers の下にまるめ込むのです。

petticoat = the skirts collectively as worn by women, girls, and small boys 下袴。これは子供の場合には挿畫のやうに the top part (上半部)があり、大人のは腰から下で臀部を覆ひ、腰の部分に an elastic band がついてゐます。petticoat は linen 又は silk 製が多く、冬期には flannel 製が多いのです。

corsets コルセット。これは少女の場合には多くは裏を linen, 表を絹で

作り婦人の場合には全部絹製で中に細い whalebone (鯨骨)を入れたもの、以前は胸を固く緊めたものですが今は成るべく寛かにして胸の格好を取ります。少女の場合には多く corset の底部に左右に二本宛紐が付いてゐて其先端が靴下をはさむやうになつてゐます。

suspenders 靴下吊り、男子の場合にはズボン吊り(米國)。

garters 靴下留(締)め。挿畫 P. 44 (6) に示したのは elastic circles で大腿部で緊めるものです。

skirt = a girl's or woman's outer garment shaped like a petticoat from the waist downwards 袴。これは通常腰部を紐で結びます。十二歳位から以下の少女は大抵 skirt と bodice (or blouse) と一つになつてゐる frock を着ます。

bodice = a close-fitting upper part of a woman's dress, down to waist 胴着。この意味では bodice も blouse も同意義です。但し blouse は bodice と區別する場合には a woman's loose light bodice です。bodice はまた corset の上に着る vest (チヨツキ)を言ひます。

frock = a child's skirt and bodice as an outer dress for indoor use 子供の上衣。挿畫 P. 45 (4) は帯付の少女用 frock です。

Page 46 ribbon リボン。挿畫 P. 45 (5) は a piece of ribbon wound on a reel です。

shirt = undershirt = undervest シヤツ。女子の chemise and drawers が男子の vest and pants (= undervest and underpants) に相當し、直接肌に接觸する下着です。

knickers = knickerbockers = short trousers 半ズボン。

waistcoat = vest チヨツキ。

coat = a man's sleeved body garment 上衣。

if the latter = if she wears the latter 若し後者を着る時には。

holds them up 吊り上げて置きます。

Like a boy 少年と同じ様に。

jacket=a sleeved outer garment for a man or woman 袖付外套。
これは外出用で腰までの上衣であり一種の短い外套で、男子の場合には短い上衣です。

cloak=a loose sleeveless outdoor upper garment=a mantle マント。外套。

muff はつけてある紐で首に吊しておきます。そして両方から手を入れて歩きます。

Page 48 **cape**=a short sleeveless cloak 肩マント。

sun-bonnet 赤ん坊の日遮(ヒヨク)帽子。

pinafore=a child's washable covering worn over the frock to protect it from dirt 子供のうばつぱり。但しこれは肩から足の方まであつて、背部で釦又は紐で留めます。pinafore は袖のない方が多いのです。

necklace=an ornament of precious stones or metal, or beads, etc. worn round the neck 頸飾。頸輪。

bracelet=an ornamental band, chain, etc. for the wrist or arm 腕環。

brooch=an ornamental jewelled safety-pin for fastening some part of a female dress, especially the neck 襟留め。

EXERCISE

1. That little girl has a tie round her neck.
2. In winter men wear warm overcoats and gloves.
3. That lady has a ring on her left hand ring-finger (or the ring-finger of her left hand).
4. That little girl always ties her hair with a bit of ribbon.

LESSON 12

A Week's Work at Home

(家庭に於ける一週間の仕事)—I

Page 49 **on Monday morning**=on the morning of Monday
で morning の前又は後に形容詞又はそれに相當する語が来ると in が on に代ります。

I like to get my washing done 私の洗濯を終へて了ひたいのです。

before noon=in the morning 正午迄に、午前中に。

I get breakfast for the family 家族の爲に朝食をとるのへます。get breakfast は「朝食を食べる」といふ熟語にもなりますが、この get は prepare or arrange と同じで「準備をする」といふ意です。

wash and dress the children for school 学校へ行くために小供等の顔を洗つてやりそれから着物を着せてやります。

Page 50 **goes to his work** 勤めに出かけます。

my washing is hung on the line 私の洗濯物は綱に吊るされて了ひます。hang, hung, hung (二巻八八頁参照)

and I begin to get dinner の次に Then the children come back to dinner とでもいふ一句が略されてあるものと見ます。get=prepare.

till it is time to get supper 夕餉の仕度をする時刻が来る迄。

Page 51 **I sprinkle the clothes ready to iron** 私は着物にアイロンをかける用意に水を吹きます。ready to iron いつアイロンをかけてもいい様に。

to rub the iron on アイロンの表面を摩擦します。

A piece of a candle will do just as well as a cake of wax 蠟燭の一片は丁度一塊の蠟と同様に間に合ひます。a cake of wax, a cake of

soap, a piece of chalk, a loaf of bread, a sheet of paper などの使ひ分けを教へます。

wants me to help her to make 彼女が.....を作るのを私に手傳つて欲しいと申します。

hurry to finish my work 私の仕事を急いで片づけます。

LESSON 13

A Week's Work at Home

(家庭に於ける一週間の仕事)—II

Page 52 to do my marketing=to buy in market 市場に買物に。日用品を買出しに。marketing は Gerund で「市場に買物に行くこと」の意です。putting, sitting 等と異つてもが重なりません。

each other お互に、相互に。二人の間に就いて用ひ、三人以上の場合には one another を用ひるのが普通です。

where to go to get.....を得る爲に何處へ行くべきかを。

least は little の最上級です。little, less, least.

Page 53 soup meat スープ用の肉。これは上等肉ではありません。soup は drink するのではなく eat するのです。cp. I eat soup at breakfast.

a head of cabbage キヤベツ一塊。head=a compact mass of leaves or flowers at the top of the stem で、こゝではキヤベツの葉がクルクルと巻き固つてあるものをいひます。

every one 誰でも彼でも、老幼男女の論なく。one は漠然と人を指してゐます。

to do any baking どんな種類のものでもパンを焼くことは。

I do not have to do=I need not do 私は.....をするに及びません。

have to は must の意です。この意味の must の反語は need not です。

Page 54 pink gingham for one dress 一着分の桃色縞綿布。

for another dress 又他の一着分の。

to wear to school 學校に着て行く爲に。

cut the dresses out by the pattern 着物(に必要な分)をその型をあてがつて切り出します。

for Christmas=as a Christmas present.

it does not take long 長く時間がかゝりません。it は漠然と time を表はします。

Page 55 hurry home=go home in a hurry=return home in haste.

EXERCISE

1. On
2. should
3. by
4. have
5. It.

LESSON 14

A Week's Work at Home

(家庭に於ける一週間の仕事)—III

Page 56 help me to bake 私がパンを焼くのを手傳ふ。

rolls=rolls of bread 卷パン。朝食に用ひます。

Page 57 a cake or a pie は一種の菓子又はパイで a は一個の意ではなく a kind of の意です。

I must have enough to last over Sunday (明日の)日曜—パイ (cake や pie が)品切れにならぬ様に十分にこしらへておかねばなりません。enough はこゝでは Noun です。

for the family are all at home 何となれば家族は皆家にゐますから。family はこゝでは Noun of Multitude でその動詞は複數を用ひます。

at home は「氣樂にする」といふ意もあります。つまり家にゐれば氣樂いからです。

Page 58 My husband looks over the children's school work
=My husband helps the children to review their school work 夫は小供達の復習をしてやります。

EXERCISE

1. Children should help their mother to do anything every day.
2. You must learn how to make a cake and how to bake bread.
3. On Monday morning Mother goes out to do marketing with her children.
4. You must work hard in school if you wish to please your father and mother.

LESSON 15

Letters (手紙)

Page 59 New Hampshire 州は Maine 州の西に隣りし大部分山地です。

I shall be glad to have you at home again また家へ歸つて來なされることを嬉しく待つてゐます。

Do you like the sea? とは 姉の Grace が隣りの Maine 州の York 町にゐる Kate 叔母の所に行つてゐますから、その海に對する好き嫌ひを Grace に問うてゐるのです。York 町は Maine 州の最南端に在つて Boston 市の北約 70 哩の海岸にあります。

our pond は自分達の家にある池です。Kate は自家の池でも大きいから海もその位かと問うてゐるのです。

Page 60 drove the colt to town 仔馬に乗つて町へ行きました。
This was a new experience for the colt この(町へ乗つて行つた)ことは仔馬にとっては初めての経験でした。a new = the first.

Page 61 pine needles = the leaves of pine-trees 松葉。
It seemed to me that I could....., and that I could.....私には.....することが出来る様にも思へましたし、又.....することも出来る様に思へました。

Page 62 It is very still today それ(=海)は今日は大變静かです。
still は靜止してゐること、silent は音を立てないこと、quiet は言動共に靜かなことです。

Just as far as I can see, up and down the shore, are those little dancing waves 私に見える限りは、海岸の上手の方も下手の方もず一つと、それ等の(時々夜中に大音を立て、私の目を醒させる踊れる)小波であります。この文は平易に言へば Just as far as I can see, those little waves are dancing up and down the shore であります。

to come down to meet the water 下(サカ)つて來て(海の)水と一致してゐる様に。

If I should sail.....that line of sea and sky 今私が萬一にも何日も何日も船に乗つて航海するとしても、尙それでも私にはあの海と空の(一致した)線が見えるでせう。If = Even if should は現在の假定法で、could は I shall be able to に呼應する假定の結びであります。こゝでは sea も sky も無冠詞であります。

What fun we should have.....! どんなにか愉快でありませう。fun は have の Object です。

Page 63 Grace, the kitten, 仔猫の Grace が。
so that I shall not be ashamed of her 私が彼女(を飼つてゐること)が恥しくない様に。とは自分の名の Grace をとつて猫にも附けてある爲に

猫の Grace が悪ければいつも Grace は悪い悪いと、あたかも自分が悪く言われる様で恥かしいから、恥かしくない様にとの意です。

Give father and mother a kiss for me お父さんお母さんへ私に代つて接吻をして上げて下さい。for=in place of.....の代理として。

LESSON 16

The Singer and the Cricket (歌手と蟋蟀)

Page 64 Robert Browning (1812-1889) は生粋のロンドンっ子として生れ Venice にある子供の家で永眠しました。彼は「若し英國で死なば母の墓所に、フランスで死なば父の墓所に、イタリアで死なば妻の傍に」といつてゐましたが、英國大詩人の慣例として遺骨は Westminster Abbey に送られ、その the Poets' Corner に葬られました。墓石の片隅に彼の詩 "De Gustibus—" 中の二行の文句

Open my heart and you will see

Graved inside of it, "Italy."

我が心を啓き見よ、さらばその内に

"イタリア" の彫り刻まれたるを見ん。

と刻りつけられてあります。Browning は Tennyson と時代を同うし、彼の宗教詩を以つて名高きに反し、Browning は人生詩観を以つて高名を唱はれてゐます。彼の詩中 Pippa Passes (1841), The Pied Piper of Hamelin (1842), Childe Roland to the Dark Tower came (1855), Evelyn Pope (1855) などはよく知られてゐます。The Two Poets of Croisic は 1878 年に發表されたものです。

彼の夫人 Elizabeth Barrett Browning は poetess として或意味に於て夫 Robert Browning 以上だとも批評されてゐます。彼女は 1806 年に生れ若年にして作詩に長じてゐました。1847 年 R. Browning と結婚し、

1861 年イタリアの Florence で永眠しました。

long ago=a long time ago=once upon a time.

a great many people=very many people=a great number of people 大勢の人々。

a festival of song=a concert 歌祭り、音楽會。festival=a periodic musical performance(s). song を單數にしたのは詩的な言ひ方。

sat around (the stage) in bright-coloured tents 派手に彩られた天幕の中で(舞臺の周りに)席を占めました。

Page 65 **By and by**=shortly=soon やがて。

The people cheered them as they passed to their places. 聴衆は名歌手達が彼等の場所(=即ち彼等の座席)へ行く爲に彼等(=聴衆)の前を過ぎた時彼等に喝采をしました。them=the Mastersingers. they=the Mastersingers. their places=the seats of the Mastersingers.

First one and then another of the Mastersingers came forward and sang=The Mastersingers came forward one after another and sang 先づ一人それから又他の一人と名歌手が前へ(即ち舞臺へ)出て歌ひました。First は副詞です。and then=and next time. came forward=appeared on the stage.

Just then=Just at that time 丁度その時。

did not know of the broken string=did not know that the string had been broken その切れた糸のことに気がつかなくつた。その糸が切れてゐることを知らなくつた。of は about の意です。

Page 66 **No one had ever heard**=Any one had never heard 誰も聞いた者はありませんでした。

The statue tells us that.....の that は Conjunction です。

the little friend that.....の that は Relative Pronoun です。

Page 67

EXERCISE

1. *ans.* A great many people came together to listen to a festival of song.
2. *ans.* They sat in bright-coloured tents.
3. *ans.* The Mastersingers sang songs to them.
4. *ans.* It was a young man.
5. *ans.* One of his strings broke. *his strings*=the strings of his lute.
6. *ans.* They crowned the singer with flowers and hung a gold chain around his neck.

LESSON 17

The Honest Woodman: A Play (正直な樵夫一劇)

Page 68 *dive for it*=dive for the purpose of getting it それを取りに潜水する。for は目的物を求める意です。

I dare not (dive for it) 水に潜るだけの勇氣はありません。dare は助動詞。

The river is too swift here 川は此處はあまり急流すぎます。(それで潜水するだけの勇氣がないのです)。

What shall I do?=What do you wish me to do? どういたしませうか。Shall I+動作を表はす動詞? は相手の命令を乞ふ形です。

Page 70 [*Enter a Fairy.*] 仙女入り来る。仙女登場。これは Let a Fairy enter 即ち Imperative の let を省略して動詞を前に置いたもので、劇に用ひる言ひ方です。

good sir お禮那樣。お若さま。

Page 71 *Take them as a gift from me* それ等を私からの贈物として受取りなさい。them を a gift と單數で受けたのは them (=the gold and silver axes) を一まとめとして贈物と見たのであつて、一品一品を區別して言つたのではないのです。

And now good-bye! ではさようなら。

Page 72 *I have something fine to tell you!* 私はあなたに告げるべきあるよいものを持つてゐます→私はあなたにお話するあるいとことがありますよ。

Why should I not have a gold axe, too?=There is no reason why I should not have a gold axe, too. 自分だつて金の斧が得られない理由はありますまい。should はこの場合 propriety (當然) (*N.E.D. shall, 18*) を表はします。

I will! Indeed, I will! オ、さうだ、本當にさうだ。(私も金の斧を得よう)。I will の次には *have a gold axe, too* が略されてゐます。

I will bring it up for you あなたにそれを持つて上つて來ませう。bring は carry の意で只「持參する」ことです。fetch は go for and bring back で「取りに行く」ことです。bring up には「養育する」といふ熟語がありますが茲では文字通りに河の底から「持つて上つて來る」ことです。for=for the sake of. for you=for your sake.

Page 73 *was not of gold*=was not made of gold 金で造られてはゐませんでした。金製ではありませんでした。of は材料を表はします。

LESSON 18

A Bird in School (學校に飛び込んだ鳥)

Page 74 *tame*=broken=domesticated 飼馴らされた(所の)。
flew about where she pleased 彼女の氣に入つた所を飛び廻つた。

Seeing the children sitting so quiet, she grew bolder, and hopped farther in 大變おとなしく着席してゐる小供達を見て彼女は大膽になり更に奥深く跳び込みました。Seeing=When she saw. farther は far, farther, farthest と變化します。これは距離についての形容詞です。far, further, furthest と變化する時は程度を表はす副詞です。

all the children watched to see what she would do there 全ての小供達は彼女が其處で何をするかを見ようと注目しました。

a glass of water 水の入つてゐるガラスの器——ガラス製の花瓶。

set about picking the flowers=began to pick the flowers 花を摘み始めました。picking は Gerund で set の目的語です。

Page 75 In doing this=While she was doing this かうしてゐるうちに。

Page 76 as soon as the children 小供達と同時に。as soon as =the moment that=on the instant that=immediately after.

by the help of her wings she won the day=by flying she got into the playground 翼の助けによつて彼女は勝ちました。即ち人力の及ばぬ高い所を飛んで運動場に入り込んだことです。won the day=won the victory.

looking very grave and wise 大變眞面目な賢こさうな顔つきをして。

drew her notice 彼女の目を惹きました。彼女は……に目が止りました。

Page 77 took her place=perched=sat. 止つてゐました。

Page 78

EXERCISE

1. A sparrow flew (or got) into the schoolroom and sat over the blackboard.
2. A girl tried to catch her, but soon she got out of the window.

3. She upset her inkstand and spilt the ink on the floor.
4. She wiped up the ink, but could not wipe out the blots on her clothes. (3) 及 (4) の ink には定冠詞をつけます。

LESSON 19

Supper (夕餉)

Page 79 Preparing Supper 夕餉の支度をする事。

cooks the meals 朝晝夕三度三度の食事を料理します。

Page 80 has just come in from work 一日の仕事を終へて丁度入つて来た所です。

They have been baking for an hour and are all ready to eat それ等は一時間も焼けてゐまして皆すぐにも食べられます。baking は元來は他動詞ですがこゝは自動詞でパン等が「焼ける」ことです。cp. The house is building.

Page 85 ice chest=ice box (二卷二十六課)

EXERCISE

- | | | |
|-----------------|---------|----------|
| 1. on, or near | 2. near | 3. under |
| 4. behind | 5. near | 6. near |
| 7. near | 8. near | 9. in |
| 10. near and on | | |

LESSON 20

Lullaby (小守唄)

Page 86 Sweet and low=Sweetly and softly. sweetly は agreeably, pleasantly の意です。詩には形容詞を副詞的に使へるのです。low は high の反對語で、a high wind とは強風のことです。

Wind of the western sea 西の海から吹き来る風よ。これは風に向つて呼びかけの句です。wind は詩では柔かく響く様に [waɪnd] と発音します。英國では西から吹く風は概ね暖かい軟風です。

breathe and blow 息をせよ、吹けよ。—初めの四行に於ては breathe and blow に sweet and low 及 low, low がかゝつてゐます。今これを逐行に譯して見ますと

心地よく柔かく、心地よく柔かく、
西の海の風よ、
柔かく、柔かく息をせよ、吹けよ、
西の海の風よ。

となります。尙この詩全體がさうであります、この四行だけでも長母音の多いこと、w や l など柔かい子音の多いこと、同じ響きの音も色々に重ねてあることなどが、この詩を柔かく滑かに響かせ、従つてそよそよ吹く風の響を偲ばせてゐます。

the rolling waters うねつてゐる海。rolling は波動してゐる、うねつてゐること、waters (複)は海、時としては河の意です。

Page 87 **the dying moon** 沈みゆく月。die—dying と語の變化を注意します。これは火などが「消える」といふことから月などが沈んで消えることに用ひます。

Blow him again to me=Blow my husband again to me この歌を唱ふ女の夫は船夫であります。

my little one=my baby. one は 漠然と「人」の意ですが little 又は dear などの形容詞をつけると「子供」の意になります。

Sleep and rest 眠つてお休みなさい。

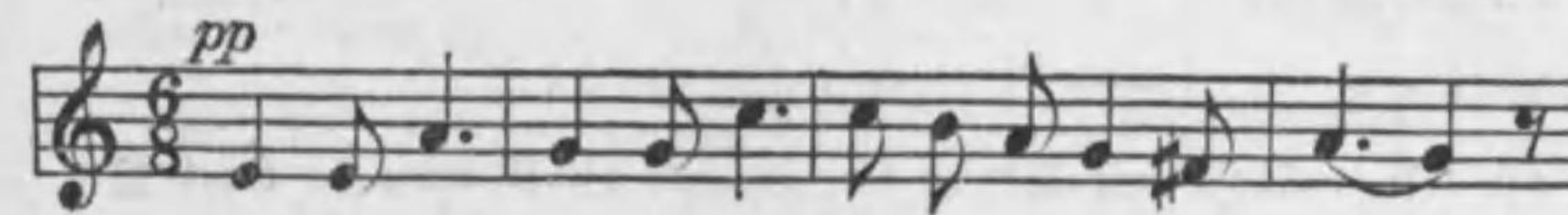
his babe in the nest 巣にゐる彼の赤ん坊。babe は baby の雅語です。nest とは前々行にある mother's breast (母の胸)を形容して云つたのであります。

Silver sails all out of the west=There are white sails coming out of the west 銀色の帆が西の方から來ます。silver sails=sails looking silvery in the moonlight.

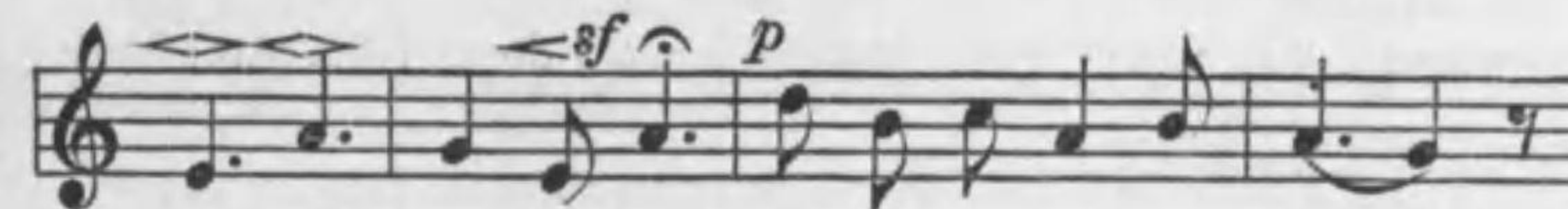
Sweet and Low

Larghetto

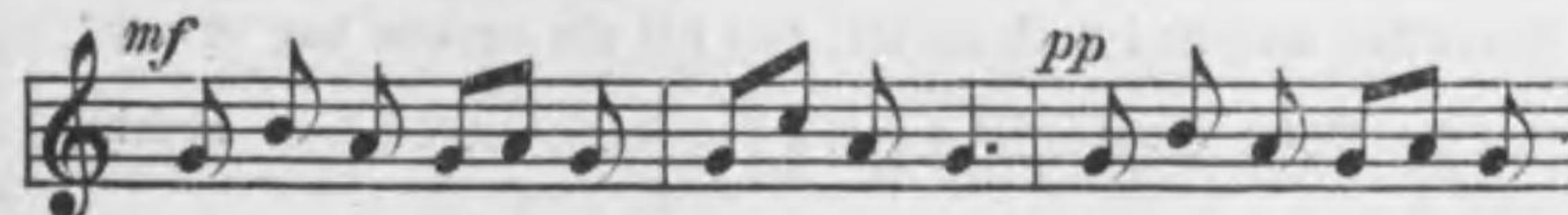
T. Barnby



Sweet and low, sweet and low, Wind of the west - ern sea, -
Sleep and rest, sleep and rest, Fa - ther will come to thee soon; -



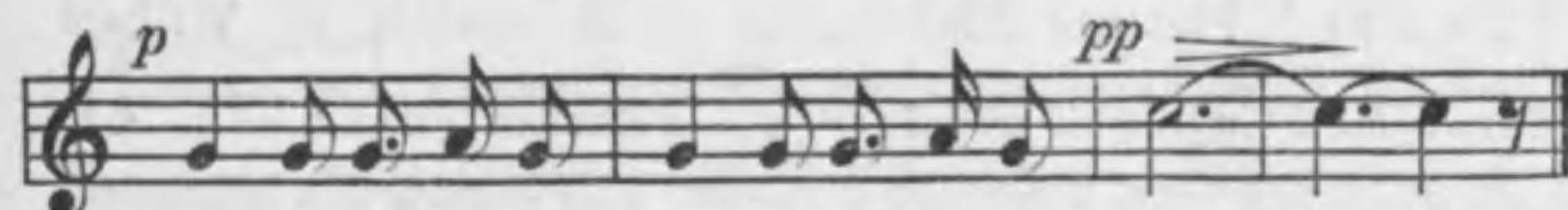
Low, low, - breathe and blow, Wind of the west - ern sea! -
Rest, rest on moth - er's breast, Fa - ther will come to thee soon; -



O - ver the roll - ing wa - ters go, Come from the dy - ing
Fa - ther will come to his babe in the nest, Sil - ver sails all



moon, - and blow. Blow him a - gain to me; -
out of the west, Un - der the sil - ver moon, -



While my lit - tle one, while my pret - ty one, sleeps. _____
Sleep, my lit - tle one, sleep, my pret - ty one, sleep. _____

LESSON 21

The Poor Man (貧しき人)

Page 91 went from house to house asking for help 助けを乞ひながら家から家へ行きました。asking for=begging.

I'd be happy if I had just a little gold 私にほんの僅かの黄金があれば私は幸福でせうに——實は無いから不幸なのです。

All (the coins) that fall to the ground shall turn to dust 地に落ちる(貨幣は)全部は塵に變つて了ひます。turn to=change into.

Page 92 Will that do?=Will that be enough?=Are you contented? それでよいですか。満足しましたか。do は「間に合ふ」「十分である」の意で自動詞です。

Page 93 When it went in それが入つて了つた時に。it は前行にある another handful を受けてゐます。

The poor man had nothing left but his old broken bag その貧しい人はその古びた破れ袋以外には何物も手に残してませんでした。nothing but=only.

He was just as poor as ever = He was none the less poor 以前の貧しさと一向變りがありませんでした。

LESSON 22

Florence Nightingale (フローランス・ナイチンゲイル)

Page 94 Florence Nightingale は Hampshire の William Edward Nightingale の娘で 1820 年に Florence で生まれました。そして地名を自己の名につけられたのです。1844 年彼女が 24 歳の時歐洲各地の病院を視察し 1851 年意を決して獨逸の Kaiserwerth で看護婦となりま

した。1854 年 Crimea 戦争に従軍して功績を挙げました。The Red Cross Society (赤十字社)の創設に與つて力のあつた人です。彼女の著書には Notes on Nursing (1858), Notes on Hospital (1859), Notes on Lying-in Institutions (1871), Life or Death in India (1873) 等があります。1910 年倫敦で永眠しました。Longfellow の美しい詩 *Santa Filomena* は彼女を主題としたものです。

She was born 彼女は生れました。英語では Passive Voice で書きます。即ち「彼女は生んで貰ひました」です。cp. I am pleased.

in the beautiful city of Florence フローランスといふ美しい町で。of は Apposition を表はす前置詞で which was called の意です。

was named Florence for that city (彼女の生れた)その町に對して(=町の名に因んで) Florence と名づけられました。for=after 因んで。

loved to play at nursing 看護ゴッコをして遊ぶのが好きでした。loved =liked very much.

Page 95 had broken its leg その足を挫いた(といふことを聞きました)。Principal Verb の heard に對して had broken と Past Perfect にしたのです。

and said that with care the little animal would soon get well そして注意をすればその小動物は間もなく全快するだらうと申しました。get well は全快することで、get better とすると容態が以前より快くなつたことでまだ get well の域にまで達しないのです。

let her bathe the dog's leg 彼女をして犬の足を(湯に)浴せしめました。

I feel much better 私は遙かに快くなつた様に思ひます。feel は「感じさせる、思はれる」の意です。

Page 96 Florence would run to them and care for them フローランスは彼等の所へ走つて行つて彼等を世話するのが常でした。would =used to で過去の習慣を表はします。care for=attend (children or

invalid).

and were never acted afraid of her そして決して彼女を恐れた行動をする様に仕向けられませんでした。この were は寧ろ省いた方が意味が明かです。即ち「彼女を恐れた様な行動をしませんでした」となります。

Florence was so fond of flowers that her father gave her a garden of her own フローランスは花を大そう好いておりましたので父は彼女に専有の花園を興へました。was so fond of=liked so much. of her own=belonging only to herself.

Page 97 (would) call it her sick flower それを自分の病める花といつも呼んでおりました。

fresh earth 新しい土。よく休んだ土。今迄に栽培に用ひられておなかつたよく休まつた土をいひます。

Page 98 the sick=sick people 病人たち。ある特殊の形容詞には定冠詞 the をつけたゞけで一般普通名詞の複数を表はすものがあります。例へば the poor=poor people ; the rich=rich people.

she studied to be a nurse 彼女は看護婦になる爲の勉強をしました。看護学看護法を修めました。

Page 99 that they gave large sums of money to build a hospital for her 彼女に病院を建てる爲の巨額の金高を興へた程。large sum of money 多くの金高。sums と複数になつてゐるのは別々の人の寄附といふ意味です。

who had no money to pay for doctors, nurses, and medicine 診断料や、看護婦を雇ふ金や、薬を買ふ金の無かつた所の。西洋では醫藥分業で醫師は診断だけをなし、薬は薬局で求めることになつてゐます。

So at last she had just what she had always said she would have そこで彼女は遂に豫て設けたいといつてゐた所のもの(即ち病院)を得ました。

did all she could to help it=did her best to help it それを助ける爲に出来るだけのことを盡しました。

LESSON 23

A Few Pages from Nell's Diary

(ネルの日記の所々)

Page 100 a true account of what she did every day 毎日彼女が爲したことについての眞の話。account は「記事、話」です。

had never kept a diary before 以前に日記をつけたことがなかつた。keep a diary 日記をつける。a diary は「日記帖」をいひますが、こゝでは「一日分の記事」です。

Page 101 just before retiring=just before going to bed 丁度就寝前に。

came to visit us 我々に會ひに來ました。visit は come and see ですがこゝでは單に see の意です。

Page 102 because we were going to Aunt Jessie's for tea 何となれば我々は Jessie 叔母さんの家へお茶を呼ばれに行くことになつてゐましたから。were going to は過去に於ける豫定を表はします。

called for us=sent for us 私達を迎へに來てくれました。

LESSON 24

Five O'clock Tea (五時のお茶)

Page 104 are waiting for Tom トムを待つてゐます。wait for は「待つ」で、wait upon 又は wait on は「待つ、給仕をする」です。waitor は「男給仕」、waitress は「女給」です。

get your hair cut の cut は Past Participle です。get.....+Past Participle は「.....して貰ふ」の意です。get の代り have をも用ひます。

Can't you see it? 見えませんか→分りませんか→見れば分るぢやありませんか。頭髮を見れば刈つて貰つたことがすぐ分るぢやないかといふ意です。こゝでは Can't に Stress をおき it を下げて讀みます。

Not very=No, we have not been waiting very long そう長くは待つてゐませんでした。

Page 105 tea, cocoa or coffee and milk? 茶ですか、ココアですかそれともミルク入りのコーヒーですか。

a pot of tea for two お茶を二人分とは自分もお茶にする爲に都合二人分なのです。

Page 106 May I help myself with a few lumps? 勝手に(砂糖の)塊を數個貰つてもよろしいですか。help+oneself+with or to+food は勝手に食べることです。

Page 107 you see I am sweet and you are bitter 私が sweet であなたが bitter であることがお分りでせう。sweet は自分が甘黨だから用ひたのですが、これには attractive な charming ないゝ意味があり、bitter は Alice が砂糖をあまり好まないから用ひたのでこれには harsh な virulent な意があつて、つまり Tom が Alice をからかつてゐるのです。

LESSON 25

After the Day's Work (その日の仕事を終へて)

Page 108 a newspaper (ある一種の)新聞。a は新聞紙一枚の意ではなく一種類の意です。發音に注意します。News は [nju:z] ですが newspaper となると s が清音になつて [nju:spɛɪpə] となります。

Page 109 has hard work to keep them looking neat=is very

busy in keeping their (=her children's) clothes look neat 子供等の着物をいつもキチンと見せるために大層忙しいです。

Near him on the table are his school books 彼に近く机の上には彼の學校本があります。school books=text books and note-books, etc.

The Three Bears 三つ熊物語。この話は昔ある山奥に三匹の熊(父、母及息子)が棲んで一軒の家で睦む暮してゐました。ある日散歩に出かけました。その留守中に近所の村から Golden-hair といふ名の娘が家出してこの三つ熊の家に来てスープを食べそして安樂椅子にぐつすり眠つてゐました。やがて熊が歸りまして Golden-hair を見つけました。彼女は吃驚して窓を飛び出して家に歸りました。その後彼女は決して家を脱け出ませんでした。

Page 110

EXERCISE

1. After supper Mr. Okada was reading a newspaper.
2. Mrs. Okada was mending a hole in Fumio's overcoat.
3. He was looking over his lessons in his room.
4. Miss Hana likes to draw a picture whenever she has time.

LESSON 26

The End of the Day (その日の終り)

Page 111 sleep は睡眠の状態を表はします。go to sleep は fall asleep で睡眠状態に至る動作を表はします。go to bed は retire for the night で床に就く動作を表はしてゐます。

Page 112 filled with=full of.....の一杯入つた所の。

a spring mattress バネを入れた敷物。このバネは螺旋状バネで、これが澤山入つて身體の重みを適當に支へます。

Page 113 with their windows open 彼等の(部屋の)窓を明けたま

ゝで。with.....open の形を注意します。He walks with his mouth open 口を開けたまゝ歩く。She can write well with her eyes shut 眼を閉じたまゝで巧く書くことが出来ます。

EXERCISE

1. in; in one 2. on 3. in 4. near; by; against
5. at the foot of; by; near 6. under.

(2) の The heads rest on the pillows は「頭は枕の上に休まります」の意です。rest はちつと休まつた形で静かに乗つてゐることです。

LESSON 27

Mother Duck and the Policeman

(母家鴨とお巡りさん)

Page 114 この課にある情景はよく London で見られるもので、彼地のお巡りさんのやさしみ深い所を語つてゐます。この課は少々文法的に難解な所もありますからそのつもりで教授します。

It was hard to tell what the ducklings were saying 仔家鴨が何を言つてゐましたかをお話するのはむづかしいことでありました。It は what 以下の Antecedent です。duckling の -ling は名詞につけて「小さい」といふ意を示す語尾です。第十四・五世紀の頃にこの用法が生まれました。cp. gosling 鶺鴒 (goose) の雛。

for they had not been long out of their eggs 何となれば彼等は卵から出て来てまだ間もないことでありましたから——それでまだ言葉を知らないのでは何をいつてゐたか分からないのです。

Perhaps it was "Walk! walk! walk!" 多分その言つてゐた言葉は「歩け! 歩け! 歩け!」といつてゐたのでせう。

You really could not tell unless you were a duck yourself あなたでも實際はあなた自身が家鴨でないなら説明することが出来ないでせう。この文は Subjunctive Past で「現在の事實の反對」を假定してゐます。could も were も Subjunctive の括り結びです。unless = if.....not.

still too small to say the word properly 未だあまり小さすぎてその語を適當に云ふ——即ち發音する——ことが出来ない。

and what she did makes me think..... そして彼女(母家鴨)が爲したことは私をして.....だと考へさせます。この Clause は Complex Sentence で分り易く分解しますと what は that which で which は did の Object であり makes の Subject 且つこの Clause の Principal Subject です。makes は Incomplete Transitive Verb で which の Predicate Verb であり me がその Object, think がその Complement であります。think の主體は me 即ち I であります。

to make them all face one way, and that was towards the park gate 全て(の仔家鴨)を一方に向かせるには、而もそれが公園の門の方に向かせるには(長い間暇がかゝりました)。

Page 115 **It seemed to be made up of one word which she said over and over again** それ(即ち lecture) は彼女が繰り返し繰り返し言つた所の一言で成り立つてゐるものと思へました。to be made up of = that it was made up of = to have consisted of.

or rather to waddle, after her—cloppity clop—cloppity clop といふよりは寧ろ母家鴨の後ろに、とぼとぼついてよたよたと歩み(始めました)。
the grass = the grassy ground 草地。
she went on = she waddled on よたよたと進んで行きました。

Page 117 **But what we shall do when we get there I do not know** = But I do not know what to do when we get to the gate = だが門の所に着いた時にはどうしてよいのかしら。

There are those great red and black monsters rushing by それ等の赤や黒に塗つた怪物が突進してゐるし……。those とは「日頃見て知つてゐるそれ等の」といふ意。read and black monsters は自動車を指してゐます。

You see=You understand お分りでせう。

the London street ロンドンの(あの往來繁き)街路。

with all the red motor buses.....=with so many red motor buses
..... all は意味を強めた語で本来の全部といふ意ではありません。.....with =where.

She said all this very loudly 彼女はこのことを全部大變大きな聲で言ひました。all this とは § 10 にある But how.....by! の事實を口で何とか言つたことを意味します。

all about it の it は道路を横断することの出来難い事實を意味します。

Page 118 He must have known how ducks talk お巡りさんは家鴨はどういふ風に物を言ふかを知つてゐたに違ひありません。

at a great rate=with great speed 大急ぎで。

Page 119 the great sheet of water 廣い水面。sheet=wide expanse of water.

EXERCISE

1. I can (or could) not tell what the foreigner was saying.
2. Dr. Yamakawa gave us a lecture yesterday in the lecture hall.
3. She was very tired, for she had walked about ten miles that day. (この文は原文は二文ですが英語としては Compound Sentence にする方がよろしい。for の代りに because を用ひると Complex Sentence になります。for を用ひても Complex Sentence と解する説もあります)。

4. Blue, black, and grey motor-cars rushed by us at a great rate (or with great speed).

LESSON 28

The Moon (お月様)

Page 120 この詩は極く平易ですから朗讀を十分に練習させます。

She is shining up there=The moon is shining up in the sky 月は英語では女性に擬人します。従つて太陽は男性、地球は女性、星は普通の場合には無性で受けます。

in the air=in the sky.

Last week 先週には。これは副詞句用法で前置詞をとりません。

shaped=was shaped の略。its shape was としてもよろしい。

(is) round as an O [ou] オウといふ字の様に丸い。an O は單に O だけでも差支へない所ですが韻律の上から an をつけたのです。O の發音が [ou] ですから an となります。

Page 121 How you shine on the door.....! お前は何と(明るく)扉を照することよ。shine 輝く。shine on.....(何々を)照す。

my nursely floor=the floor of my nursery room 我が育児室の床板。

And (you) show me their place そしてそれ等(玩具)の所在を教へて呉れます。

to look up / At.....を仰いで見る。

and maybe / That small twinkling star / Is your little baby そして恐らくはその小さなキラキラ輝いてゐる星はお前の赤ん坊なのでせう。maybe=perhaps で副詞です。may be と區別します。

Eliza Lee Follen は米國の女流詩人です。1787年に生れ1860年に逝きました。多く少年向きの詩を作りました。

APPENDIX

The Pied Piper of Hamelin

(ハメリンの班服を着た笛吹き)

PART I

Page 125 the old town of Hamelin was all upset ハメリンの昔町が全部大騒動をしました。the old town とは the present town に對していふのでありまして、ハメリンといふ古い町の意ですと an old town of Hamelin とします。

Page 126 grey old rats, as old as the hills 灰色をした小山の様に年とつた鼠。as old as the hills とは何時の昔に出来たか知れぬ様な小山位年とつたといふ意です。

They fought the dogs.....と fight (or fought) を他動詞にしてあるのは to contend with の意で自ら戦を挑むことです。

They said he should have got rid of the rats long ago 彼等は彼(市長)がとつくの昔に鼠を除いて了つてゐなければならなかつたと申しました。should は義務を表はします。即ち市長の義務として驅除方法を講ずることです。

another mayor who would be of some use (to get rid of the rats) (鼠を驅除する爲に)何かの彼に立つ所の他の市長。of use=useful.

Page 127 As they spoke, a knock came to the door and in walked a strange-looking man=When they were talking, a knock was heard at the door and then a strange-looking man walked into the hall 彼等が話してゐる時に入口でノックの音が聞えそして見慣れぬ風體の男が一人入つて来ました。

His skin was as fresh as a baby's 彼の皮膚は赤ん坊の皮膚の様に艶

々と若々しくありました。

Oh! is that all? オー、それで皆ですか。それ (a bag of gold) だけで満足してくれますか。

will rid us of these pests 我々からこれ等の厄介物を除いてくれる。of の用法に注意します。rid は make (person or place) free の意で即ち人又は場所を害物から救ふ意です。of の次に除かれる対象物が來ます。cp. He robbed me of my purse.

Page 128 At the first notes.....=As soon as the first notes were played 音曲が奏し始められるや忽ちにして。

that could hardly toddle, much less walk or talk 歩いたり又は話したりすることは愚か、ちよこちよこと歩くことさへ殆んど出来なかつた所の。much less 況んや、まして、尙更。toddle の次に Comma を入れます。

On, on they went, until they came to the river どんどんどんどん彼等は進んで遂に河にやつて來ました。傳説によればこの河は the Weser River だといふことです。until=and at last.

PART II

Page 129 and very good pay, too 而も非常にいゝ報酬(ぢやないですかい)。too は「而も」といふ文全體を強める意です。

have to pay for it それに對して正當な支拂をしなければならぬ。pay は善惡の兩意に用ひます。

Page 131 without a word=at once=immediately 一言も發せず。直ちに。

All the children of the town は傳説によれば合計 130 人あつたといふことです。

There was not a child left in the town, but a poor little lame boy..... 一人の貧しい跛の少年以外には一人の子供さへも町に残されませ

んでした。not の次に even が省略されてあるものと見て差支へありません。but は Preposition で except の意です。

Page 132 all the things とは Piper が全ての子供を連れて行ったこと、即ち跛の子供から見れば他の子供と一緒に連れて行かれることを指します。

He now saw that he had done wrong 彼は今や自分が悪事をなしたことを知りました。

He sent all over the world to find the Pied Piper 彼はその Pied Piper を発見する爲に使者を世界中に派遣しました。sent = sent messengers. cp. Send (some one) for the doctor. all over the world = throught the wor'd.

If we break our promises we are sure to be punished 我々が若し約束を破るならば我々は確かに罰を受けます。この文はこの作者のみならず我々一般を we といつてゐるのです。The Mayor が市民に告げた言葉ではありません。

BOOK FOUR

LESSON 1

At School (學校にて)

Page 1 Marion = Diminutive of Marie, Mary. Mary とは即ち Virgin Mary のことです。

gloves はよく發音を間違へますから注意が必要です。grove [grouv] とよく區別して教へます。

Page 2 on either side = on both sides.

fur = a piece of fur to be worn about the neck (N.E.D.) 毛皮の襟巻。毛皮の外套を a fur と云ふこともあります。

case は「容器、入れ物」で、box は單に「箱」の意です。

have a break at ten o'clock 十時に休み時間があります。この學校での授業時間割はザツト次の様なものでせう。8.30-9.15; 9.20-10.00; 10.20-11.10; 11.20-0.10; 1.05-2.00; 2.15-3.05; 3.10-4.00.

once when they arrive at two o'clock = once when it is two o'clock = once at two o'clock 二時になつた時に一回。

dresses to go home 歸宅の身仕度をします。

Page 3 Prudence は Latin 語の prudens = providence から轉じた語で、「慎重」といふ意があります。

home work = home task 宿題。

Page 4 obeys the orders 人の命令をよくききます。obey は Verb Transitive でその形容詞は obedient です。One should obey one's parents. She is obedient to her teachers.

LESSON 2

Frigga's Spinning-wheel (フリガの絲取り車)

Page 5 a city glittering with bright gold 磨いた金でヒカヒカ光つてゐる市(シ)なる (Asgard に)。これは Asgard と Apposition で Asgard の説明句です。city の次に which was が略されてゐます。

amongst = among = surrounded by. amongst は英人のよく用ひる語。

and that was the rainbow の that は先行の one passage を受けま
す。the rainbow と定冠詞にしてゐるのは常にその虹が出来てゐて消えな
かつたからです。

the best bridge ever made = the best bridge that was ever made
今迄に造られたうちで一番いゝ橋。最上級のものには Relative Pronoun
は that を用ひます。

Frigga's robes were as lovely as their wearer フリガの着物はそれ
を着てゐる人(即ちフリガ)が愛くるほしいが如くに美しく愛らしくありまし
た。

Page 6 and all that was being done in either place そして
そのどちらの場所に於てゞも造られるものをすべて。in either place = in
both places = either in the wide sky or in the whole world = both
in the wide sky and in the whole world.

above all things = in preference to everything else 就中。とりわけ。

Page 7 set with = studded with.....を鑲めた所の。

Page 8 the people on earth = the people in the world 地上
の人々。

the Belt of Orion 参宿星座の帯。これは Orion 星座の中央に見える

三つの並んだ星です。Hunter が Belt と
Sword とをもつてゐる形に譬へてあります。

この Sword の中央の星の周りは廣大な星雲
(Nebula) です。前行の the wonderful
spinning-wheel of stars は次々行にある
the frame of a spinning-wheel とこの
the Belt とを總稱したものでこれを The
Orion といひます。日本では冬季に午後八



九時頃東南の中天に大きく見えます。このうちで實際上一番大きな Betel-
geux といふ星は最近の観測によりますと太陽の二百何十萬倍の大きさだとい
ふことです。宇宙の大きさに至つてはそれこそ不思議深遠なものです。
The Belt of Orion は又 The Orion's Belt or belt ともいひます。

EXERCISE

1. ans. Frigga lived at Asgard, upon a hill far away amongst the clouds.
2. ans. She liked best to stay in her own palace and spin on her wheel.
3. ans. She spun golden thread.
4. ans. Her spinning-wheel was put in one of the palace windows at night.
5. ans. The people on earth saw the jewels and called them stars.

LESSON 3

The Month of May (五月)

Page 9 May は figurative には bloom, prime の意があります。

即ち一年で一番華やかな月だといふ意です。英國では我國の丁度四月位の氣候で百花の妍を競ふ月です。

is often spoken of=is often called. この of は省略することの出来るものであります。cp. He is the gentleman I spoke (or told) of yesterday. 因みに speak は「物云ふ」、say は「何々と云ふ」、talk は「談話する」で相當な區別があります。

hawthorn は棘のある灌木で白、赤又は桃色の花を開き小さな暗赤色の實 (dark red berry) を結びます。その實を haw [hɔ:] といひます。

Page 10 covered with its white, and sometimes red, blossoms その白い花で、時には(=或る木は)赤の花で掩はれてゐます。sometimes とあつても同一の木に白と赤の別な花が咲くわけではありません。勿論異つた木なのです。

plenty of=abundant で本來は量を表はす Prepositional Phrase がありますが、こゝでは great many の意です。

may be seen の強い形は can be seen です。

are full of life 生き生きしてゐます。life は「生氣」です。

Page 11 poultry は家禽(雞、七面鳥、ホロホロ鳥、鶯鳥、鶯)特に鶏を指す場合が多いです。poultry-farm 養鶏場。

poultry yard 又は poultry-yard は「放鶏所」です。

chicks は chickens といいひますが、chicks は特に孵化幼々のものをいひます。

white and yellow water-lilies, while..... 白い睡蓮や黄色の睡蓮(が見えます)、然るに.....。睡蓮は南米原産のもので葉の直径約一呎、花は桃色や水色のもあつて直径四吋位に達します。Page 10 の挿畫がそれです。邦産のものは遙かに小さく花は白色で水仙の様な芳香があります。

goddess は God の女性で之に類するものは actor—actress, waiter—waitress, mister—mistress, lion—lioness, tiger—tigress,

prince—princess, marquis—marchioness [mɑ:ʃənɪs], baron—baroness 等があります。

It is also like the name given to a very bright star それ(=May) は尙或る非常に明るい星に與へられた名の様なものです。例へば Venus (金星)、Mars (火星)、Phœbus (太陽の神 Apollo の別名)の様なものであります。

May Day=May day=**the first of May** は邦譯するより原名通り敬へておく方がよろしい。現今ではこの日を労働組合の記念日としてあります。

Page 12 crown her "Queen of May" 彼女に(花の)冠をかむらせて Queen of May (五月姫)とします。Queen of May は May Queen 又は May-queen ともいひます。

Page 13 Oak-Apple Day とは 1651 年に Charles 二世が戦争に敗れ樹樹に身を匿して議會黨の追跡を逃れたのに因んで 1660 年王政復古の記念として 5 月 29 日に浸食子(フシ)又は榊の葉を身に飾つてからこの日を記念日と定めたのです。Oak-Apple [ɔ:kæpl] とは球状の浸食子で特に英國では「つくばれ榊」に生じるものです。

It is so called because.....でありますからさう呼ばれるのです。It は the twenty-ninth of May を受けてゐます。

Page 14 Laughing May 笑つて暮す五月。Laughing は Gerund です。

March winds, April showers/Bring forth May flowers=A windy March and a rainy April make a beautiful May 三月の風と四月の雨は五月の花を育てる。即ち三月の風が吹き止んで四月の暖かい雨が降ると五月には美しい花が咲き出す意味です。日本流に云へば二月によく雪でも降つていゝ寒(カン)があり三月に暖かな雨が降ると四月に美しく花が咲き出すといふ位の意味合ひです。showers=rains,

EXERCISE

1. Girls, why is May spoken of (or called) the best month of the year?
2. May is the month of flowers. There come out many wild flowers in the fields.
3. (a) The trees in the orchards are almost all in full bloom (or in blossom).
(b) Nearly all the trees in the orchards are covered with blossoms.
4. (a) Bees buzz, flitting from blossom to blossom.
(b) Bees hum as they fly from flower to flower.

LESSON 4

Penelope (ピネロピ)

Page 15 この話は Greek myth (ギリシア神話) を retold したものです。Ithaca (ギリシア西海岸にある一小島) の王様 Laertes [léiəti:z] の王子 Ulysses の妻はこの Penelope でありました。Penelope の従妹に世にも稀なる美人 Helen といふのがありまして彼女は Menelaüs [mèni-lai:z] の妻でありましたが Troy の皇子 Paris が彼女を奪つて本國に逃げました。これが抑、の原因で有名な The Trojan War を惹起したのです。本課はこの戦争を背景として話されてゐます。今 Tennyson の Dream of Fair Woman といふ詩を紹介しますと

The Trojan War

.....At length I saw a lady within call,
Stiller than chisell'd marble, standing there;

A daughter of the gods, divinely tall,
And most divinely fair.

Her loveliness with shame and with surprise
Froze my swift speech: she turning on my face
The star-like sorrows of immortal eyes,
Spoke slowly in her place.

"I had great beauty: ask thou not my name:
No one can be more wise than destiny.
Many drew swords and died. Where'er I came
I brought calamity."

[within call 近くに。Stiller than chisell'd marble 大理石の彫塑よりもまだじつとしてすつきりとした。divinely tall 神々しくも氣高き。most divinely fair いとも神々しく美しき。Her loveliness.....my swift speech 彼女の愛狂はしきは、恥かしさと驚きの極みなれど、我が口を封じぬ。The star-like sorrows of immortal eyes 星の如く澄みきりし不死の目なざし我が心には傷々しくも。Spoke slowly in her place 彼女は徐ろに云ひ出しぬ。ask thou not my name 我が名を問ふ勿れ。No one can be more wise than destiny 運命の神より賢なる者あらじ。I brought calamity 我を廻りて血を流しぬ]。

celebrated=famous=noted 著名な。

Page 16 must needs go 必ず行かなければならない。needs は of necessity=necessarily=indispensably で go にかゝる副詞です。

This was indeed hard このことは實際辛いことでありました。
who must be left all alone 只獨りぼつちで残されなければならなかつ

た所の。all は alone を強める語です。

look forward to = expect 待ち望む。

would have nothing to do with them = would never mind them
彼等には一向氣をかけなかつた。知らぬ振をしてゐました。

Page 18 after he had been at the wars for twenty years 彼 (=Ulysses) が二十年間従軍した後に。

came back to find = came back and found 歸つて見たら.....である
ことを知りました。cp. I woke to find it raining this morning.

Proverbs and Maxims A stitch in time saves nine 今日の一針
明日の十針 = 手後れになれば勞多し。

Birds of a feather flock together 友は類をもつて集る。a feather
= the same kind of feather = one kind of feather.

Fine feathers make fine birds 綺麗な羽根をつけてゐれば立派な鳥に
見える。人間も衣裳次第でつまり人間も見かけだけは立派に見えるものだ
といふことを諷刺してゐます。

Hunger is the best sauce 空腹は何よりの御馳走。hunger は「飢ゑ」
ですがここでは「空腹」とする方がよろしい。その形容詞は hungry です。
sauce は味をつけるものですから、つまり空腹であればどんなものでもおい
しく食べられるといふ意です。

Little strokes fell great oaks 「点滴石を穿つ」に當ります。stroke(s)
は動詞 strike より轉じた名詞です。fell は規則的他動詞の Root で自動
詞 fall の過去形 (fell) と區別しておきます。oak は喬木中でも最も力強
きもの、風にも倒され難いものです。それをも少しづつ打つてなれば倒すこ
とが出来るといふ意で耐忍を教へたものです。

When the cat's away, the mice will play 鬼の居ぬ間に洗濯。play
は自動詞用法で芝居を演ずる、活躍するといふ意です。

Spare the rod, spoil the child = If you spare the rod, you will

spoil your child 可愛い子は鞭で育てよ——可愛い子には旅をさせ。the
rod = the cane or birch for use in flogging. 因みに a spoiled child
とは「甘へ子」といふ意。

Three removes are as bad as a fire 三度移轉すると一度火事に會つ
たやうなものだ。removes = removals. 日本でも「三人の娘を嫁づけると
身代を無くする」とまでいつてゐるのと同じ譬へです。

Dry bread at home is better than roast meat abroad これは A
bird in hand is worth two in the bush と同じ意味です。dry bread
は「バタのつけてないパン」、abroad は out of doors で at home に對
して「他家にある」といふ意です。

The more women look in their glasses, the less they look to
their houses 婦人が鏡に向へば向ふ程反つて彼等は家政を見ぬものだ。The
more....., the less..... すればする程.....しなくなる。The more
の the は Preposition で「.....につれて、.....に従つて」の意、the less
の the は Adverb で「それだけ」の意です。look to = take care of =
be careful about 氣をつける。look to houses は look to house-
keeping 「家政に意を用ひる」の意です。

LESSON 5

A Lady's Dress (婦人服)

Page 19 An Evening-dress 夜會服(禮服)。圖中の婦人は盛裝して
ゐる所です。右手に持つてゐるのは駝鳥の羽毛で作つた扇です。Dressing-
jacket は化粧の時着る短い上衣です。

Page 20 All sorts of = all kinds of. sorts は classes を表は
してゐます。

is trimmed with = is ornamented with.....で(縁が)飾られてあります。
a short train 禮服の短い裾。

puff sleeves 十九頁の挿畫の(2)の様な袖。日本の「振袖」に當ります。

a square neck とは首の所が四角に空けてあることです。

has a glove on = **has gloves on** 手袋をはめてあります。a glove は片手について云つたのです。has on は着てゐる状態で、put on は着る動作を云ひます。

does her hair = **does up her hair** = **put up her hair** 髪を結ぶ。

Page 21 **or nothing at all** さもなくば全然何物もついてゐない所の(小さな軽い jacket か又は cape を着て散歩に出かけます)。

Page 22 **a good many (elderly and married ladies)** = **considerably many** 可成り澤山の。この意味の a good は普通その後形容詞が來ます。

for instance = **for example** 例へば。一例を挙げますと。

are tied in a bow 弓形に結ばれてゐます——懸けられてゐます。

Page 24 **It is rather difficult** = **It is somewhat difficult** でこの場合には rather の意味は「少々」(なかなかの意)と譯し「寧ろ」としない方がいゝのです。

too warm for that それを着れば暖かすぎる。

You had better take..... = **You would rather take.....** を着た方がいゝでせう。had better の次には直ちに Root をつけます。文法上これは Infinitive の to を略したものです。

and it is so convenient to have one's pocket handkerchief in one's muff そして誰でも手巾を手暖めの中に入れておくのは大層便利がよう御座います。

Will you please help me with my coat? = **Will you please help me (to) put on (or (to) take off) my coat?** どうか私が上衣を着るのを手傳つて下さいませんか。help の次に来る Infinitive の to を省略するのは米國式です。

EXERCISE

1. That handsomely dressed gentleman has gloves on and a walking-stick in his hand.
2. When I do my hair, I use a comb and a hair-pin, and not a brush.
3. Miss Tanaka generally puts on a light dress and a straw hat when she goes out for a walk in summer.
4. I saw her walking along the seashore the other day.
5. (a) Miss, as the road is muddy today, you had better put on your galoshes.
(b) Miss, you had better put on your galoshes, as it is wet (or muddy) under foot today.

LESSON 6

In London Streets (ロンドンの街々)—I

Page 26 **St. Paul's** = **St. Paul's Cathedral** セントポール御堂。The London Bridge の西北約半哩の所にあつて Ludgate Hill [lúdgít hil] の頂きにあります。1675年6月21日に起工し、Sir Christopher Wren 氏監督の下に1710年に完成しました。東西515呎、南北250呎、尖塔の高さは地上から365呎あります。而し附近は何分にも The heart of the heart of London といはれてゐる程の所で St. Paul's を完全に眺望し得ないのが遺憾です。されば “The finest building in London with the worst approach” とさへいはれてゐます。而し最も印象的な over-roof view は The Tower Bridge の南端邊りから見たものです。Page 26 の圖は St. Paul's の西面の景で The Dome の外に二つの

Bell-tower が見えます。St. Paul's の向つて左側後方に繁華な Cheapside 街がありその突當りに The Bank (=the Bank of England) があります。

heaps of places = many places 澤山な場所。

as she says 彼女が申しますには。

Page 27 the City = the City of London でロンドンの中心地を云ひます。面積 675 エイカ(一平方哩)で夜中此處で眠る者は 2 萬許り、晝間は 100 萬以上の人があります。この the City を取り巻く部分を Inner London といつて、これは County of London を指すもので、面積 117 平方哩人口 450 萬餘あります。更に近接町村を併合した Greater London は面積實に 693 平方哩(26 哩四方)、人口 750 萬に及びます。

living so near the City....., the City buildings are quite familiar to her: the Bank andthe City に極く近く住んでおますので彼女には the Bank.....などの the City buildings は全く親しみ深いものであります。living so near = as she lives so near.

the Bank = the Bank of England イングランド銀行。1694 年の創業で Cheapside 街の東の突當りにあつて St. Paul's から一哩弱です。一階建てで 4 エーカの建坪があり、外側には窓がなく内庭から採光してあります。許可證を得れば紙幣の印刷、金銀の重量を計る所が見られます。

the Mansion House ロンドン市長 (the Lord Mayor) の官宅。the Bank の向ふ側にあり 1739 年の建築で、宴会用の大廣間、繪畫陳列場もあつて、各種慈善事業の資金はこゝで集められます。ロンドンの市長は Lord の稱號を與へられ樞密院に列席が出来ます。

the Law Courts = Royal Courts of Justice は St. Paul's の西約 10 丁位 Fleet Street の西端北側にあります。

the Strand は西南端は Trafalgar Square の南側の Charing Cross (ネルソンの記念塔の立つてゐる所) から東北端 Law Courts の側にある

Temple Bar に至る迄の一哩弱の大きな街で大旅館、劇場、大商店が軒を並べて居り歐洲大都市の何れの街にも遜色がありません。Elizabeth 朝時代には此處には貴族の邸宅があつて、その庭園は Thames 河畔に及んでおましたのでこの名がついておます。strand は shore の意です。Temple Bar とは昔のロンドン城市の關門の一つで、これは 1670 年に建てられ英國王がロンドンに行幸される時は後で之を閉ぢることになつておたものですが 1878 年に最後に取壊されました。その取壊後は the "Griffin" (前半身は鷲で後半身は獅子の怪物像) がその代りに立つておて昔の面影を傳へておます。こゝは丁度 West End と the City との境目になつておます。

Fleet Street は The Strand の續きで Temple Bar から Ludgate Circus (こゝから Ludgate Hill になつて St. Paul's に至るのです) までの約五六町の街の名でロンドンの大新聞社及大雜誌社は殆んどこゝに集つておます。こゝは昔 The Fleet River が Holborn といふ所から流れて来て Blackfriars で The Thames に合しておたのですが今は下水道になつておます。

As her free hours are not always at the same time of day 彼女は毎日同じ時刻に暇があるといふ譯ではありませんから。

under its different aspects いろいろの状況の下に於ける(ロンドンを見ておます)。

Page 28 the City bag and umbrella 事務用の鞆と洋傘。City bag = business man's bag. City は umbrella にはかかりません。umbrella を持つて行くのは、ロンドンに天候がよくなく曇天、雨天がちだからです。

the dense crowds = the dense crowds of people 黒山の様な群衆。

the 'bus は Pages 28-29 の挿畫に見える様な四輪の二階式の自動車です。

they are so different 彼等は(お互に)全く無關心です。各自各自が各自

のすることをやつて行くだけです。

What Alice notices about the City crowd is quietness アリスが the City の群衆について観察したことは静肅といふことであります。

Page 29 Piccadilly Circus は Trafalgar Square のすぐ北にある圓形の辻街です。ロンドンの股り場で各種の興行物のある所です。

Page 30 the citymen ロンドンの the City に寝起きする人々。この前には they are not が略されてゐます。この頁の挿畫は Trafalgar Square の Nelson の記念塔です。

LESSON 7

In London Streets (ロンドンの街々)—II

Page 31 pretty well=fairly well 可成りよく。

First and foremost=First of all 先づ第一に。

hiding as it were=as if he were hiding 宛かも(その暗い街の角に)隠れてゐるかの様に。

watching what's going on 次々に起つてゆくことをちつと見ながら。

Page 32 have also to keep in order.....をも亦取締らねばなりません。to keep in order 取締る。整頓する。

Cheapside. Page 32 の挿畫は丁度 The Bank の邊りから見た景で、左方に近く前面だけ見えるのが the Mansion House で、すつと向ふ迄續いてゐる市街が Cheapside です。屋根の上には St. Paul's の Dome と Bell Tower とが見えます。Cheapside では立派な靴屋や帽子店等があります。

Holborn Viaduct は Fleet Street の一つ北の東西に走つてゐる街で自轉車商店の多い街です。Viaduct とはこの街の東端を南北に高架線が通つてゐますので Viaduct といふのです。

you see them selling.....の them は漠然と Cheapside や Holborn や Ludgate Hill 邊の商人を指します。

One....., another.....或る者は.....又他の者は.....。

penny toy=toy which can be bought for a penny 一片で買へる様な安い玩具。

and ever so many of them, boot-laces and collar studs そして非常に多數の商人が靴紐やカラの飾釦を賣つてゐます。

Page 33 earn a living=earn a livelihood 生計の資源(即ち金錢)を儲ける。

poverty in London=poor people in London ロンドンに於ける貧乏(即ち貧民)。

Page 34 and most probably, because of women そしてまづ恐らく大抵は婦人の爲に(貧困に陥つてゐます)。

no taste whatever=no taste of any kind 如何なる種類の趣味と雖もそれをもつてゐません。没趣味であります。

and their degradation is written all over them=and their degraded constitution is clearly shown by their appearance そして彼等の墮落してゐることは彼等の様子全體に現はれてゐます。is written= is clearly shown. all over them=on all their faces and dresses.

or it may be anything else 或はそれ(帽子)が何か他の異つたものであるかもしれませんが。

as it is out of shape and colour and wear from the many showers it has received その衣裝が幾多の雨に會つた爲に形がくづれ、色が褪せて、着古されてゐるから(衣裝とは見えぬ程なので)。wear は名詞です。it=her dress.

Perhaps if girls were taught....., it might helpの were..... might は Subjunctive で現在の事實の反對を假定してゐます。

Page 35 later on = in later times 後々。

were it only to cut off..... = if it were only to cut off..... 裁ち切るだけでも(彼等を助けることになります)。

or (if it were) to sew on their children's clothes ever-missing buttons 又は金持ちの小供達の着物に常によく無くなる釦を縫ひつけるだけでも(彼等を助けることになります)。 sew on a button ボタンを縫ひつける。

EXERCISE

1. A policeman was standing in the middle of a large thoroughfare, regulating the traffic. 因みに交通巡査は a traffic policeman 又は場合によつては a pointsman といひます。
2. She earns a living by selling flowers in the streets every day.
3. Many of the women in the lower classes of London are lazy and noisy.
4. If poor girls were taught more needlework, it might help them later on.

LESSON 8

The Last Bar (最後の門)

Page 36 who lived in the days of King James the First of Scotland スコットランド王ジェイムズ一世の御代に生きてゐた所の。 the days = the reign. King James I. of Scotland は 1394 年に生れ、1424 年に王位に即き、1437 年 2 月 20 日に Perth 市に於て弑逆の陰謀成功して遂に捕へられて虐殺されました。本課はその時のことを述べた事実であります。

who tried to be just to everybody 誰にでも公平である様に努めた所の。 just は Adjective です。

He helped the poor against the rich 彼は富者に對抗して貧者を助けました。 the poor = poor people. the rich = rich people.

took the side of = stood by = helped 味方をしました。

for the most part 大抵は。

you may be sure = you may know certainly 確かに。

his Queen and her ladies 彼の后と后の侍女達。后とは Earl of Somerset の娘で Richard II. の孫に當る Jane Beaufort といふ人で 1424 年 2 月 12 日に James I. と結婚し 1445 年に死にました。彼女は天才的女流詩人でありました。

Page 37 one of his castles とは 1 ち Perth にある離宮です。彼の宮城は Edinburgh にあつたのです。

They had been enjoying themselves in song and dance 彼等は(逆徒に捕へられる迄)歌を歌つたりダンスをして楽しんでゐました。

was in high good humour 上機嫌でありました。high とは気分が沈滞しないで昂つてゐたこと。humour は「機嫌」で good とありますからよい機嫌であつたのです。米國では [ju:mə] と發音します。

so that there should be nothing to keep the King's enemies out 王の敵を防ぐものは何物もない様に。keep.....out 防ぐ。入らしめない。

Page 38 who called out for the King 王を捜し求めて呼ばはつてゐた所の。

in the place of iron bar 鐵の門を入れる場所に。因に in place of は「.....の代りに」です。

in a moment = instantly = at once 忽ちに。即刻。

Page 39 fainted from.....で氣を失つて了ひました。

flew open = flung open すーと開きました。

before the Queen's eyes 后の目の前で。before=in the presence of.
Page 40 her action was worthy of one who bore the name of Douglas 彼女の行動はダグラスといふ名をもつてゐる者には恥かしくなかつた(といふことを知つてゐました)。Douglas 家の祖先は不明ですが相當に古いものであり 15 世紀には Murray 家と同じ流れであると信じられてゐます。Murray 家も相當の名家であります。それで Catherine は上の如き行爲が名家の者に恥づることなきを知つてゐたのであります。

EXERCISE

1. The story I am about (or going) to tell you, is that of a poor girl.
2. (a) The other day she saved the lives of many people by her brave deed.
 (b) Her brave deed saved many human lives the other day.
3. The King was (a) very good (king), and he always helped the poor and took the side of (or stood by) the weak.
4. The Queen and her ladies enjoyed themselves in song and dance till late that night.
5. All at once she looked out of the window. The bright moon was reflected in the pond.

LESSON 9

Do Your Best (汝の最善を盡せよ)

Page 41 your very best 汝の眞の最善(を)。

No matter what you try to do=Whatever you may try to do
 何事を爲さんと努めるにしても。

There is no better rule (than doing your very best) 更によき法則はありません。

if you read の if 及び次二行にある if は何れも「.....にしても」の意。

learn to spell=learn spelling 文字の綴りを稽古する。

Be sure to do it well 迷はずにそれを一心に爲さい。well は爲された結果がよく出来てゐることです。譯す時には hard の意味で譯します。

Your best will better grow=Your best will grow better 汝の最善は更に向上させよう。

Page 42 You'll let the better go 汝は更に向上すべきものを取り逃がすでせう。You'll=You will. let go=fail to catch.

What if your lessons should be hard! たとひ汝の學課がむづかしくとも何であらう——何ともないではありませんか。should は「萬一」を表はす。

Do not give up to sorrow=Do not give yourself up to sorrow 諦めて悲觀しなさんな。give up=surrender.

LESSON 10

The Cities of the United States

(合衆國の都市)

Page 46 Madison Square 左の高い建物が The Metropolitan Life Insurance Building で右方が The Flat Iron Insurance Building, 中央の大通りは Broadway 第二十三街で右方に僅かに見えるのが Fifth Avenue です。此處は 1811 年に練兵場に當てられましたが只今ではそのうち約 7 エイカだけ残つてゐます。左から右へ走つてゐる街は Madison Avenue で丁度その第二十六街です。最近約 30 年間此の邊は旅館と劇場の中心になつてゐます。New York では南北の大通りを Avenue といひ東西の大通りを Street といひます。

on or near the Atlantic Ocean 大西洋沿岸又は沿岸近くに。on は邊りに接してゐることです。cp. London is on the Thames. Atlantic といふ語の起原は Africa の Libya の Atlas 山脈に起源し、次いで Africa 西岸の海の名となり後に現在の大西洋に與へられた名稱です。

the Great Lakes アメリカの五大湖。Superior, Michigan, Huron, Erie, Ontario の五大湖をいひます。何れも淡水湖です。

Page 47 **New York city** ニウ・ヨーク市。Greater New York は 326 平方哩あつて人口は 570 萬餘あります。この市の名は 1664 年に英國が和蘭より奪取し the duke of York の名に因んで命名したもので今では Manhattan と New York city proper とが最も中心をなしてゐます。位置は丁度 The Hudson River の口にあつて Upper Bay (上灣) と Lower Bay (下灣) とを控へ London と相俟つて世界商業の二大中心をなしてゐます。

The Hudson River は長さ 350 哩、河口の邊りは約幅一哩。英國の航海家 Henry Hudson (—1611) が発見したのでその名がつけられてゐます。

Manhattan Skyline マンハツタンの空の輪廓。Manhattan Island は南北 13½ 哩、幅 2½ 哩あります。この邊の建物はその高きを以つて有名なため Sky-scrapers (摩天樓) と云はれてゐます。平均 300 feet 位の高さがあり Page 46 の The Metropolitan Life Insurance Building (52 階、700 呎)、更に The Municipal Building (圖中向つて橋の右側にある白い建物。34 階、580 呎、地下 260 呎、總工費 1,300 萬弗)、The Woolworth Building (橋の左側、55 階、750 呎、地下 130 呎、總工費 1,500 萬弗) など素晴らしいものが建並んでゐます。この挿畫は The Brooklyn Bridge の上から見たもので最左端沖合遙かに The Statue of Liberty (第一卷 37 課参照) が見えます。この塔は 1884 年にフランス國民から合衆國民に獨立記念の百年祭に贈られたもので 1886 年に竣工しました。右手に beacon (海拔 306 呎) を捧げてゐます。The Brooklyn Bridge は 1870 年

に起工し 1883 年に完成。總延長 6,537 呎、幅 85 呎、毎日 50 萬の人が通ります。尙この市にはこの様な大きな橋が數個あります。The Manhattan Bridge は總延長 8,655 呎、幅 120 呎、總工費 1,340 萬弗であります。

口繪はこの橋の少し下流から見た夜景で右より The Municipal Building, The Woolworth Building, The Equitable Building, The Singer Building, Bankers' Trust 等が見えます。

Page 48 **Chicago** は合衆國第二の大都會、且つ第二の重要な都會です。Lake Michigan の南端に近くその西岸に臨んでゐます。New York と同じく市區整然としてゐます。人口 270 萬餘。Michigan 湖の水を引上げて上水道となし、汚水は 28 哩の疏水によつて完全に The Mississippi の支流に排除してゐます。その他本文にあります様に工業が殷盛な極め特に livestock (家畜業) が盛んであります。Lake Michigan は五大湖中第二の大きさを南北 320 哩、東西 65 哩、面積 22,000 平方哩、水面は海拔 581 呎、最深部は 860 呎あります。この湖は沿岸に良港がありません。

Page 49 の圖の中の建物は旅館や Apartment house であります。

Page 49 **Philadelphia** は New York の西南約 80 哩、Delaware 河の中流に位してゐます。人口 180 萬餘。Benjamin Franklin が少年時代に訪れて來た町で今もその話が語り傳へられてゐます。

where it runs out into the ocean そこでその河が大洋に流れ込みます。where は前行の Philadelphia を受けてゐます。この市は Delaware Bay から約 40 哩の上流にありますが實際上満潮の時にはこの邊まで海水がやつて來ますからこの邊で海らしくなるので、かういつたのでせう。

Boston は New York の西北約 190 哩、Massachusetts 州の首都で、合衆國第五位の大都會です。人口約 80 萬。

Page 50 **San Francisco** は南北 50 哩、東西 5 乃至 12 哩の良灣に臨み有名な Golden Gate (長さ 5 哩、幅 1 哩) といふ海峡によつて太平洋に通ずる良港を控へてゐます。1906 年 4 月 21 日に有名な大震災に

罹り全市全滅の厄に遭ひましたが復興して今では立派な都市になつてゐます。人口約 60 萬。東方約 150 哩の處に Yosemite National Park があります。Page 50 の圖は桑港灣を越へて對岸の Oakland 市の方を見た景です。

Milwaukee は Lake Michigan の西岸にあります。

Buffalo は Lake Erie の東北端、正に The Niagara River の入り口にある都會です。人口約 50 萬。The Niagara R. の中流に Niagara Falls が懸つてゐます。Goat Island によつて東は American Falls (or American Rapids), 西は Horse Shoe Falls (or Canadian Rapids) に分れてゐます。前者は幅 1,080 呎、高さ 167 呎、後者は幅 3,100 呎、高さ 158 呎あります。アフリカの Victoria Falls に亞ぐ大瀑で附近の町から遊覽汽艇が出てその瀧壺の近くまで見物に行きます。

Cleveland は Lake Erie の南岸にあります。

Page 51 Great numbers of = Very many 非常に澤山の。

flour は flower と語源を同じくします。

Pittsburgh は New York の西方 320 哩の山間にあります。人口約 60 萬。

the Ohio River (the Mississippi R. の支流で 963 哩あります)。

Washington は New York の西南 210 哩。the "District of Columbia" (コロンビア地方) にあります。the "District of Columbia" とはこの邊り 100 平方哩の稱です。Washington は合衆國の首府で、人口約 45 萬。政廳 (the Capitol) の定礎石は 1793 年に据ゑられ、1800 年政府がこゝに移りました。the Capitol の正面から Pennsylvania Avenue を突當りますと(その間約一哩半) the White House に來ます。こゝは大統領の官邸であります。その定礎石は George Washington によつて据ゑられました。建物は freestone (砂石) で建てられ白く塗つてありまして、大理石で建てたのではありません。一般に The White House といへば合衆國の政府を代表する語になつてゐます。

LESSON 11

The Month of August (八月)

Page 52 grain も corn も同じ意(小麦)で用ひてありますが、英國では grain は「小麦」、corn は一般に「穀物」、米國では grain を一般に「穀物」、corn を「玉蜀黍」に用ひます。

These are placed upright in rows これ等は直立させて列を作られます。(次頁の繪参照)。

Page 54 sorts it それ(小麦)を區分けします。

"Harvest Home" 收納。收穫祭。

the fruits of their toil とは字義通りに「彼等の勞苦をかけて得た收穫物」の意と「彼等の勞苦の結實(ミ) (即ち結果又は勞苦に對する報酬)」の兩義があります。

Page 55 now to return = ready to return いつでも(飛んで)歸れる様に。

swallows and swifts 前者は我國一般に見受ける燕で、後者は褐色の雨燕(華嚴の瀧の邊りに多く飛んでゐるのはこの種類です)をいひます。

in large flocks 大群をなして。

hither and thither = here and there あちらこちら。副詞句です。

LESSON 12

The Cicada and the Lyre (蟬と七絃琴)

Page 57 were trying for a prize 賞を得ようと努めてゐました。

Not only the song but the playing on the lyre was to be a part of the trial of skill 歌(の歌ひ振り)のみならず七絃琴の弾き方も技術の試験(即ち競争)の一部である筈でありました。

Page 58 as if it were whole again 宛かもその切れた絃が完全である(即ち切れてゐない)かの如くに。

Page 59 drawn from its cage or from the woods by its love of music それ(蟬)が音楽を愛するが爲にその籠から来たのか又は森から来たのか分かりませんが。drawn.....by its love of music 音楽の愛に引かされて。cp. The love of country 愛國。國を愛すること。

when it felt the touch on the string 絃に歌手の手が觸れたと蟬が感じた時には。

Far from it=It was far from it=The fact was quite different from it 事實は全くさうではありませんでした。

LESSON 13

The Sick Girl (病める少女)

Page 61 Her throat is sore=She has a sore throat 彼女は咽喉が痛い。sore は炎症を起し、たゞれて痛いのを云ひます。

telephoning for a doctor=asking a doctor to come by telephone 醫者に來て下さいと電話をかけてゐます。

4836 電話の番號は four-eight-three-six といひます。因に 5003 は five-o [ou]-o-three 又は five-nought-nought-three です。

Is this Doctor Daly? 電話では普通には Are you.....? といはずして Is this.....? といひます。this とは先方の聲を受けてゐます。

This is Mr. Smith=I am Mr. Smith で矢張り This は聲の持主である自分を指してゐます。

to see her=to examine her 彼女を診察する。因みに患者の方からいふと to consult a doctor; to take medical advice or treatment; to be examined by Dr.~であります。

Yes, she has fever 及 Yes, we gave her..... 及 Thank you の前には醫者の言葉が入つてゐるので、これ等の連絡のない返事は醫者の問ひに對する Mr. Smith の答だと注意して頂きます。

she is no better は not better よりは意味が強いです。少しもよくありません。no=not any.

Page 62 May I see her?=May I examine her? 診させて頂きますか。「診させて貰へますか」と譯すのは感心しません。

104 degrees 華氏 104 度で、攝氏では丁度 40 度です。

Department of Health 健康相談所。

a drug store 藥屋。因みに藥劑師を a chemist; an apothecary; a pharmacist. 藥屋を a druggist ともいつて區別します。

every two hours 三時間置きに。因みに二時間置きを every other hour, 一時間置きを every hour といひます。 「に。

Page 64 on the front of the house 家の正面に。家の入口の所 sent in 持つて來ました。届けて來ました。

Page 67 Proverbs and Maxims

A sound mind (dwells) in a sound body 健全なる精神は健全なる身體に宿る。

Enough is as good as a feast 十分に頂戴すれば三つの膳も同然。Enough は名詞です。

A penny saved is a penny gained 一錢貯へれば一錢の儲け。gained =earned.

Do (to others) as you would be done by (them) 己れの欲する所之を人に施せ。cp. "Whatsoever ye would that men should do to you, do ye even so to them" (Matthew 7, 12).

Early to bed and early to rise, makes a man healthy, wealthy, and wise 早寝早起きは人を健康に、金持ちに、且つ賢くします。この

makes は Incomplete Transitive Verb で healthy 以下はその Objective Complement です。

LESSON 14

Insect Musician (昆虫音楽家)

Page 68 Nightingale は日本の鶯と少し異つて少し大きく赤みが、
つた褐色の小さな候鳥で多く夜間に美しい大きな聲で啼きます。

the birds' evening concert とは別に多くの鳥が殊更に集つて啼くので
はなく夕暮れに一しきり囀る告げる聲が宛も音楽會でもやつてゐるかの様な
のを響へたのです。

Page 69 Many a night=Many nights の強い言ひ方。 cp.
Many boys have come. Many a boy has come.

I have lain awake=I have sat up 寝ないで起きてゐました。

Page 70 but then, of course, all else was still 而しそれが啼
く時には、勿論、他のものは皆静かであります。

That could not be そんな筈(即ち鳥が鳥の様な啼き方をすること)はあ
り得ないでせう。

and we might say.....といへば云ひ得るかも知れません。

Page 72 so as to draw=so that he may draw 引く爲に。引
く様に。

Page 73 lead pencil 鉛筆。 lead [led] 鉛。

in much the same way 略同じ様な工合に。

the music which used to keep me awake 私をよく寝さすに(聞か
せて)おいた所の音楽。

Page 74 stop fighting 争ひを止める。 cp. It stopped raining.
set in each wing 各々の翅に装置せられて。

the head of a drum=a drum-head 太鼓の皮。 a drum は「鼓膜」
といふ意もあります。

grave and proper 眞面目に禮儀正しく。

LESSON 15

The Doctor's Visit (來診)

Page 75 has returned to visit 再び診察に來ました。

Page 76 You will be all right=You will be well=You will
get well あなたは全快なさるでせう。

Page 77 need not stay away from home 外泊するには及びませ
ん。

Page 78 right away=right now=at once 直ちに[米國]。

Page 81 Be a good girl おとなしくしなさいよ。

when the doctors let us お醫者さんが(お前に面會することを)許して
くれる様になつたら。

EXERCISE

1. Miss Take seems a little better this morning than she was last night.
2. If you take this medicine, you will soon be all right. You must keep in bed today.
3. My throat is not so sore as it was yesterday, but I have a little (or slight) fever.
4. I telephoned (to) the doctor, and he came to see me at once in a motor-car.

LESSON 16

A Gentleman's Clothes (紳士服)

Page 84 has nothing on but his indoor clothes,.....=has on only his indoor clothes,..... で nothing but は only の強い發表です。indoor clothes は室内着で外出用にしないものです。

evening parties 夜會。

Page 86 pull them=put them on それ等(靴)をはく。

LESSON 17

A Brave Lady (勇敢な婦人)

Page 88 They walked two and two 彼等は二人づゝ並んで歩きました。

Page 89 in a great fright 戦き恐れて。
she knew why (they were running away) そのわけが分りました。
seemed as terrified as the people その人々が恐れてゐたと同じ様に恐れてゐた様に見える(ところの)。

saw that there was no shouting crowd on the bridge 橋の上に(自分を追拂はふと)騒いでゐる群衆がないことを確めて。

Page 90 shot the animal dead=shot the animal to death その動物を射殺しました。

Page 91 to have her hand attended to 彼女の手を手當てして貰ふ爲に。

in the midst of her terrible pain 彼女が恐ろしく苦痛に悩んでゐる最中に。

LESSON 18

The Wonderful World (不可思議な世界)

Page 92 この詩は人間と地球との問答です。第一節は人間が地球を歌ひ第二節は地球がそれに答へ第三・第四節は更に人間が自分と地球を共に歌つたものです。こゝでは the World と the Earth とは同じ意義に用ひられてゐます。地球に比すれば人間はほんの dot (點)にしか見えないのです。

It walks on the water その風は不可思議にも海の上を歩みます。

and whirls the mills そして風車を唸らせます。mills=windmills.

And talks to itself on the tops of the hills そして山の上では獨言ないふ様にヒューヒューいつてゐます。hills とあつても、こゝでは hills and mountains の意です。

O friendly Earth! オー親しき地球よ。

wheatfields that nod 實つておぢぎをしてゐる小麦の畑。

for thousands of miles 數千哩の廣き場所に。

Page 93 A whisper within me seemed to say 我が心に次の様に何か囁いた様でありました。

You are more than the Earth, though you are such a dot お前(人間)はそんな小さな點にしか見えないがその實、Earth よりは更に偉大なものです。

You can love and think, and the Earth cannot! 地球は愛したり考へたりすることは出来ない——只の土の塊に過ぎないですから——而しお前(人間)は愛したり考へたりすることが出来るから、Earth より更に偉いものに違いない。

Drill in Articulation articulation は各 syllable を分ちて明瞭に發音すること。

Through'—thick'—and—thin'—the—thread'—they'—pull',

The—clean'—cloth',—close'—ly',—clean'—ly'—seam'—ing.

この文を平易にしますと They pull the thread, closely and cleanly seaming the clean cloth, through thick and thin となります。意味は「彼等は辛苦して清潔な布を細かく綺麗に縫ひながら糸を通します。」 through thick and thin = with difficulty 辛苦して。

The—wind'—curled'—and—whirled'—and—snarled',—and—hurled'—it—self'—u—pon'—a—gnarled'—elm'. 風は捲き上り、旋回し、唸り、そして節だらけの榆の木にぶつかりました。

尙 Round rugged rocks a raggéd rascal ran.

She sells sea-shells.

などはいゝ練習になります。

LESSON 19

An English Breakfast (英國流の朝食)

Page 97 at eight o'clock sharp 正八時に。sharp = punctually.

Page 98 At the Midreds'. Mildred 家で。cp. the Tokugawas 徳川家。the Mildreds' = the Mildreds' house.

Page 99 a toast and butter 一片のバター附焼パン。といつてもバターは焼いてから塗りつけるのです。子供などは反つてジャムの方を好むものです。

perhaps another one 恐らくは更にもう一片れ。

to be washed up 洗つて綺麗にされる。to be washed away とするとそれ自身が洗ひ棄てられることで、up はそれについてある汚い物が洗ひ棄てられることになります。

Page 100 a light meal 少量の消化し易い食事。

LESSON 20

A Letter (或る手紙)

Page 101 Primrose Hill 小櫻ヶ丘。は London の Regent's Park のすぐ北に續いた丘です。Regent's Park の北端に the Zoo があり二つの道路を距て、Primrose Hill があります。約 5 萬坪の小公園です。 「ます。

Many thanks = I offer (or give) you many thanks 厚く感謝いたし when at six o'clock everything was ready 六時に萬端の用意が出来た時には。

Page 102 led the way to..... に案内して行きました。

the eldest lady 一番年長の婦人。

The table was a success 食卓は成功でした。飾附けがよくて豫期通りにお客様に賞められて成功しました。

an enormous turkey 素晴らしい大きな七面鳥。turkey, ivy, holly with its berry, mistletoe, pink rose, Christmas cake などは Christmas にはなくてはならぬものです。

Page 103 the Christmas pudding which came in burning most beautifully 眞に立派に焼いて出されたクリスマス・プディング。came in burning = was served immediately after being cooked.

an amusing time 慰み。福引をして遊んだのです。

had the coin from the pudding プディングが当たつたので大喜びで食べ様とした所、中から貨幣が出て来ました。

as red as a poppy 罌粟の花の様に赤く。この様な Simile [simili] (比喩)には as black as coal; as white as snow; as cold as death などがあります。

let off crackers 爆竹を鳴らしました。

Page 104 Boxing-day クリスマスの翌日(もしその日が日曜ならばその翌日)。この日には郵便配達人その他の人等に贈物をやります。box とは贈物を箱に入れて贈與する意です。

a Bank holiday 英人 Sir John Lubbock (1834-1913) の盡力によつて制定された一年に六日の休日 Bank holidays のうちの一。六日には即ち Good Friday 「キリスト受難節。即ち Easter 前の金曜日」、Easter Monday 「復活祭の翌日」、Whit-Monday 「聖霊降臨節の翌日」、the First Monday in August 「八月第一月曜」、Christmas Day 「クリスマスの日」、及 Boxing Day をいひます。

as the custom is=according to the custom 慣例がさうですから。慣例に従つて。

LESSON 21

Tennis (庭球)

Page 105 I say ネーもし。ネー君。

When you like 君の欲する時に。

out of practice 練習不足で。

So saying さう云ひながら。

Page 106 fifteengame などは硬球テニス (Regulation 式) のゲームのとり方です。この式では Zero のことを love といひます。

for a couple of hours=for two hours 二時間。

Page 107 from time to time=now and then=sometimes 時々。
made attempts at volleying ヴォリをやつて見ました。因に volley-ball は「ヴォリ・ボール」で、「バレーボール」でないに注意します。

that is to say=namely 換言すれば。即ち。

won=won the game=won the victory 勝ちました。

LESSON 22

The Saving Wife (儉約な細君)

Page 108 I want you to allow me 私に與へることをあなたに欲する—どうか與へて下さい。(三巻 12 課 wants me to help.....参照)。

in fact 實際は。實のところ。

True=It was true that 實際。實のところ。

was in the habit of ~ing=had the habit of ~ing..... の習慣がついておりました。

but he was not sure that he would like his wife to do the same 併し彼は確かに自分の妻に同じこと(即ち毎日酒を飲むこと)をさせたくはありませんでした。not は like の前へ移して譯方が日本語に近くなります。

hardly liking to say no on the wedding-day 結婚の日に“no”とは殆んど言ひたく無かつたので。

Page 109 than he could well afford 彼が餘裕があつて支出することが出来る以上に(使ひました。それで借金をこしらへてゐたのです)。

She would have liked to see more of her husband 彼女は自分の夫にもつと家に居てもらひたかつたでせう。cp. I see very little of him now.

Things went on in this way こんな調子で凡てが経過して行きました。on は繼續を表はします。

are going for a holiday 休暇をとつて(どこかへ)行きます。

Page 110 I should like to 私は.....したいものです。この形は I like より丁寧な言ひ方です。

if you will go 若し行きたいのなら。只の Indicative Mood ならば if you go ですが will があるのは相手の意志を問うてゐるのです。

pay the bill 勘定書(ここでは旅行の諸費用)を支拂ふ。

Have what? 何があるつて? は What have you? の強い形です。

what を Rising Inflection で讀みます。

Page 111 See what the price of a pint of ale amounts to in a year (日に)一パイントの ale の値段(即ち金額)が一年のうちにどれ丈になるか御覽なさい。amount to 金高が.....に達する。what=how much.

I will drink no more beer もうビールは飲みますまい。

as long as I live 私の生きてゐる間は。一生の間。

with his first savings 最初の貯蓄で。貯蓄の意味では savings と複数にします。cp. The ~ Savings Bank.

Page 112 to start a little shop = to start business on a small scale 小さな店を開く。小商賣を開業する。

A Bank Book 銀行預金帳。

in account with = having credit relations with.....と取引をして。

LESSON 23

Emergencies (危急の變事)

Page 113 light a match は strike a match ともいひます。

pretty soon 間もなく。やがて。

there is a call for the firemen 消防夫に出動の要求があります。call とは呼ばはつて要求することです。

is to blame が悪いのです。.....に咎めを負ふ責任があります。

passes off = evaporates 揮發します。發散します。

Page 114 set fire to 點火しました。set は他動詞で、「引火」する方は catch fire といひます。

was burned to death 焼け死にました。(四卷 90 頁 shot the animal

dead の項参照)。

rubbing silk cloth 絹布を摩擦すること。rubbing は Gerund です。絹布を摩擦すると熱と電氣とを生じますが發火の原因は大部分熱にあります。

Page 115 If you should ever get caught in a fire = If you should ever be caught by fire 萬一にもあなたに火がついたならば。

keep a clear head 頭を冷靜にしまさい。

fire escapes 避難梯子(其他燃えてゐる建物から逃れる設備)。

Page 116 the nearest alarm box 最も近くにある非常報知機。Page 116 の畫は policeman がこれを鳴らしてゐる圖です。

Are they free and open? それ等(非常口)は自由にいつでも開きますか。free = clear of obstructions. open = not locked.

Page 117 march out in order 秩序整然と繰り出す。

Fire drill 消防訓練。

means of saving life 人命救助の手段方法。

roll over and over 幾重にも丸め込みなさい。

is on fire.....に火がついてゐる。

Page 118 coat it over = cover it all それをすつかり掩うて了ふ。to shut out 遮断する爲に。

LESSON 24

The Voice of Spring (春の聲)

Page 119 I am coming 私(即ち春)は今やつて来る所です。

With the pleasant sunshine laden = Laden with the pleasant sunshine 氣持ちよき日光を背負うて。

Till I come the time is brief = It is short until I come = I come to you soon 私が来る迄はもうさう長くはありません。

Page 120 All the orchard trees are white 全ての果樹は真白い花が咲いてゐます。

In the elms=Among the branches of the elm trees.

a noisy crowd=the crowd of cawing rooks is noisy.

are flitting by=are flitting past one another お互に飛び交してゐる。by は「……の側を」の意。

Page 121 For thy pleasure or thy food—汝の楽しみ即ち心の糧(カテ)の爲に……を下し賜はつたのです。

Pour thy soul in gratitude=Thank God sincerely 誠心こめて神に感謝しなさい。

Mary Howitt (1799-1888) は William Howitt の妻で共に英國で生れ共にローマで死にました。夫妻揃つて詩人でありました。

The year's at the Spring=It is Spring now 今は春です。

God's in His heaven 神は天上に在します。His と大文字で書いてあるのは「神」の意です。

All's right with the world! 万事世の中は無事太平です。

Robert Browning は三巻 16 課の解説参照。

APPENDIX

Life of William Shakespeare (沙翁)

PART I

His Early Life (少年時代)

Page 124 "last name"=surname (or family) name 最後の名とは苗字のこと。これに對して實名を Christian name (or names) といひます。實名には二つ以上あることが少くありません。

Page 125 When Queen Elizabeth had just come to the throne = Shortly after Queen Elizabeth had come to the throne. Elizabeth (1533-1603) 女王が王位に即いて間もなく。just=only.

Stratford=Stratford-on-Avon. England の中央 Warwickshire 縣にある一小都會。附近には plum orchards が多くあります。(Page 131 の繪参照)

had a large family=had many children 家族(子供)が多くありました。William には Joan と Margaret といふ二人の姉がありました。又彼の弟や妹は Gilbert, Joan (姉と同名)、Anne, Richard, Edmund でありました。

as nearly as we can find out=so far as can be ascertained 吾々が確め得る範圍では。

was baptized 洗禮を受けました。即ち教會で命名式を行つたのであります。この時に Christian name を命名されます。

Page 126 the hours were "from dawn to dusk"=the school hours were from dawn till dusk 授業時間は曉から薄暮(タソカレ)までありました。引用符内は Shakespeare の用句。

There was an hour off for lunch=There was an hour of rest for lunch 晝休みが一時間ありました。off=off duty=away from work.

Page 127 received a whipping=was whipped for punishment =received a corporal punishment 以前生徒は swish 又は cane で臀を打たれたもの、一寸した罰としては掌を打たれました。

the master=the school master 先生。この場合には先生一人で同時に校長であります。

chief alderman 町會議員中の筆頭。沙翁の父 John Shakespeare は 1565 年に alderman に選挙され、1568 年には high bailiff の役に就き、同時に justice of the peace でありました。然るに 1577 年沙翁が 13

歳の頃父の家産が傾いて 1586 年に町會議員をやめました。沙翁の母は Mary Arden といふ婦人で、その父は多少の財産ある人でありました。

We cannot say for sure 確かにかうだと云ふことは出来ません。for sure=for certain.

just what kind of business Mr. Shakespeare ran 丁度どんな商賣を S. 氏がなしたかといふことは。ran a business=conducted a business 商賣をした。

dealt in =transacted 商ひました。

was fairly "well off" =was pretty well off =was rather well-to-do 可なり裕福でありました。

fall into debt 借金をし始めました。

Page 128 quit school=leave school for ever 退學する。

A Youthful Marriage

A Youthful Marriage=A marriage at an early age 年の若い時の結婚。youth は childhood と manhood との中間、18, 9 歳の頃。

was taken out of school =left school 退學しました。學校からまげられました。cp. His parent took him away from school.

he is believed to have gone to work in some gainful way =it is believed that he went to work and earned money 何か金の儲かる仕事をなしたと信ぜられてゐます。in some gainful way は unusual な言ひ方です。

later on =at a later date 後日。

Page 129 closely knit with =so closely connected with (or joined to). 甚だ密接な關係がありました。

dreaming =meditating =thinking of the future 冥想に耽つて。

Page 130 active-minded =nimble-brained =clever 頭のよく働く。human affairs 人事問題。cp. love affairs 戀愛問題。

to bargain =to deal 値段の懸引をする。

must have taken up with =must have made acquaintance with =must have consorted with..... と親しくなつたに違ひない。

At any rate =But at all events =But however that may be =But whether that is so or not 兎も角。

knew their lives inside and out =had a thorough knowledge of their lives. inside and out = (not merely superficial but) thoroughly 全然。

Page 131 To be frank =To speak candidly =Truthfully 打明けて言へば。

six or eight years older. Anne Hathaway の碑に、1623 年 67 歳にて歿す、と記してある所から數へて彼女は沙翁より 8 歳年上であつたことが分ります。

Young Shakespare Goes to London

(若きシェイクスピア、ロンドンに移る)

Page 132 never to return except for short visits ちよつと訪れる以外には決して歸郷しませんでした。

An old story goes this way =An old story is as follows 古い話は次の通りである。

Sir Thomas Lucy は *The Merry Wives of Windsor* 中の Justice Shallow で、彼の上着の裏には白い虱が一打も群つてゐたといつて、Shakespeare は罵つてゐます。

Page 133 did not get on well with =could not agree with =did not remain on good terms with 仲善くして行けませんでした。

preserve their love = preserve their unity = form a bond between them 二人の間の愛情を繋げる。

the centre of things = the heart of English life = the most important place in England 社会生活の中心。

bitter = unpleasant (full of sorrow and anger) 不愉快で。

was downhearted = was dejected 意気が沮喪しました。

was too full of life = had too much vitality (or vivacity) 餘り元氣でありました。life 生氣。

Page 134 to keep himself alive = to earn his living = to maintain himself 生きて行く。沙翁結婚後の傳記は 1586 年から 1591 年の間が特に不明であります。

have come in touch with = have met = have become acquainted with = have associated with.....に接觸しました。.....と交はりました。

PART II

Shakespeare Acts for the Queen

(女王の爲に芝居を演ずる)

Page 134 gave their plays = presented their theatrical performances 演劇を上場しました。

outside the limits of London 倫敦市外(の劇場のあつた所に)に。當時の倫敦は今の the City of London で小さかつたもの、劇場は郊外の新開地にどんどん新築されたのであります。

Page 135 A minister = A clergyman 牧師、前者は通常 The English Church 以外の牧師をいふ語。

If they hear word of a wicked play = If they receive the news (or tidings) of a wicked play 若し彼等が不道徳な芝居のあることを聞

けば。牧師であるから wicked など、強い言葉を用ひたのです。

But if church bells ring an hour, there won't be even a hundred at the sermon = And even if church bells call them for an hour, scarcely a hundred people come to the sermon それで教會の鐘を一時間も鳴らしても百人の人が説教を聴きに集るのは容易ではありませんでした。

charge a penny = demand a penny (入場料として) 一志を請求する。

an extra penny = another penny もう一志。

Page 136 the promoter's assistant 臺詞(セリフ)進行係の助手。

lines = words = parts 數行。脚本の文章。

putting a play in shape = arranging a play correctly = adapting a play 戯曲を旨くまとめる。

Page 137 picking out = choosing = selecting 選擇する。

tried his hand at acting = attempted to act 舞臺で所作をやつてみました。

in this line = in this work = as an actor この方面に。俳優としては。acting before Queen Elizabeth. Elizabeth 女王御上覽の芝居をやりました。Shakespeare が役者として宮廷から給料を受取つた記録があるので新しく判断したのであります。これは 1594 年から 1603 年頃までの事でありました。

Greenwich 倫敦の東南 4 哩の所にある都會。現今では有名な The Royal Astronomical Observatory のある所。

Shakespeare's Mighty Works (彼の偉大な著作)

Page 138 Marlowe, Christopher (1564-98) = an English poet. 彼が Shakespeare 及び Donne に與へた影響は多大でありました。

Love's Labour Lost. Navarre 王 Ferdinand は彼の友達である三人の貴族と共に學問研究の爲めに僧院の大學を建て、一日一回の食事をし、三

年間は婦人の顔を見ぬことに決めました。併し王は佛蘭西の王女と三人の侍女が國の用向で面會に来る事になつてゐたことを忘れてゐました。やがて王女の一行が到着したが面會を許さず馬を庭園内に繋がせて置きました。王は不圖美しい王女を見て戀に陥り三人の貴族も同様でありました。それで四人は何れも戀の詩を作つて庭園で聲高に讀んだが彼等は王女及び侍女達に見つけられました。男達は假面劇をやつて女達を欣ばせました。樂み酣な時王女の父君の崩御の知らせが来て一同は驚きました。婦人達は男達に對して一年間誠實を續けるならば意に従ひませうといふ約束をして歸國の途につきました。即ち暫時の間戀の骨折は無駄となつたのであります。狂言は美しい春と冬の歌を以て結んでありまして、これは 1588-9 年頃書かれたものと思はれます。尙著作年表は五卷 Appendix の King Lear の項参照。

from that viewpoint=from that point of view その見地から。

are worth reading=are worth your while to read 一讀の價値があります。

Page 139 true to life 生き寫し。

Romeo and Juliet. この脚本は 1592 年に出版されたもので、伊太利の Capulet と Montagu 兩家は長らく仇敵の間柄であつたが、或る夜會の折に Montagu 家の Romeo は Capulet 家の Juliet と戀に陥り兩人は幾度か果樹園の逢ふ瀬を楽しみ、終に Friar Laurence の室で結婚式を挙げました。併しこの事が露見して Romeo は追放の身となり、Juliet は County Paris といふ者と結婚すべきことを強いられました。そこで Romeo は Paris を殺し自分は毒を仰いで死し、Juliet は彼の側に伏して死にました。その結果は兩家の和解となつたのです。Shakespeare の脚色は Authur Brooks の詩と Paynter の 'Palace of Pleasure' といふ散文の物語から取つたものであるといはれてゐます。

the fairy queen = Queen Mab, the fairies' midwife. これは Romeo の友 Mercutio が Romeo に語つた夢の話に出る仙女。(Romeo and

Juliet, Act I, Scene IV).

Her chariot was "an acorn shell" = Her chariot was "an empty hazel-nut" 彼女の車は榛(ハシバミ)の實の殻でありました。

her whip "of film" 鞭は蛛網(クモノス)の織絲(ホソイト)でありました。

made a good living = made a financial success of his work = earned a good deal of money よい暮らしをしました。Shakespeare は既に 1597 (33 歳)年には Chapel Street の New Place の家屋と庭園を £60 で買ひました、而してこれは Stratford で最大な家の一つでありました。彼の父は此家で平和な往生を遂げたのであります。又 1602 年には Old Stratford に 107 acres の土地を £320 で買ひ、1605 年には Stratford parish の土地の借地権を £440 で買ひ受け、これは一箇年 £60 の収入となりました。Sidney Lee 氏の計算によれば、彼の劇場からの収入は一箇年 £600 に達したといひます。彼は 1611 年(47 歳)に倫敦を去つて Stratford に退き田舎の地主として晩年を送り、二三の戯曲を書きました。

Page 140 made tours of England = made tours round England 英國中を漫遊しました。

a maker of play = a playwright 脚本作家。

his daughters 彼の息女。長女 Susanna (1583 年生)は 1607 年に John Hall といふ醫師に嫁ぎ、次女 Judith (1585 年生)は父の死ぬ二箇月前 (1616 年 2 月) Thomas Quiney といふ酒商人に嫁ぎました。彼の息子といふのは Hamnet といつて Judith と雙生兒でありました。

BOOK FIVE

LESSON 1

A City House (都市の家)

Page 1 wall space 塀を建てるだけの餘地。

lined.....with.....が建ち並んでゐる。

Page 2 one above the other 折り重つて。

landlord の Feminine Gender は landlady です。

Page 4 plays hide and seek 隠人坊をして遊ぶ。

That is, on a calm day 即ち穏かな日には。とは雪降りの日と前にありますから、實際降つてゐるなら屋上では樂に遊ばせん。それで雪の降らない風の吹かぬ日といふ意です。That is=That is to say.

Page 5 an elevator or lift 米國では elevator といひ、英國では lift を用ひます。or 即ち。

the first floor は日本の「二階」に當ります。洋館は日本の一階に當る所を the ground floor「地階」といひます。

Page 6 kindly=kind=sympathetic=genial (of climate, etc.) 親切な。形は Adverb ですがこゝでは Adjective です。cp. friendly. sighs for.....が有つて欲しいと嘆息します。

Page 7

EXERCISE

1. In great cities, the streets are lined on each side with high buildings.
2. In an apartment house, many people live on the flats—one

above the other.

3. In the kitchen are pans and kettles and other cooking utensils.
4. On a calm day in spring and autumn the roof is delightful. But it is not pleasant to stay there on a cold or hot day.
5. In the country beautiful flowers come out in the fields and on the banks in spring.

LESSON 2

Robinson Crusoe (ロビンソン・クルーソー)

Page 11 touched with pity 憐れだと思つて。

fired at them = shot at them with a gun 彼等を射ちました。

was very grateful = thanked (Crusoe) very much 大變感謝いたしました。

Page 12 come on shore = come ashore = land 上陸する。

came in sight 眼界に入りました。見えました。

to let those on shore know that they did 陸にゐるもの達に自分等がそれ (bonfire) を見たといふことを知らせる爲に。

on board the ship 船に。cp. He got on board the S.S. Ten-yōmaru 彼は天津丸に乗り込みました。

Page 13 got a good supply of fresh fruit and vegetables 新鮮な果物と野菜とを十分に船に積み込んだ(時に)。

Grammar: Infinitives to have — Noun Infinitive; to have の Antecedent は It.

to be — Noun Infinitive.

to have — Adverb Infinitive. was glad を修飾してゐます。

to live — Adjective Infinitive : human being を修飾してゐます。

to live — Adverb Infinitive.

to be — Adverb Infinitive.

LESSON 3

The Dining-room (食堂)

Page 16 eating his soup スープには eat を用ひ drink とはいひません。 sip the soup といふことはあります。

Page 18 the English people は Englishmen and Englishwomen の意です。

afternoon tea は大抵午後四時から五時頃に飲みます、cake, fruit, tea or coffee で、たまに肉類を探ることもあります。

Page 19 Proverbs and Maxims

Better late than never 遅くとも無さるるに勝る。

Honesty is the best policy 正直は最良の商略。

Ill weeds grow apace 憎まれ兒世に蔓る。 apace=quickly.

Least said, soonest mended 云はぬが花。口数が多いとつい無駄なことまで喋るものです。

New brooms sweep clean 新しい箒は綺麗に掃ける。「新任の者はよく働く」の意。

A rolling stone gathers no moss 轉がる石に苔蒸さず。

'Tis never too late to mend 過ちて改むるに憚る勿れ。

There is many a slip 'twixt the cup and the lip 愈々出来る迄は安心が出来ない。これは言辭の方から見ますと酒を注いだ cup とその酒を呑む slip との間にも澤山の slip があつてその酒が浮れることもあるから、飲んで了れば安心が出来ないといふ意です。

LESSON 4

The Spider's Web (蜘蛛の巣)

Page 20 Arachne は本課では Greek myth 中の一少女でありますがこの話から Arachnida [pl. 蜘蛛類] といふ語が出来ました。

Page 21 Be the first among mortals, but do not vex the goddess = Be the first among human beings but do not annoy the goddess 人間の中で第一の技術者になるのはいいけれど女神(と競争して彼女)を怒らせることはよさない。

Page 22 quite equal to the task = quite able to do the task その仕事をするだけの技術が十分あると。

Page 23 struck Arachne on the forehead アラクネの前額部を殴りました。 cp. He robbed me of my purse.

Page 24 EXERCISE

1. ans. Minerva, the goddess of Arts and Crafts, taught her how to weave beautiful pictures.
2. ans. Because she became so boastful.
3. ans. Minerva was angry.
4. ans. She was struck on the forehead with a wooden shuttle and at last was changed into a spider. 「sunshine.
5. ans. It looks especially lovely when it is dew-pearled in the

LESSON 5

The Ship Launch (進水式)—I

Page 25 圖は今將に大きな汽船が進水しつゝある所です。これは舊

式の方法で船尾の方から水に入つて行きます。船を掩うてゐるのは gantry crane で上部に横に渡つてゐる部分は移動する様にしてあります。船首には美しく飾られた花などがあつて、いざ進水となると大抵は女性の主賓が繫留の綱を切り飾花の所に吊しておいた champagne の瓶を打ち割り、花籠からは五彩の花びら飛び散り、鳩鳥舞ひ上り實に盛観を呈します。まだこの時には船體に鋼板は装つてなく甲板上のものは殆んど取りつけてありません。後々 dock に入れて總ての工事に取にかゝります。新式の進水式は初めから dock の中で起工し lock (閘門)を開いて dock に水を入れ自然に浮ばせるのです。本課は新舊混合であります。

come through=inspect 見學する。

sheds はこの圖では gantry crane に當ります。

Page 26 had a hard task to get us away again 我々をそこから立ち去らしめるのに骨が折れました。

with great ribs beginning to stick up from her sides 大きな肋骨がその船の兩側につき出して取りつけ始められて。stick up=thrust out.

flights of steps 階段。

and often we used to go and just have a look to see how much more had been done to her そして屢々我々は彼女に對する工事がどれ迄進捗したかを一寸見に行つたものです。

How I hoped father's ship would be in harbour 私はどんなにか父の船を港に浮ばせて見たく思つたことでせう。

promise you a good sight いゝ所を見學させてあげることを約束する。

a good sight とはこゝでは上等席から進水式を見ること。

Page 28 we made our way=we went with some difficulty やうやくのことに行きました。

packed closely together=was full of きつしりと詰つて。

the well-greased slip-ways は Page 25 の圖の船の兩側に見える鐵道

の様なもので固油を塗り勾配をつけて船が進水し得る様にしてあります。

almost took our breath away 殆んど我々は息がつまる様でした。

conduct the prayers 司祭となつて祈禱を捧げる。

Page 29 the deep=the deep sea 深い海。cp. the poor=poor people.

the strange countries 外國。

getting to their places 各々彼等の部所につく所の。

Grammar and Participles thrilling — Adjective Use, modifying "sight."

packed — Adjective Use, modifying "people."

standing — Adjective Use, modifying "people."

reaching — Adjective Use, modifying "people."

LESSON 6

The Ship Launch (進水式)—II

Page 30 Out in front=Far in front 正面の沖合には。Out は Out on the sea の意です。

as though=as if 宛も……かの様に。

Page 31 if she turned over on her side 一方の側に傾いたとしたならば。her side=one side. side 船側。

with all……と諸共に。

came our way together=came towards us together 一緒に我々の方に来ました。

Page 33 though I could not help thinking of the ship more than the service 私はその禮拜のこと以上に船のことを考へざるを得ませんでした。

and really I thought it would have been a most sensible thing to do. そして私は実際そうすることは大層気の利いた實際的なことであつたやうと思ひました。 a most=a very. sensible = reasonable = practical.

Page 34 the ship's bows [bauz] 船首。bows と屢、複數形で用ひられます。

had cut the cord which released the hammers, and knocked away the last shores holding the ship back. 綱を切りましたのでその爲に鐵槌を吊してあつた紐が弛みそして船體を支へてゐた最後の支柱が(打破かれて)取外されました。而し事實これは形式上のことで實際は船體を引つ張つてゐる綱を断ち切るために鐵槌が吊り下つて來、そしてそれを合圖に hammer を持つた職工が支柱を取外すのです。released 及 knocked の主語は cutting the cord (綱を切斷すること)です。shores=props (船體、塀、樹木などの)支柱。shore の原意は piece of cut wood です。

with parts of her cradle still clinging to her sides. 造船臺を尙もその船側に着けたまゝ。これはその造船臺が陸地に固定してゐますと進水式に船を傷めますが移動式にして進水と共に造船臺も半ば進水する様にしてゐるのです。

LESSON 7

Queen Boadicea (ボアディシア女王)

Page 35 There were no towns of any size=There were no towns, big or small. 大きいも小さいも町といふものはありませんでした。there were several (kings and queens who were) ruling over... ...を治めてゐた所の數人(の王や女王)がゐました。

Page 36 and when not engaged in war=and when they were not engaged in war=and in times of peace. それで從軍しない時

には。それで平時に於ては。

war chariots [tʃəriəts] 戦車。

the Britons. ブリトン人種。即ちこの Boadicea の君臨してゐた種族。

were driven among the foes. 仇敵の群がる中に驅り進められました。

Page 39 fall into the hands of=to be captured by=to be taken prisoners by.....の虜にされる(よりは)。

EXERCISE

1. Many years ago, many wild animals lived in this land, and the people there were almost all savages.
2. In times of peace, they hunted in the forests or fished in the sea and rivers.
3. Some one hundred years ago our country was ruled over by the Shōgun, and under it many daimyōs ruled over different parts of the country.
4. These sailors sailed across the ocean in a boat and landed on the opposite shore.

LESSON 8

The World's Music (この世の調べ)

Page 40 alive / With strange, sweet music=full of and lively with strange, sweet music=聞き慣れぬ美妙的な音楽で賑かな所の。

Page 41 And winds that come の winds は [windz] と發音しないで [waindz] と發音します。

From dawn to dark=From morn till night=From morning until night=All day long. 朝から晩まで。

with flour and meal メリケン粉や豆の粉が附いて。flour は小麦の粉、meal は麦や豆の粉で篩にかけない flour より粗い粉です。

whistles to its sounds その水車の音に合わせて口笛を吹きます。cp. They dance to the piano.

As happy as a brook can be 小川が出来ただけ幸福に。

Goes singing its own song until / It learns the singing of the sea
=Goes, singing its merry song, until it flows into the sea それ
の歌を歌ひながら遂に海の歌を覚える迄流れて行きます。今では小川の歌を歌
つてゐますが遂には海に流れ込んで、そこで海の歌を覚えます。

you never tire to hear あなたが決して聞き厭かない所の。

Of laden ships from sunny lands, / Where it is summer all the
year 常夏(トコナツ)の南國から荷を積んで来る舟を歌つた所の(決して聞き
厭かない歌)。of は前行の songs にかゝります。

Page 43 Andrew = Merry Andrew 道化役者の名。Andrew は
イタリヤ語の Andrea から轉じた語です。

hums a tune (茶瓶の湯が沸いて来て)音を立てる。

Gabriel Setoun は Scotland の小説家 Thomas Nicoll Hepburn
(1861—) の雅號です。彼は Edinburgh schoolmaster となりました。

Drill in Articulation The'-o-dore - Thros'-tle - threw' - a -
thim'-ble - in'-to - a - thick'-et - of - this'-tles. Theodore Thistle は
薊の茂みの中に指抜きを投げ入れました。こゝは th [θ] の發音練習を主と
してゐます。

Though' - thor'-ough-ly' - through' - he - thought' - to - go', / He -
asks' - to - skip' - his - tasks', - I - know'. たとひ彼は彼の仕事を完全に
やりたいと思つたとしても、彼はそれ(仕事)をやらずに飛ばしたいと言ひ出
すといふことを私は知つてゐます。to go through thoroughly 完全にや
つて了ふ。こゝは th [θ] と s [s] の區別を練習します。

LESSON 9

The Kitchen (臺所)

Page 48 the silver = silver-wares 銀器。

flat-iron 火熨斗。アイロン。

to iron with それ (flat-iron) をかける。アイロンをかける。

Page 49 mangled clothes 夾布器で伸ばして光澤をつけた着物。

mangle とは洗濯した布・着物などを伸ばして光澤をつける機械で、こゝはそ
の機械にかけた着物。それを更に flat-iron で仕上げるのです。

tea-cloth 茶布巾。

Page 50 chops the shavings and chips 木を屑つて鉋屑をこしら

へたり木屑をこしらへたりします。何れも焚附用ですから單に「焚附をこし
らへる」と譯してよろしい。

Page 51 scrubs the plate-rack 食器棚を磨く。

dresser (臺所の)戸棚 (=sideboard). 調理臺 (=kitchen-table). こ
ゝでは後者の意で、その前にある or は「即ち」の意です。

Page 52

EXERCISE

1. The cook is stirring the stuff in the pot with a laddle to prevent it from boiling over.
2. When she washed up the crockery, knives and forks, she wipes them up and put them away in the cupboard.
3. What is (the name of) the thing you see to the right, on the shelf above the sink?
It is an egg-beater.
4. When I want to pour something into a bottle I use a funnel.

LESSON 10

The Courses at Dinner (料理の品々)

Page 53 course(s) = each of successive divisions of meal で五品出る時には five courses, 七品の時は seven courses といひます。

differ much from = are much different from..... と大いに異なります。
differ は名詞、different は形容詞、その名詞は difference です。

the different dishes いろいろの料理。different = various ですが、単数名詞につく時には another kind of の意になります。

Page 54 to "start fair" = to begin according to the rules 規則には同時に始めるのを正式としてありますから、「同時に始める」の意になります。

Page 55 and is apt itself to retain a fishy taste そしてそれ自身(鐵)に一種魚の嗅味が失せません。

Page 56 break your bread バンは食卓では指で break するもので、ナイフで cut しない方が禮儀正しいとされてゐます。

Page 57 what is called an *entrée*. *entrée* といはれるもの。所謂 *entrée* が。Page 57 の圖は數人分の *entrée* が大きな皿に盛られてある所です。

Page 58 a joint of roast beef 燻牛肉(ヤキニク)の大塊。これも waiter が各自に分配するか、又は各自に必要なだけ自分の皿に移します。

Page 60 the final course 最後の料理。the final ~ はそれで「お終ひになる」といふ意で、the last ~ は順序から云つて「最後の」といふ意です。

at the end 一番お終ひに。

LESSON 11

At the Theatre (觀劇)

Page 61 Grand Opera = Grand Opera House 大歌劇場。圖は十九世紀に Charles Garnier の代表建築物で濃麗な裝飾を施し、尙今日の劇をも優に上演するに適當な構造を備へたものであります。本邦帝劇はこれの雛型にしか過ぎないといひます。opera は labour 又は work といふ意のラテン語から出た語で operate, operation などの變化があります。Grand opera とは歌と芝居の合したもので。comic opera 又は opera comique とは歌のみならず口語體の會話をも交へたものです。

Page 64 it is a full house 大入満員です。

Page 65 the leader of the band = the conductor 樂長。

the lights were lowered 燈火が暗くされました。これは舞臺の上をよく明るく見せる爲です。

they knew their parts very well 彼等は自分の演じたり、語つたり、歌つたりする役割をよく覚えてゐました。

Page 66 the leading actors and actresses 重立つた男優や女優。

LESSON 12

A Baby Saved (赤ん坊助かる)

Page 67 本課は 1664—1665 年ロンドンに疫病が大流行した時の一事件を述べたものです。最も激しかった時には 1665 年の 43 人(五月)、590 人(六月)、6,137 人(七月)、17,036 人(八月)、31,159 人(九月)の死亡者を見ました。當時のロンドン全市 46 萬人のうち 7 萬人弱が死んでゐます。翌 1666 年にはかの有名な大火がありました。

which seem to keep all the best of summer, and to add a loveli-

ness of their own 夏の風情の最もいゝ所を保ちそれに彼等秋の日のもつ美しさを加へた様に思はれる(九月のある日のことでありました)。

leaving the sky still blue 空を更に青々と残して(霧が晴れました)。

plane trees 篠懸木(ス・カケの木)。學名は *Platanus* といひます。

the water of the river の river は The Thames を表はしてゐることが前後の關係で分ります。

Page 68 "A merry new song" とはいろいろの新流行の唄を作つてそれを pamphlet にして賣り歩く聲です。

rope(s) of hard onions 堅い玉葱を紐に通したものの。onion は新しいのは堅いですからその意味で hard といつたのです。cp. a string of pearls 眞珠の珠数。

an occasional street seller 折々やつて來る行商人。

Page 69 was marked a red cross 赤で十字架の印がつけられてゐました。

one of these branded houses, above a saddler's shop とは saddler's shop の二階の窓をいつたのです。

leaned the figure 窓から姿が外部により出てゐました。

mark of the plague とは赤の十字架と Lord have mercy on us! の文字。

Page 70 for fear lest they should spread infection 傳染病を蔓延させない様にそのことを恐れて。lest.....should.....しない様に。

sound and happy as could be in that house of death 死に呪はれたその家に於て此上なき健康で幸福で。

How is it with you, neighbour? = How are you, neighbour? 隣の檀那よ、如何です?

the carefully guarded well 注意深く番人をつけてある井戸。これは疫病流行時とて特に不潔にする者がなく様番人をつけておいたのです。

Page 71 until this morning, to be answered with news of death 遂にこの朝になつて誰か死人が出來たといふ返事に會ひました。

Thank God お蔭で。

who will care for her if we are stricken, as we may be before nightfall? 我々(夫妻)も夕方迄に罹るかも知れませんが、若しそれに斃れたなら誰が彼女を世話をして下さるでせうか。stricken=attacked.

Greenwich ロンドン西南近郊の(この頃は)一小村。今は天文臺があつて世界子午線の基線が通つてゐます。

The message shall go = We will send a messenger 使者を遣りませう。

The little girl was stripped of her clothes その少女は素裸體にされました。cp. He robbed me of my purse.

Page 72 a few cases 數人の患者。

Page 73 could not turn it away = could not send back the little girl その少女を送り返すことは出来ませんでした。

We did agree は We agreed の強意。cp. Do come here. He did come.

LESSON 13

The Month of August (八月)

Page 74 now that the crops have been gathered = as the crops have been gathered now もう收穫も取入れられたことですから。now that = since.

Page 76 much damage is done 多大の損害が與へられる。種々の點に於て damage を受けても別に之を many damages とせず、量を以つて表はすことに注意せられたし。damage は物質上のみならず生命の損失をも含んでゐます。但し戦争の死傷者を casualties といひます。

Page 77 are away from home 故郷を出て(他所で)暮します。
 have a change of work 仕事の變化があります。change=variety.
 cp. a change of air.

LESSON 14

Letters (手紙)

Page 78 Ivy Lodge 蔦寮。英國では住宅にこんな名をつけることがよくあります。

Cheltenham ロンドンの西々北 109 哩の山間の都會。附近は狩獵地であります。

Pittville は Cheltenham にある温泉地名。Pittville Road はそこへ行く道です。

Page 79 speaks ever so quickly いつも大變早口に言ひます。

Page 80 We are sixteen pupils in my form all about my age 我々は同じ位の年齢のものばかり十六人で一組です。form=class. 英國では、特に public schools では、class の意に用ひ普通は six forms あります。

that you cannot always find your way about=that you cannot know which way to go どちらへ行つてよいか道が分らぬ程。

Page 81 Well, not much=Well, we have not been doing much いや大して多くのことはしてはゐません。

LESSON 15

The Burning of the Rice-fields (稲田の火災)

Page 84 scattered up the hill=here and there up the hill 山腹に點在して。

Page 85 was making merry=had a merry time=was spending time merrily 浮かれてゐました。陽氣に遊んでゐました。

The low sun lighted up all the moving bits of colour 没せんとする太陽は(旗や提灯やその他の)動いてゐるものゝ色に照り映えました。

Page 86 but not very near; the worst of it is probably far away 而し近くぢやない、最も激(ヒド)い所は多分遠方だらう。

had felt the earth quake=had felt earthquakes 地震を感じたことがありました。the earth quake は「地が揺れるのを」で to quake の to を省略してゐます。cp. I saw him run.

strange to say 言ふのも奇妙なことです。この様な Absolute な言ひ方の例には Truth to say; To speak (or tell) the truth; To speak frankly; To speak candidly; To be candid with you などあります。

all the village=all the villagers. cp. All the school went on an excursion to Hakone.

Page 87 touching the torch to=setting the fire to.....に炬火を觸れつゝ。.....に火をつけつゝ。

towered up against the sky 空を背景として天に沖しました。cp. In the evening the pyramid stands dark against the sky.

page 88 Had his grandfather gone mad, that?.....したのは彼の祖父は氣が狂つたのでせうか。go mad 狂氣になる。

Page 90 could help pass buckets of water 火を消す爲に水の入つたバケツを渡す手傳が出来ました。help pass=help to pass.

as best they could=as best as they could 彼等が出来るだけ急いで(來ましたが老人のことゝて非常に速う御座いました)。

Page 91 Look! and say now if I be mad! あれ見よ! そして

俺が気が狂つてゐるかどうかを今言つて見よ!

hardly had they spoken, when.....=no sooner had they spoken,
than.....彼等がいふかいはないうちに。

too frightened to speak あまりに戦いて口も利けず。

Page 93 made himself poor to save them 彼等を救助した爲に
自分自身は貧乏になりました。

Lafcadio Hearn は 1850 年 Ionia 島に生れ、長年の間 New Orleans
及 New York に住み後日本に來り松江中學、熊本第五高の教授を経て東京
帝大英文科の講師となりました。松江で日本人と結婚し小泉八雲の雅名を以
つて日本の學界に知られてゐます。1904 年逝去しました。著書には
Glimpses of Unfamiliar Japan その他の名著が澤山あります。

EXERCISE

1. He was the headman of the village and was just and kind,
so he was loved and respected by the villagers.
2. It was very hot during the day, but towards evening it be-
came cool, and after sunset (or the sun went down) a strong
wind began to blow in from the sea.
3. All at once the earth quaked, the houses shook with a roar-
ing sound, and the people ran out of their houses.
4. An hour after that earthquake, the great waters struck the
shore and swept all the village away (or and all the village
was swept away).

LESSON 16

God Save the King! (英國々歌)

Page 94 (The First Stanza) May God preserve our gracious

King. May our noble King live long! May God take care of the
King! Send him home again victorious over his enemies, happy
and covered with glory. May his reign over us be long! God
save the King!

Or, May God preserve the life of our kind and condescending
King! May our noble King be spared to live long! May God
take care of him in all dangers! Grant that he may be victorious
in all his enterprises; that he may be happy and full of glory
and honour; that he may be our sovereign for many long years.
この英國々歌 (national anthem) は、英國の詩人であり音楽家であつた
Henry Carey (?1690-1743) の作であるとして傳へられましたが、學者
の研究によつてその根據が確かでないことが判明しました。或人は英國の
音楽家 John Bull (?1563-1628) の作であるといひ、或人は 1742 年に倫
敦に定住した蘇格蘭人 James Oswald の作であると主張してゐます。而し
て今日の所では後者が眞の作者らしいですが、何れにしても國家の歌詞及び
曲の一部は既に古くから行はれてゐたものであるといひます。

gracious=merciful=benignant 仁慈なる。

Send him victorious=Grant that he may be victorious.

Long to reign over us=Grant that he shall reign over us long
千代に八千代に我等を治(シロ)しめされるやうに。

God save the King!=May God protect the King!=May God
keep the King safe!

Page 94 に掲げた挿畫は The Crown of King Edward VII., with
the Orb and Scepter, before the Addition of "the Star of Afri-
ca" Stones で英國の王冠は、金冠に眞珠寶玉を鑲めたもので、内部は緋の
天鵞絨の裏があり、豹の縁を付けたものであります。畫中の The Orb は
古く羅馬に起原を發したもので、a symbol of sovereignty で、The

Scepter は Royal authority の象徴であります。國王戴冠式の寶器は Royal Regalia といひます。"The regalia of England consists of the crown, the scepter with the cross, the verge or rod with the dove, the so-called staff of Edward the Confessor, several swords, the ampulla for the sacred oil, the spurs of chivalry, and several other pieces. These are preserved in the jewel-room in the Tower of London."

Page 95 (*The Second Stanza*) O Lord, our God, show us thy power, disperse their enemies, and let him defeat them. Bring their politics to nought and prevent their treacherous dealings, because all our hopes are centred in our King. May God preserve us all!

Or, O Lord, our God, we pray thee to stretch forth thy hand and destroy the enemies of our King: scatter them like dust; and make them lose their power. We pray thee again to destroy their plans and make nought of their cunning strategies. Our hopes are firmly centred in our King. We pray God to preserve us all.

arise = come to our assistance 起つて我等を助け給へ。

make them fall = cause our enemies to be defeated 彼等を倒し給へ。

Confound their politics = Defeat their national policy 彼等の政策を破り給へ。

Frustrate their knavish tricks = Baffle their evil plans 彼等の破廉恥なる詭計を無効に歸せしめ給へ。

On him our hope we fix = We rely upon him 我等は望を王に囑するものなれば。

(*The Third Stanza*) O Lord, give him all the choicest gifts you have stored up. May his reign be long! Let him uphold the laws of the country and always give us the reason to sing with all hearts and voices (*or* with loud voices and from the bottom of our hearts). God save the King!

Or, We pray thee to give him the best things of life—long life, health, happiness, honour, and the trust of his people. May he reign as our sovereign for many long years! Grant that he may uphold the laws of our country and may always act, so as to give us reason to sing sincerely and pray sincerely that God may preserve our King.

Thy choicest gifts in store / On him be pleased to pour = Be pleased to bestow your blessings in great quantity 希くば神様の豊富なる最上の幸を我等の王に下し給へ。

laws = the rights and privileges of the nation = constitution 憲法。
ever give us cause = always give us a good reason 歌ふべき理由を常に與へ給はんことを。

To sing with heart and voice = to sing not only with voice, but with enthusiasm 心から聲を合せて歌ふべき。

LESSON 17

Water (水)—I

Page 99 I think of taking you with me = I think I shall take you with me = I propose to take you with me お前を連れて行かうと思つてゐます。

Kingston = the capital of Jamaica, the British West Indies.

Thames 河畔にも Kingston といふ古い都會があり、Saxon の諸王 (901—978) が即位した處で、その market place には傳説の Coronation stone が手摺に圍まれてゐるのを見物することが出来ます。

upon=on=on the subject of といふ題で。

began by speaking=opened his lecture by mentioning の話をして彼の講義を始めました。

Our supplies of fresh water 吾々の淡水(マミヅ)の供給は。

Page 100 lime. 石灰。cp. limestone. 石灰石。鳥糞(トリモチ)も lime です。

that has soaked through the soil 土壤に浸透した(ところの)。

In the open country=In places where are no buildings=In places where no structures interrupt the view 眼を遮る建物のない所に。

the impurities which it washes out of the air 雨水が空気中から洗ひ落した不潔物。

in time reappears in springs=eventually appears again in springs 結局は泉となつて再び地上に現われます。

Page 101 carries along with it=carries with it を運んで行く。

earthy matter 土のやうな物質。

As a rule=Usually=More often than not=It is generally the case that 通例。

very likely=most probably 大概は。

that are bored deep through the subsoil until water is reached 水に届くまで底土を深く掘り抜いた(ところの)。

Page 102 The wells at A, B, C tap. A, B, C 各の汲み出し口の所にある井戸、即ち異つた水準の水の層。

yield us a supply of=supply us with 吾々に供給を與へる、とは吾々に供給するの意。yield は通常勞力の報酬として與へる意に用ひます。

cp. The field will yield a large crop. 又廣義には生産するの意があります。cp. Grapes yield wine. The vines yield abundantly.

In the upper course of a river 川の上流では。

recieved the refuse of dwellings and cattle-pens 住宅や牛小屋から出來た廢物(屑物)を取入れました。

Page 103 it is not unlikely that ことがないとは限らない。

take the trouble to get tanks=go to the trouble of obtaining their own tanks 面倒ながら水槽を手に入れる。take the trouble to get=to make their efforts and obtain.

went on to say 尙引續いて……と言ひました。

Jamaica=an island in the Greater Antilles, British West Indies.

and the underlying rocks (are) of such a kind さうして下層の岩石は……のやうな種類のものであります。such は前行の so porous (孔が多く)の so と同様 that a large share 中の that に意味が續きます。

Page 104 In such tracts of country 斯様な地域(地方)では。tract は通常廣い面積に就いて用ひる語です。

parishes 教區。これは宗教上では、一箇の教會堂と牧師とを中心とした區域であり、行政上では the Poor Law (貧民救濟法令、即ちこれによつて貧民救濟の地方税を徵收する法令)其他の法令施行の便宜上區分した County (縣)の小分けであります。

distress in times of drought 旱魃の時の難儀。

LESSON 18

Water (水)—II

Page 105 Whatever a person's weight may be=No matter what a person's weight may be=However heavy a person may be